

野鳥の動向に関するトピックス（2022年1月～6月）	2
イソヒヨドリ 2022年に確認した営巣数 50 をこえた	4
復活しない南浅川のゲンジボタル	9
2022年東京都指定緑地保全地域における野鳥の生息調査の概要	10
公開・初心者のための野鳥写真撮影講座 結果報告	12
5-6月長池公園野鳥展の結果概要	16
2022 八王子環境フェスティバル 結果報告	17
2022年「カワセミハウス環境パネル展」出展報告	18
「カワセミハウス環境パネル展」ポスター内容	19
● —— 表紙の絵 —— 「弥勒菩薩」と「クロジ」（倉本 修）	21
●サシバの渡り調査シリーズ 第六回 横須賀市・武山におけるタカの渡り調査のこれまでとこれから（宮脇 佳郎）	22
●リレーコラム No.17 私の好きな探鳥地・乗鞍岳（小川 圭太）	24
● ^{ばいかじ} 南風 に吹かれて 第3話（宮島 仁）	25
●リレーコラム No.18 ミニ探鳥会のお勧め（神谷 古牧）	26
●八王子・日野の自然の中で私が抱き続けている夢（粕谷 和夫）	27
●粕谷和夫の野鳥観察日記(1)（粕谷 和夫、関谷 孝）	28
外部機関が主催する探鳥会の支援記録（2022年1月～6月）	30
探鳥の記録（2022年1月～6月）	33
地元発見探鳥会の記録（2022年1月～6月）	46
鳥信（主として2022年1月～6月）	54
2022年 オオルリ他夏鳥調査結果	78
2022年 カルガモ繁殖状況調査結果	83

「八王子・日野カワセミ会」は浅川流域の野鳥を観察する市民グループです

野鳥の動向に関するトピックス（2022年1月～6月）

まとめ： 粕谷 和夫

（各セクションの先頭の数字は鳥番号で、日本鳥類目録改訂第7版（日本鳥学会 2012）で使用されている番号）

19 コハクチョウ

1/6 に多摩川・多摩大橋下流に 8 羽が渡来し、飛び去った後に 5 羽が再渡来し、1/24 より若鳥 1 羽を連れた 8 羽になった。その後 1 羽がいなくなり、3/10 まで 7 羽が越冬を続けた。この間、クレソンなどを採餌し、長期逗留となった。



<コハクチョウ>

24 オシドリ

5/5 2 羽 醍醐林道・恩方第二小学校前 ♂♀が醍醐川の水際において、藪の中へ姿を隠してしまった。

6/27・28・29 親子 8 羽（成鳥♀ 1 羽＋幼鳥 7 羽） 川口川・川中橋付近



<オシドリ親子>

27 ヨシガモ

高月浄水場の池、北浅川・陵北大橋下流、多摩川・JR 中央線鉄橋近く、宇津貫緑地の調整池に 1～4 羽が渡来

37 トモエガモ

2/4 ♀ 1 羽 高月浄水場の池

57 ホオジロガモ

1/3 2 羽（♀1、♂雄エクリプス1） 浅川と多摩川の合流地点 時々潜って採餌

58 ミコアイサ

高月浄水場の池、多摩・多摩川滝山城跡下 4～8 羽が渡来

64 カンムリカイツブリ

4/24 1 羽 多摩川・立日橋下流 夏羽

137 ミソゴイ

高尾・初沢山、下恩方町で 5 月に声

141 ササゴイ

5/20 1 羽 浅川右岸・一番橋の上流

143 アマサギ

6/3 1 羽 高月水田



<アマサギ>

144 アオサギ

3/29（20 巣 多摩動物公園内 集団営巣）。4/10（数巣 陣馬街道切通バス停付近 集団営巣）

166 クイナ 湯殿川等の約 15 カ所で各 1 羽

170 ヒクイナ 北浅川・陵北大橋付近で声

189 ヨタカ 小津町で声

354 ツミ 数カ所で営巣

372 フクロウ 宇津貫緑地に架けた巣箱で営巣、
雛が2羽巣立つ

374 アオバズク 数カ所の神社、公園で営巣

378 アカショウビン 6月に西寺方町、裏高尾町
(神明神社付近)、小仏川沿い(駒木野)の3カ所で
声、通過と思われる

388 アリスイ 2/3 1羽 浅川・湯殿川合流点(浅
川右岸) 枯草にとまっていた

412 サンショウクイ(亜種リュウキュウサンショ
ウクイ) 数カ所で観察

418 サンコウチョウ 数カ所で営巣

438 キクイタダキ
2/3、2/9、2/22 1羽 片倉城跡公園

476 オオムシクイ 6/4 1羽 長池公園
6/10 1羽 多摩川・昭和堰上流右岸

512 カワガラス
浅川(浅川市民センター裏)で営巣

549 イソヒヨドリ 51巣で営巣を確認(昨年45巣に対し19巣増えたが13巣で営巣がなくなり、差引6
巣の増となった)、詳細は別途本文を参照

554 コサメビタキ 八王子城跡他で営巣

566 カヤクグリ 3/1 3羽 高尾山・大平林道高尾林道との分岐 鳴き声

586 アトリ 10カ所以上の場所で観察 羽数が多かったのは1/5 高尾山4号路で約100羽

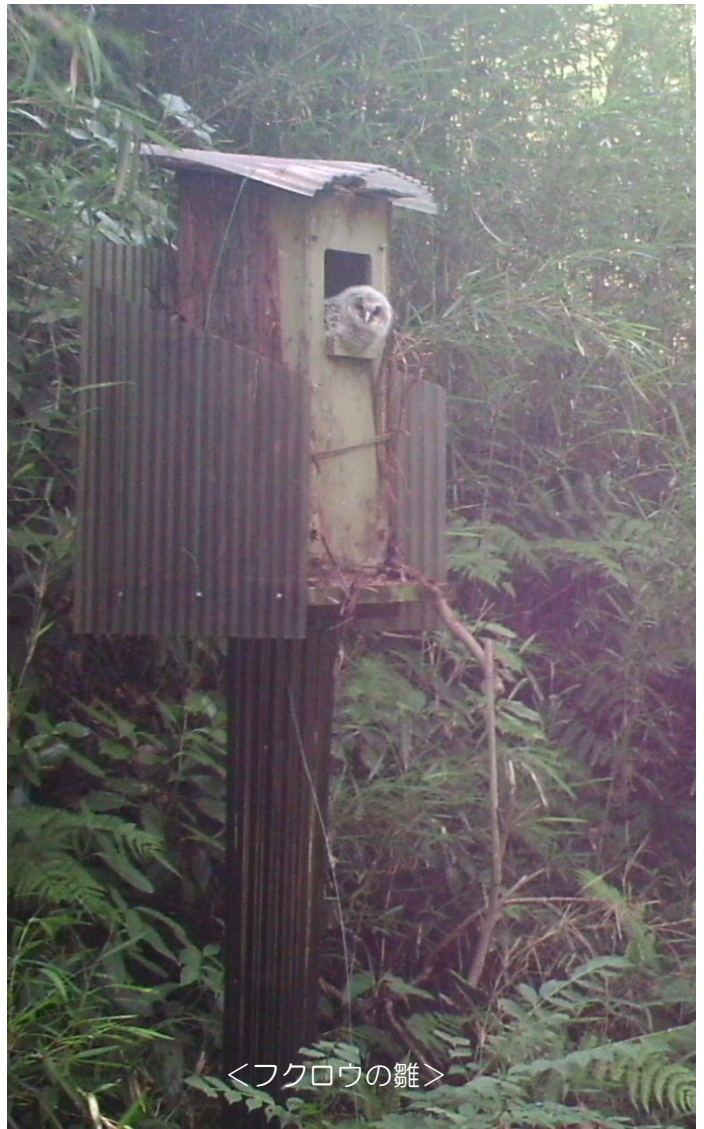
588 マヒワ 3カ所で観察 羽数が多かったのは3/1 高尾山・大平林道旧作業小屋先で約15羽

592 ベニマシコ 浅川、多摩川の河川敷5カ所で観察

599 ウソ 2/4 1羽 高尾山・大平林道学習の道分岐付近、3/3 2羽 高尾山・5号路入口

618 ミヤマホオジロ 2/3 1羽 多摩森林科学園柳沢林道

625 クロジ 1/9 2羽 多摩川・滝山城跡下



イソヒヨドリ 2022 年に確認した営巣数 50 をこえた

まとめ： 粕谷 和夫

1. 1 月から 7 月までの観察件数

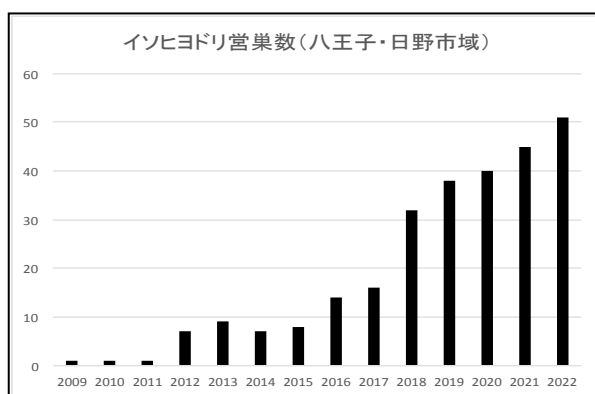
イソヒヨドリの観察はカワセミ会の会員が 365 日観察し、その結果を鳥信として事務局（粕谷）に送られる仕組みになっている。また非会員からの情報も常時受け付けている。2022 年に「鳥信」に報告があった件数は 176 件で昨年を下回った。

イソヒヨドリの鳥信の件数（2022年7月は25日迄）

観察月	2018	2019	2020	2021	2022
1月	7	6	15	17	6
2月	8	4	4	8	9
3月	15	19	36	35	11
4月	53	37	42	36	50
5月	64	51	72	86	74
6月	16	26	32	33	23
7月	6	7	8	8	3
計	169	150	209	223	176

2. 2022 年 7 月までに確認された営巣の状況

2022 年の営巣状況は右図の通り 51 巣が確認され、前年の 45 巣より 6 巣増えた。前年 45 巣のうち本年も継続されたのは 31 巣、昨年営巣されたが本年が確認出来なかった巣が 14 巣、昨年営巣がなかった所で本年営巣された巣が 20 巣であった（20 巣のうち、本年新たに確認された巣は 14 巣である）。これで初めて営巣が確認された 2009 年から 2022 年までのトータルの営巣地は 82 カ所となった。



イソヒヨドリの営巣地(八王子・日野市域)

No	巣の場所	巣のある建物	確認できた巣の数						2022特記事項	
			2009	2012	2015	2018	2020	2021		2022
1	JR八王子駅南口付近	集合住宅	1				無し	無し	無し	
2	JR八王子駅北口東側付近(京王プラザホテル駐車場の南側)	集合住宅		1	1		1	無し	1	
3	JR八王子駅北口東側付近(八栄ビル)	事務所ビル					1	1	無し	通気口
4	JR八王子駅北口東側付近(八王子市まちづくり公社付近)	事務所ビル				1	1	1	1	
5	JR八王子駅北口東側付近(京王プラザホテル東の自転車駐輪所の東)	個人住宅						1	無し	民家の庇
6	京王八王子駅付近(たましん支店付近)	事務所ビル				1	1	1	1	通気口
7	京王八王子駅付近(保健所付近)	不明					1	不明	不明	
8	JR八王子駅南口付近(子安町4丁目)	事務所ビル					無し	無し	無し	
9	JR八王子駅南口付近(子安町1丁目)	民家					1	1	1	巣の位置特定(民家の屋根)
10	八王子市明神町3丁目(ふゆとう医院)	医院				1	1	無し	無し	
11	明神町3-3(松姫最中ビル)	店舗						1	1	通気口
12	明神町2丁目の交差点(日本通運の倉庫)	倉庫						1	無し	屋根の隙間、ムクドリに乗っ取られる
13	北野町の明神町2丁目の境界付近(ファーストフード工場付近)	不明						1	1	
14	大和田町のエコタウン(旧ムラウチ電気)	大型量販店						1	無し	通気口
15	中央高速道・八王子インター入口付近	不明							1	
16	石川町民間工場	工場						1	1	
17	川口川・川口川橋付近	家屋							1	通気孔に営巣
18	八王子市南町付近(住宅地事務所混在地)	不明					無し	無し	1	
19	八王子市八日町	不明					1	1	不明	
20	八王子市八幡町	不明					1	1	1	
21	城山川・三村橋付近	不明							1	
22	JR西八王子駅北口付近	不明				1	無し	無し	無し	
23	JR西八王子駅南口付近	集合住宅					無し	無し	無し	
24	JR西八王子駅南口(散田3丁目9田沢ビル付近)	店舗					1	1	1	
25	JR西八王子駅南口(南多摩病院付近)	不明				1	1	無し	無し	
26	JR西八王子駅南口付近(踏切近く)	業務ビル				1	無し	無し	1	

No	巣の場所	巣のある建物	確認できた巣の数						2022特記事項	
			2009	2012	2015	2018	2020	2021		2022
27	JR西八王子駅南口(西八ハイツ付近店舗換気孔)	店舗					1	1	1	
28	西浅川町(現甲州街道から旧甲州街道小仏方面に入って50m位の所)	個人住宅					1	1	1	屋根の隙間
29	甲州街道小名路・西浅川信号脇	集合住宅						1	不明	屋根の隙間
30	廿里町公会堂向かいの民家	個人住宅						1	不明	
31	高尾駅北口(甲州街道マンション・マイキャッスル高尾)	集合住宅			1	1	1	1	1	
32	高尾駅北口(甲州街道グランシャリオ)	集合住宅			1	1	1	1	1	
33	高尾駅北口(JA八王子付近)	集合住宅					1	1	1	
34	高尾駅北口(「高尾駅前第二信号」角の木造住宅)	個人住宅							1	木造住宅の隙間
35	高尾駅構内	駅構内通路						1	1	屋根の隙間
36	高尾駅南口付近(グルメシティダイエー)	大型量販店			1	2	1	無し	無し	通気口、ムクドリに乗っ取られる
37	高尾駅南口付近(高尾パークハイツA棟)	集合住宅					1	1	1	外付け階段
38	高尾駅南口付近(グルメシティ前のマンション)	集合住宅							1	
39	高尾駅南口付近(KEIO TAKAO BLDG ANNEX)	集合住宅		1	1	無し	無し	無し	無し	
40	高尾駅南口付近(みころん保育園分園)	不明					無し	無し	無し	
41	高尾駅付近(スーパーバリュー)	大型量販店						無し	無し	
42	高尾駅付近(イーアス)	大型量販店			1	1	1	1	不明	
43	東浅川町(東浅川ビル・町田街道「東浅川信号」付近)	集合住宅						2	1	通気口
44	東浅川町(御室製作所付近)	事務所						1	無し	
45	狭間町(佐藤製菓)	事務所							1	
46	狭間駅付近(イトーヨーカ堂)	大型量販店		2	1	1	無し	1	1	
47	狭間駅付近(ヤマダ電機)	大型量販店					1	1	1	
48	狭間駅付近(大信工業)	工場				1	無し	無し	無し	
49	狭間駅付近(双葉製作所)	事務所ビル				1	1	無し	無し	
50	京王めじろ台駅付近	不明				1	1	無し	1	
51	京王めじろ台駅付近(永生病院)	病院				1	1	1	不明	
52	京王めじろ台駅付近(ドンキホーテ)	大型量販店				1	1	無し	無し	
53	湯殿川左岸白旗橋付近	不明							1	
54	横浜線片倉駅	駅ホームの下				1	1	1	1	巣の位置特定(高架駅のホーム下)
55	横浜線八王子みなみ野駅付近	大型量販店			1	1	1	2	2	立体駐車場に2巣
56	横浜線八王子みなみ野駅付近(フレスポ八王子みなみ野附近)	複合商業施設				1	1	1	1	
57	みなみ野4丁目(みなみ野君田小学校入口信号付近)	不明							1	
58	みなみ野5丁目(その1)	不明							1	
59	みなみ野5丁目(その2)	不明							1	
60	南大沢駅付近(三井アウトレット)	大型量販店		2	1	1	1	1	1	
61	南大沢駅付近(イトーヨーカ堂)	大型量販店		1	1	2	2	2	2	
62	南大沢駅付近(イトーヨーカ堂立体駐車場)	大型量販店							1	
63	南大沢駅付近(パオレ南大沢店?)	大型量販店					1	1	1	
64	八王子市別所(ぐりんうおーく多摩)	大型量販店					不明	不明	不明	
65	京王堀之内駅付近	不明					1	1	1	
66	大栗川の大田川合流付近	不明							1	
67	都営鎌水2丁目団地	不明						1	1	
68	京王北野駅北口(交番裏のビル)	雑居ビル				1	1	1	1	通気口
69	北野町(八王子消防署北野出張所付近)	不明			1	1	無し	無し	無し	
70	北野駅北口(新潟運輸)	事務所						1	無し	
71	京王北野駅付近(南口)	集合住宅			1	無し	1	1	不明	
72	北野駅南口16号西側附近	不明							1	
73	京王長沼駅南口(長沼町ビッグエー付近)	不明					1	1	不明	
74	京王高幡不動駅付近	不明			1	1	1	1	1	
75	京王平山城址公園駅付近	不明			1	無し	無し	1	1	巣の位置特定(民家の屋根)
76	谷地川新旭橋付近	工業団地		1		無し	無し	無し	無し	
77	豊田駅付近(イオンモール多摩平の森の屋上付近)	不明				無し	無し	1	1	
78	浅川・一番橋北側	不明							1	
79	日野市立七生中学校附近	不明						1	1	途中放棄
80	日野市旭が丘1丁目(MFLP日野付近)	不明			1	1	不明	不明	不明	
81	日野市旭が丘4丁目付近	不明				1	不明	不明	不明	
82	日野市日野台	工場			1	2	2	無し	無し	2021工場閉鎖
	巣数(単年)		1	7	8	32	40	45	51	

3. 51 巣以外に 2022 年に営巣した可能性がある場所とその状況

営巣したことが確認できなかったが、その可能性がある場所は下表のとおり 25 カ所あった。これを含めると 2022 年の営巣数は 76 巣（51+25）となる。

2022年イソヒヨドリが営巣した可能性がある場所とその状況

観察場所	観察年月日	観察状況(営巣の可能性)	メッシュ
松枝住宅6号棟	2022/4/1	道路に面した所の駐輪場屋根柵に登ったりしていた。(中村后子他)	拝島3B
浅川・長沼橋右岸下流50mの電柱	2022/4/3	午前7時に、オスが1羽電柱で鳴いていた。橋から4本目の電柱だった。(山崎久美子)	八王子9G
八王子市万町	2022/4/7	マクドナルド 屋上 ♂ 囀り (古山隆)	八王子6H
JR八王子駅北口	2022/4/8	放射線通り 中町公園 横のビル屋上 ♂ 囀り (古山隆)	八王子7J
中野山王1丁目住宅地	2022/4/8	オス。中野山王1丁目住宅地、コンクリート造マンションの柵の部分にとまって15分程さえずっていました。オス、1羽。聞きなれないとても美しいさえずりが聴こえてきたので、姿を探したところ、青とオレンジの鳥が鳴いているのを見つけ、ネットで鳴き声を調べたところ、イソヒヨドリで間違いのないことが分かりました。(会員外からの情報)	拝島6A
JR八王子駅北口の西側付近	2022/4/11、4/26	4/11:オス。野猿街道の中央線陸橋から北側の幾つかのビルの屋上を動き回って、それぞれの場所でさえずりを繰り返す。4/26:5時30分。オス。野猿街道の中央線陸橋から北側のビルの上からさえずり。(粕谷和夫)	八王子7J
野猿街道の「絹ヶ丘2丁目」信号から東に100m	2022/4/12	オスが1羽、電線の上でさえずっていた。(山崎悠一)	八王子9G
小仏川左岸・蛇滝橋上流側 SOS子ども村付近	2022/4/14	オス、平屋の民家の屋根に長く止まって鳴いていた。(粕谷和夫)	八王子0G
日野市石田	2022/4/16	日野市石田の自宅近く。オス。電柱の上でさえずっていた。(菅野桂子)	立川3A
大栗川・内田橋上流100m	2022/4/18	オス。川の中から飛び上がり、右岸緑道の手すりにとまる。水浴びをしていたようで、羽毛が濡れていた。(佐藤哲郎他)	武蔵府中1E
大栗川 大竹橋上流100m右岸	2022/4/18	オス(内田橋上流100mとは別個体)。マンション屋上のアンテナ上にとまり、盛んにさえずる。(佐藤哲郎他)	武蔵府中1E
浅川・山田川合流付近の水管橋	2022/4/23	オス。浅川右岸山田川合流付近にいた個体が水管橋に移動、その後見失う。(ジュニアクラブ観察会)	八王子8H
豊田駅南口多摩信用金庫付近	2022/4/23	オス。豊田駅南口多摩信用金庫並びに西隣のビル。多摩信用金庫の西隣のビル8階の手すりに止まって囀っていたがしばらくして多摩信用金庫の駐車場に舞い降りて車の陰に隠れた。(岡本昭男)	武蔵府中0J
湯殿川左岸春日橋付近	2022/4/24	オス、4階ビルの屋上でさえずり続けた後に近くの住宅団地に移動(粕谷和夫)	八王子9H
浅川・大和田橋と八高線鉄橋中間付近右岸	2022/5/4	♂。複数のビルの屋上を次々に飛び移ったり、外灯の上にとまったり、ビル2Fから階段部分を抜けて3Fに抜けたりしていたが途中で見失った。(萩島伸介)	八王子8J
北野駅北口新潟運輸	2022/5/6	メスが新潟運輸(昨年の営巣場所)の方に飛んで行ったが見失った。(粕谷和夫)	八王子8J
日野市東豊田2丁目	2022/5/7	日野市東豊田2丁目の「日野市東豊田市民農園」の西側柵。(浅川左岸、一番橋を上流へ100mほど)。オスが1羽。市民農園の柵と西側の民家の屋根上を行ったり来たりしていた。時折、市民農園内に積まれているくず野菜をつついていた。(会員外からの情報)	武蔵府中1K
日本通運の倉庫付近(明神町2丁目の交差点)	2022/5/20	オス。昨年営巣した日本通運の倉庫の隣のマンションの屋上でさえずっていた。(粕谷和夫)	八王子8J
自宅マンション(梶田町)	2022/5/23	12時30分頃、自宅マンション(梶田町)の立体駐車場でイソヒヨドリの雄一羽を見かけました。壁の上を走っていました。(目黒明子)	八王子5F
松木浅間神社北側の畑(八王子市松木54-19)	2022/5/25、6/1	5/25:雌。ジャガイモ畑のテントの上に留まっていたが暫くすると隣の畑に飛び立った。6/1:雄、雌。松木浅間神社北側の戸建て住宅の屋根。観察した場所よりさらに北側の戸建て住宅の屋根に雌がいて、その脇の電線の上に綺麗に囀る雄が居た。(市村緑)	武蔵府中1E
南大沢1丁目 WILD-1向かい太田川右岸	2022/5/27	右岸側から目の前を横切り川の柵に止まりすぐ飛び去った。色の鮮やかな個体だった。「WILD-1」とは南大沢にあるアウトドアスポーツ用品店の事です。(中野恵理子)	武蔵府中1D
西八王子駅北口の約600m東側(追分町3丁目)	2022/5/29、30	オス。八王子整形外科と中央線の間の路上。5/30はオスが中央線の線路状、メスがその近くに電線に止まっていた。2羽とも餌運びはしていなかった。(野口佐和子、粕谷和夫)	八王子5J
日野市・立日橋北交差点付近	2022/6/15	午後5時50分頃、立日橋北交差点の交番の裏手で、イソヒヨドリのオスが1羽、電線にとまっていた。その後、建物の上に移動した後モノレールの向こうに飛んでいってしまいました。(会員外からの情報)	立川2B
自宅(下恩方町)付近	2022/6/16	♀。桑の実を食べに自宅付近に現れる。(清水盛通)	拝島0A
八王子市本町	2022/6/18	本町12-14。6月1日 16時半頃 オス♂1羽、家の裏の窓に向かって、何度か飛んできた。小屋根にとまったところをじっくり観察できた。6月18日 9時半頃 メス♀1羽、家の庭にいて、近づいても飛びたさないため、じっくり顔を観ることができた。(会員外からの情報)	八王子6K

4. 2022年に新たに営巣が確認された巣（番号は営巣地の表のものと対応している）

15. 中央高速道・八王子インター入口付近 6/2 オス・メス、国道16号沿い富士工業と南関東日野自動車八王子支店の屋上を移動していて、メスは餌を啜っていた。粕谷和夫
17. 川口川・川口川橋付近 6/11 川口川橋近くの米屋さん（2階建家屋）の通気孔。中に巣があると思われる通気孔に親2羽が餌を啜って出入りしていた。粕谷和夫
21. 城山川・三村橋付近 5/22 民家の屋根で白い餌を啜えたイソヒヨドリ♂の姿を確認しました。都道脇の電柱から中央自動車道の南側法面に移動するのを何度か確認した。荻島伸介
34. 高尾駅北口（「高尾駅前第二信号」角の木造住宅） 5/23 甲州街道「高尾駅前第二信号」角の木造住宅2階の切り妻の隙間の営巣。粕谷和夫
38. 高尾駅南口付近（グルメシティ前のマンション） 5/6 オス、階段の折り返しの穴が巣になっていました。巣立ちを促すように鳴いていた。関谷孝
45. 狭間町（佐藤製菓） 5/27 巣の位置をほぼ確定できました。メスがいつも姿を消す辺りに、青虫をくわえたオスも入っていき、すぐに出てきたオスの口に獲物は無くなっていました。木田典子
53. 湯殿川左岸白旗橋付近 5/7 オス。マンションの屋上角のしばらくの間止まっていた。
57. みなみ野4丁目（みなみ野君田小学校入口信号付近） 6/1 オス・メス「みなみ野君田小学校入口」信号付近、ビルの屋上や地上を動き回っていた。粕谷和夫
58. みなみ野5丁目（その1） 6/4 5月末から自宅建物前に現れ、定期的に囀り、フィンフィンという声やカラカラという声もします。メスは左の足先が欠損していますが、みごとにハチを捕らえ、2羽の雛の子育て中です。高橋靖乃
59. みなみ野5丁目（その2） 6/4（その1）と別のペアの雛が建物の手すりの下や自転車置き場の屋根の上を歩きまわり、フンもよく落とされています。高橋靖乃
62. 南大沢駅付近（イトーヨーカ堂立体駐車場） 5/19 オスが獲物をくわえて6階南西の角に飛び込んだ。その直後にその近くの6階のフェンスにメスが止まっていた。岡田浩郎
66. 大栗川の大田川合流付近 5/17 オス。合流部緑地にいた。大田川から飛んで来て緑地で餌らしき物を啜って大栗川左岸の方へ飛んで行った。工藤正子
72. 北野駅南口16号西側付近 5/14 数か月前から自宅近所で鳴き声が聞こえてきた。主に午前中、南口オートバックス周辺。2~3羽、オスは確実に1羽見た。エサ取りに地上に降りる。会員外からの情報
78. 浅川・一番橋北側 6/23 人家の屋根にいたが庭に下りて餌を探していたがその後飛び去った。同じような場所で連日雌雄を見かけたので近くで営巣しているか探したが見つからない。岡本昭男

5. 2022年に営巣場所が確認された巣

2021年までに営巣していることは確認されていたが、巣の位置が分からなかったもののうち、以下の巣は具体的な場所が確認された。

9. JR八王子駅南口付近（子安町1丁目） 5/24 メス。駅ビルから約50mの近さの所の2階民家の屋根裏のような所にはいる。粕谷和夫
54. 横浜線片倉駅付近 6/1 オス。巣の場所は横浜方面プラットホームの高架下であった。オスが餌を啜る巣のあると思われる所に入り、ヒナの糞と思われる白い袋を啜って出てきた。粕谷和夫
75. 京王平山城址公園駅付近
- 5/27 ♂の鳴き声を追尾すると2階建ての民家に巣立ちヒナがいた。危うい飛翔で窓枠にしがみついたり、排気口（野鳥の出入りはできない）へ進入しようとしたり。成鳥♂はその屋根にいたり、地面で採餌?をしたり。玉木雅治

6. 点から面への営巣地の拡大

営巣場所が駅周辺の大規模量販店や集合住宅に集中している傾向にあるが、駅周辺からやや遠い所でも営巣または、営巣の可能性のある例が増加してきたことは 2021 年の結果報告に記した。本年は駅から 1 km 以上離れた所で 4 巣が確認された。

15. 中央高速道・八王子インター入口付近 (JR 八王子駅から直線距離約 2.5km)

17. 川口川・川口川橋付近 (JR 八王子駅から直線距離約 1.8km)

21. 城山川・三村橋付近 (西八王子駅から直線距離約 1.5km)

53. 湯殿川左岸白旗橋付近 (めじろ台駅から直線距離約 1.2km)

7. ムクドリに巣が奪われる

民家の戸袋等に営巣しているムクドリの巣をイソヒヨドリが乗っ取ったという例は観察されてないが、イソヒヨドリが営巣していた所をムクドリに奪われた事例が 2 件観察された。

12. 明神町 2 丁目の交差点 (日本通運の倉庫) 屋根の隙間

36. 高尾駅南口付近 (グルメシティダイエー) 通気孔

8. 本調査に参加した会員、非会員

今期、鳥信に観察情報を寄せられた会員は以下の 36 名でした (五十音順)。

市村緑、宇都宮信子、岡田浩郎、岡本昭男、岡本昭子、荻島伸介、粕谷和夫、門口一雄、門倉美登利、菅野桂子、木田典子、木村晴美、工藤正子、久保山嘉男、今野美代子、佐藤哲郎、清水盛通、関谷孝、高橋靖乃、田中博之、玉木雅治、千葉禎子、中野恵理子、中村后子、中山千晶、中山尊人、野口佐和子、浜田早苗、浜野知恵子、浜野建男、福本順吉、古山隆、宮本真理、目黒明子、山崎久美子、山崎悠一

この他に非会員でカワセミ会 HP の窓口アドレスを通じて、また粕谷に直接 e メールで情報を送って頂いた方からのデータが 15 件です。有難う御座いました。カワセミ会では、本会の HP を通じて常にイソヒヨドリの観察情報の送信を依頼していますので、今後とも引き続き情報提供をお願いします。送られた情報は固有名詞を伏せて逐次本会の HP に「速報」としてアップしています。



高尾駅前のオス：上空を飛び猛禽かカラスにも目配りしていると思われる

復活しない南浅川のゲンジボタル

(2022年浅川流域ホタル、カエル調査結果)

まとめ： 粕谷 和夫

浅川本支流のホタルとカエルの調査を2022年も行った。この調査は2001年から始めたので今年で22年目となった。本年は湯殿川で過去最高の275頭を記録し、全体でも411頭を記録したが、2019年から減少した南浅川は本年も復活しなかった。この調査は鳥のナイトウォッチングも兼ねていて、本年は6/21に川口川堀口橋付近でアオバズクの声聞いた。今年はホタルの観察地点をNPOバードリサーチの協力を得てマッピングを試みた。

1. 北浅川上流部

松竹公園付近、恩方中学前大沢橋、駒木野橋、黒沼田橋等は本年は調査できなかった。

2. 浅川水系中下流部

浅川水系の下流部にどのくらいゲンジボタルが復活しているか、これが本調査のメインテーマである。本年は6/15に湯殿川、6/17に川口川、6/19と20に南浅川、6/20に城山川、6/23に北浅川、6/24に山田川を粕谷が自転車で行った。

北浅川の本年の最下流観察地点は中央高速道橋～鶴巻橋（具体的には清川ランド）で、これは今までの調査で最も下流地点である。南浅川の本年の最下流観察地点は北浅川合流手前で、これも今までの調査で最も下流地点である。ここは清川ランドの対岸地で、北浅川と南浅川ともに合流地までホタルが復活しつつあることが認められたことになる。

湯殿川は町田街道の湯島橋から白旗橋まで全ての橋間でゲンジボタルが観察され275頭を記録した。中でもさかい橋～櫛橋間は90頭と賑やかであった。

本年は点滅間隔が2秒型（関西系）、4秒型（関東系）を区分してカウントした。結果は殆どが2秒型であったが、城山川の中央高速道橋から月夜峯新橋では4秒型であった。

浅川水系中下流部におけるゲンジボタル成虫カウント数

(カウント者は粕谷和夫でカウント日は各年6月中下旬～7月上旬の任意の日で最盛期に一致しない) 「-」は未調査

河川名	カウント区間	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2022年観察した最下流地点
北浅川	陵北大橋下流～鶴巻橋	2	10	2	4	29	9	20	2	1	6	7	中央高速道橋～鶴巻橋
南浅川	案内川・小仏川合流地～北浅川合流地	3	20	7	56	96	96	40	2	1	1	9	横川橋～北浅川合流地
川口川	田守橋～川口川橋	19	7	-	26	5	102	14	23	7	14	79	宮田橋～山王橋
城山川	新宮田橋～北浅川合流地	20	1	0	-	2	20	13	4	2	1	41	不動橋～しんどう橋
山田川	月見橋～黄金橋	0	0	-	-	-	0	0	-	-	-	0	
湯殿川	湯島橋～住吉橋	15	0	20	-	-	4	34	38	16	79	275	船橋～白旗橋
	計	59	38	29	86	132	231	121	69	27	101	411	

3. 「上川の里（北沢谷戸）」のホタル

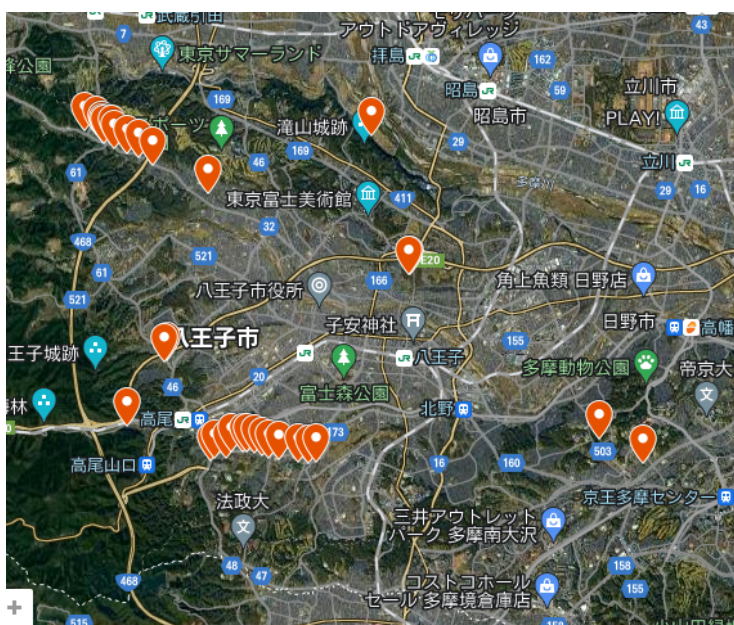
八王子里山クラブは川口川の源流部の「上川の里」の田んぼで稲の不耕起栽培を行っている。6/26にここで観察会を行った。その結果、ゲンジボタル30頭（2秒間隔点滅）、ハイケボタル20頭が観察された。

4. 高月水田用水路の末端水路で滝山丘陵北側の山裾の小川

粕谷6/9にカウントした。その結果はゲンジボタル約200頭であり、2秒点滅が多かったが4秒点滅もいた。

5. その他

片倉城跡公園、小宮公園、宮嶽の谷戸、宇津貫緑地などの結果は浅川本支流とともに右のマップに示す。



2022 年東京都指定緑地保全地域における野鳥の生息調査の概要

まとめ： 粕谷 和夫

カワセミ会では東京都指定緑地保全地域で野鳥の定期カウントを行っている。2022 年も越冬期 1 月、繁殖期 5 月に以下の調査を行った（暁町は一月遅れ）。調査した 9 地域全体で種類数は越冬期 35 種、繁殖期 30 種、両期計で 45 種であった。地域別では館が最も多く 28 種、20 種を超えたのは 4 地域であった。

(第1表)2022年の調査結果概要

地域	越冬期				繁殖期				種類数 計
	実施月日	観察種数	担当者	参加者数	実施月日	観察種数	担当者	参加者数	
1 東豊田	1/23	18	岡本昭男	2	5/21	9	岡本昭男	2	19
2 宇津木	1/23	15	粕谷和夫	6	5/21	12	粕谷和夫	6	19
3 宝生寺	1/23	16	柚木育子	1	5/22	18	柚木育子	1	24
4 石川	1/23	22	渡辺仁	3	5/21	19	渡辺仁	2	26
5 戸吹	1/23	16	門口一雄	1	5/21	16	門口一雄	1	21
6 館	1/23	25	加藤岸男	4	5/24	18	加藤岸男	3	28
7 長房	1/23	9	千葉禎子	1	5/21	6	千葉禎子	1	13
8 川口	1/23	13	山崎悠一	2	5/22	10	山崎悠一	3	16
9 暁町	2/8	13	粕谷和夫	1	6/10	6	粕谷和夫	1	14
計		35		21		30		20	45

種別のカウント数は次ページ表のとおりである。希少種はアオバト（宝生寺、戸吹、川口）、サンコウチョウ（宝生寺）、アトリ（東豊田）であった。

注目種では、キビタキが繁殖期に 7 地域、クロツグミ、オオルリも各 1 地域で確認された。オオタカ、ノスリは越冬期に各 2 地域で確認された。ガビチョウは全地域で確認、すっかり定着していることが証明された。以下は担当者のコメントの抜粋である。

1. 東豊田 1/23.アトリ、イカルの群れが確認された。不明鳥 1 羽は猛禽であることは間違いなさそうだが同定できず。5/21 静かな公園でコジュケイの大きな声が一瞬鳴り響いた。
2. 宇津木 1/23 特になし。5/21 キビタキが市指定（宇津木台緑地）、都指定（宇津木緑地）の両方の緑地で 1 羽づつ確認された。
3. 宝生寺 1/23、5/22 とともに特記事項なし。
4. 石川 1/23 ナラ枯れが進行し、枯れたコナラが多くなっている。5/21 トビはいつものアカマツに巣があるがヒナは見えなかった。ハシボソガラスは電柱の上で営巣、巣立間近のヒナ 2 羽。カラ類の家族群を確認。
5. 戸吹 1/23 ルリビタキみ♀がペアで行動していた。5/21 クロツグミ 2 が、10m程先の雑木林を地鳴きしながら枝移りする。
6. 館 1/23 水辺の鳥はカワセミのみだった。5/24 キビタキがよく鳴いていた。
7. 長房 1/23 城山川河川改修工事中断中。5/21 城山川河川改修工事中断中。ナラ枯れの大規模伐採処理。作業道新開設。環境がかなり変化した。
8. 川口 1/23 尾根道最後のピークの倒木は未手入れのまま。5/22 相変わらず尾根道最後のピークの倒木は未手入れのまま。尾根道で前方からアオバトの声を聞いた。
9. 暁町 2/8 ノスリが地面から飛び上がり木の枝に止まった。6/10 特になし。

(第2表) 2022年緑地保全地域野鳥カウント結果

		越冬期(2022年1月)										繁殖期(2022年5月)																			
		1東豊田	2宇津木	3宝生寺	4石川	5戸吹	6館	7長房	8川口	9暁町	出現個所数	1東豊田	2宇津木	3宝生寺	4石川	5戸吹	6館	7長房	8川口	9暁町	出現個所数										
5	キジ			1			1														2						1	3			
32	カルガモ	12																				3							1		
74	キジバト	8	5	2	4	1	2	1	3	5	9											3	3		3	2			4		
78	アオバト																										2		3		
144	アオサギ														2														1		
185	ホトギス													1															1		
342	トビ			1	1																				2				1		
356	オオタカ				1	1																							0		
358	ノスリ				1																								0		
383	カワセミ							1																			1		1		
390	コゲラ	2	2	5	8	4	1	2	7	1	9												2	1	5	5	1		4	1	7
397	アオゲラ	1		1	2	2	1		1	1	7															2	1	1	2	1	6
418	サンコウチョウ																								2					1	
420	モズ	2						1																					0		
427	カケス			3																									0		
429	オナガ	5				13																							0		
435	ハシボソガラス	6	6		5	2	2	3	1	4	8	7	2		8	2	1										5	6			
436	ハシブトガラス	1	6	3	6	5	4	2	4	2	9	1	7	4	3	11	1										4	2	8		
442	ヤマガラ	4	7	7	6	2	6	2	6	2	9				4	8	2	1									2		5		
445	シジュウカラ	14	15	7	24	6	13	8	13	4	9	4	2	6	23	15	13	1	5										8		
457	ツバメ																													5	
461	イワツバメ																													2	
463	ヒヨドリ	8	7	5	22	5	7	3	5	26	9	14	6	5	24	17	20	14	7	6									9		
464	ウグイス	8	2	3	10	2	1																							6	
465	ヤブサメ																													1	
466	エナガ	2	25	3	32	5	2		10		7				5	17											2		3		
485	メジロ	15	9	13	28	12	11	2	7	4	9	2	2	5	5	17	5										3		7		
506	ムクドリ	3			2																									5	
518	クロツグミ																													1	
521	シロハラ		2	3	2	1	2																							0	
525	ツグミ			1	1		1																							0	
536	ルリビタキ		1	2		2	2	1																						0	
540	ジョウビタキ		1		2	2	1																							0	
558	キビタキ																													0	
561	オオルリ																													0	
569	スズメ		11		22		2																							3	
573	キセキレイ				1																									1	
574	ハクセキレイ	1	1																											2	
586	アトリ	10																												1	
587	カワラヒワ				2																									2	
600	シメ																													2	
602	イカル																													1	
610	ホオジロ																													6	
617	カシラダカ																													2	
624	アオジ					1	17																							1	
	出現総羽数	132	100	60	195	53	106	24	61	54		42	40	63	137	96	74	27	38	20											
	種類数	18	15	16	22	16	25	9	13	13		9	12	18	19	16	18	6	10	6											
	不明鳥-1	1																												0	
外来種																															
901	コジュケイ				4		2																							2	
903	ドバト	33																												1	
909	ガビチョウ	4		2	2	2	4	2	5		7	3	4	3	12	11	14	5	5	2										3	
オスメス等の内訳																															
420-1	モズ♂	1					1				1	1																		4	
420-2	モズ♀	1																												1	
420-3	モズ幼鳥																													0	
420-4	モズ不明																													0	
536-1	ルリビタキ♂		1			1	1																							3	
536-2	ルリビタキ♀型					1		1																						2	
536-3	ルリビタキ不明			2			1																							2	
540-1	ジョウビタキ♂		1		1	1	1																							4	
540-2	ジョウビタキ♀				1																									1	
540-3	ジョウビタキ不明					1																								1	

公開・初心者のための野鳥写真撮影講座 結果報告

担当： 加藤 岸男

【経緯】

本講座は、当会創立 35 周年記念事業の一環として、2022/2/11 に開催予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大のため延期となり、2 ヶ月半遅れでようやく開催する運びとなった。参加者予定者の皆さんは延期日程でも、体調不良の方一人を除く全員が希望され、参加された。

会長の挨拶の後、講師の野口さんの講義は 10 分間の休憩をはさみ、質疑応答で終了するまでみっちり 2 時間 20 分に及んだ。参加者は皆さん熱心に聞き入っていた。

当日は昼過ぎから降雨となり、残念ながら午後日程は中止となった。

【実施計画】

- ねらい 野鳥撮影技術と撮影マナーの向上を通して、
 - 野鳥を観察し、同定したり記録を保存したりする一助にする。
 - 野鳥に親しみ、野鳥観察の楽しみ方を多様化する。
- 期 日：2022 年 4 月 29 日（金 祝日）
- 場 所：八王子市立由井市民センター2 階調理室及び片倉城跡公園・湯殿川
- 講 師：自然写真家 野口好博さん「ブログ鳥達との出会い」参照
- 参加者：参加者 20 名(会員 10 名、一般 10 名) 講師およびスタッフ 5 名 合計 25 名
- 日程・役割分担
 - 8 時 50 分 スタッフ(講師含む)集合 会場設営
 - 9 時 10 分 受付開始(名簿チェック、参加費集金、図鑑販売)
 - 9 時 30 分 ①会長あいさつ……会長 ②講師紹介……司会
③講義 ～11 時 45 分 撮影技術・機材・マナー等について
～12 時 00 分 質疑応答
 - 12 時 00 分～12 時 40 分…昼食・移動準備
 - 12 時 45 分～14 時 45 分…野鳥撮影の実際(随時講師の話が入る場合あり)
 - コース 片倉城跡公園池付近→湯殿川かたくり橋→集いの森→二の丸広場
 - 先導・中程・後尾にスタッフが入る。
 - 14 時 45 分～15 時 00 分…まとめ(場所 二の丸広場)
 - 講師のお話……講師 ②お礼の言葉……司会 ③図鑑購入の勧め※終了後、全員で、片倉城跡公園池付近、由井市民センターへ移動する。
※荒天時は、(1)～(3)で実施する。
但し、交通障害等が出るような気象情報の場合は中止する。
前日 17 時に判断し、連絡する。
(4)～(5)の実施判断は、担当が 12 時に行い、参加者に伝える。
- 持ち物：撮影用具(手持ち・一脚)、観察用具、昼食、飲み物、不織布マスク、雨具
- 参加費：1000 円(含、保険料)
- 予 算：
 - 収入 32000 円(内訳 参加費 20,000 円、30 周年記念事業費 12000 円)

(2)支出 32873 円(内訳 講師謝金 30000 円 会場費 2000 円 講師昼食・飲物代等 873 円)

※参加費に不足が生じた場合には 35 周年事業費から補填する。

10. 事後処理分担：会計処理、報告書作成等、全て担当が行う。

【講義内容】

1. 初めに

(1) 各月の野鳥写真(Gallery)

1 月コミミズク～12 月ソリハシセイタカシギまで 12 枚

(2) プロフィール 長崎県出身 カメラ歴 40 年 野鳥撮影歴 30 年 図鑑、鳥雑誌、TV 番組等への画像提供多数 カレンダーへの 掲載 著書「魅力的な鳥達と自然～千島列島」

2. 野鳥撮影を楽しむ

(1) 野鳥撮影の目的 楽しみ方は十人十色なので自分に合うスタイルで楽しむ。

(2) 機材 カメラ 一眼レフとミラーレスがある。

(3) 三脚 軽くて丈夫なカーボン素材が主流になっている。

(4) 雲台 ザハトラ社が主流だが、レオフォト社やマーキンス社も人気がある。

3. 野鳥撮影の基本

(1) 測光モードと撮影モード

① 測光モード カメラの眼。適正な露出を測定する。評価、中央重点、スポットがある。鳥のような小さな被写体は鳥だけの露出を測定するのは難しい。

② 撮影モード 測定した光の量をどう利用して撮影するか。
絞り優先モードとシャッター優先モードは露出補正が必要になる。

③ 野鳥撮影には、マニュアルモードでの撮影をお勧めする。マニュアルでは、鳥に対して適正な露出の設定をすれば、光の当たり方が変わるまで同じ設定で撮影できる。
この方法はカメラ任せでなく、カメラマンが自分で「光を読む」ことになる。

(2) 狙い

図鑑的写真、芸術的写真、スナップ写真の 3 つがある。どれが上位ということではない。
よく鳥を観察し、行動を理解する。正確な撮影技術でしっかり写し、何回も挑戦する。

(3) テクニック

① 構図 三分割、対角線、日の丸の 3 つがある。

② カメラアングルとポジション ローアングルは低い角度からの撮影で、一般的な低い位置からの撮影はローポジションという。(誤用が目立つ。)

③ 高速シャッター(1/1600～1/4000)とスローシャッター(～1/120 位)
高速は飛ぶ鳥や飛沫等を撮る場合に使い、スローはブレ効果や流し撮りに使う。

④ 背景 四季の花や風景等の自然を入れる 撮りたいものを明確にするボケの効果、順光・逆光・半逆光・トップ光等の光の効果を活かす。

⑤ 画像処理 デジタル写真は、撮ってからでも重要なので PC を使い、加工することができるので活用する。一般的には、カメラメーカーの無料の現像ソフトを使う。

⑥ その他 ネオ一眼レフカメラはレンズ交換ができないだけで、撮影の基本は同じ。



4. よい写真

- (1) 狙い・目的によってよい写真は異なる。
- (2) 写真展やコンテストに出品し、第3者視点で評価してもらうことでよい写真につながる。
- (3) 自らの感性を磨く～守・破・離～模倣、自己流、独自の視点で写真を完成させる。
- (4) よい野鳥写真の3大要素 ①野鳥の魅力が伝わる ②まずピントが来ていることが最低条件で撮影技術が適切に使われている ③独創性があり、風景や季節を合わせて表現されている。

5. 撮影マナー

デジタルカメラの普及とともにカメラマン人口も増加、マナー違反やトラブルが増えた。

(1) 鳥を脅かさない

- ① 鳥を追い回したり、無理に近づいたりしない！
- ② 特に繁殖期は巣の周りをうろついたり、大きな音を出したりしない！

(2) 自然を壊さない

- ① 撮影の邪魔になるからと周りの木を切ったり、餌付けをしたりしない。
- ② 鳥の声を流したり余計なものを持ち込んで撮影したりしない。

(3) 撮影環境への配慮をする

- ① 営巣場所に張り込んで鳥にストレスを与えない。
- ② 農耕地での撮影は、農家の方へ配慮したり、駐車場所にも気を付けたりする。
- ③ 住宅地では民家にカメラを向けない等、プライバシー侵害への配慮をする。

(4) カメラマン同士の礼儀を守る

- ① 先に撮影しているカメラマンには断りとあいさつを必ずする。
- ② 大声で談笑しないで、静かにする。
- ③ 他の方が撮影しているときは近づかないようにする。

6. 参加者の作品の添削

キビタキ、カヤクグリ、シロハラ、サンコウチョウの写真を使って添削し、次のように改善ポイントを提示した。

- 鳥の位置を上や左右に移動する。
- 画像ソフトを使って鳥や背景の特徴的な色を強調する。
- ローポジションにしたり、背景のいい場所に移動するのを待ったりする。
- キャッチライトを入れるようにする。
- 余分な部分がある場合、トリミングで調整する。
- 撮影場所を変えたり、カメラを縦位置にしたりして撮る。

7. 質疑応答

(1) 飛翔写真の撮り方は？

コンティニュアス AF をかけて撮る、でいいと思う。とにかく何回も撮ること。

(2) 飛び出しの瞬間に連写するのは？

鳥をよく観察し飛び出すときのサインを知ることから始める。技量を高める努力。



(3) 先に撮っているカメラマンに話しかけてもいいものか？

多くの方は優しく親切なので、親しみを込めて挨拶し、話しかける。

(4) 「何か出ていますか」と聞いてもいいものか？

聞いてもいいと思う。特に女性には、皆さん親切に教えてくれる(笑い)。

8. 野鳥撮影の実際

当日は昼過ぎから降雨となり、残念ながら午後日程は中止となった。ただ、雨覚悟の希望者9名とスタッフ3名で霧雨が降る中、湯殿川沿いを歩いたが、鳥にはなかなか出会えず。小粒の雨になったので引き返したが、グラウンドにセグロセキレイが2羽いたのを見つけ、ミニ撮影会となった。構図、カメラ操作等、個々人が具体的な質問をし、野口さんが丁寧且つ的確に教えてくださった。

その中で、究極の「ピントの合わせ方を教えてください。」との質問があった。

片倉城跡公園を通り、由井市民センターについた時には大粒の雨になっていた。野口さんに、門口副会長からお礼を言っていたいただき散会した。

【参加者アンケート】

(回答者 17 名 回答率 85%)

○とても分かりやすく楽しい講座、講義内容でした。 2名

○大変良かった！！参考になりました！！ 2名

○大変勉強になりました。マニュアル撮影に挑戦してみたいと思います。ぜひ中級編を！

○散歩の途中で撮る程度で機材も家庭用、レベルが違い過ぎるが興味深い話をうかがえました。

○普段見られない素晴らしい写真を見られてよかった。添削もなるほど、参考になりました。

○今日参加したことで気づきがありました。夢中になり過ぎないようにマナーを守りたい。

○楽しく拝聴しました。マニュアル撮影の方法、ぜひ習得したいと思います。

○鳥の「適正露出」に悩んでいたので大変ありがたい教示内容でした。その他も内容の濃いお話を拝聴できました。ぜひ続編もお願いします。企画して下さった御会に感謝です。

○講師の方が分かりやすく説明されてよかったです。

○実践的な内容で非常に参考になりました。

○私には難しい内容もありましたが、わかりやすく説明していただきました。

○大変参考になりました。光を読む、対象を観察する等、思った以上に高度な内容でした。

○非常にわかりやすく解説していただけて大変参考になりました。今後の撮影に生かします。

○カメラ設定から撮り方のコツまで初心者以上の内容でとてもためになりました。野口さんの写真を見て、自分もそのような写真が撮れるようになりたいと思いました。

○野口先生、スタッフの皆様、本日はありがとうございました。撮影マナーやカメラ扱いも全くわからない中で、大変参考になりました。マニュアル設定、今後に生かしたいと思います。PDF ファイルをいただけることは感謝でいっぱいです。野鳥ライフに活かします。

《アンケート内の質問の回答》

同講師による「中級編」の開催を、①希望する 13 名 ②希望しない 2 名 ※無回答 2 名

なお、希望しない 2 名の方の理由は、まだ自分のレベルがそこまで至ってないから、でした。

5-6 月長池公園野鳥展の結果概要

報告： 粕谷 和夫

1. 開催の経緯

2021年11月にカワセミ会35周年記念事業として八王子市学園都市センターで開催した企画展で展示したパネルを有効活用することを目的に、「高尾・浅川野鳥展」を長池公園と共催で1か月程度の期間で開催することを打診した。その結果、概ね提案内容のとおりで開催することとなり、八王子市に後援を依頼することも合意した。開催時期は自然館展示室の空いているスケジュールに合わせて調整することとなった。開催結果は以下のとおりである。

2. 開催時期

2022年5月15日（日）～6月19日（日）

- ・初日の5月15日は9時～12時展示作業、13時からオープン
- ・最終日の6月19日は15時クローズ、15時～17時撤収作業

3. 会 場

長池公園自然館展示室

4. 主催者

長池公園指定管理者（ひとまちみどり由木）と八王子・日野カワセミ会の共催、八王子市の後援

5. 展示内容

2021年11月にカワセミ会が学園都市センターで開催した野鳥展で展示した以下のパネル等

- ★野鳥カウント関係 A0 パネル 13 枚
- ★野鳥図鑑関係 A0 パネル 13 枚
- ★イソヒヨドリ営巣マップ+イソヒヨドリカービング
- ★カワセミ会紹介 A0 パネル 1 枚
- ★カワセミ会ジュニアクラブ活動紹介パネル 2 枚
- ★動画（映像の映写）

6. 会期中に長池公園内で公開探鳥会を以下の2回実施（これも長池公園と共催で行った）。

詳細は別途本文「探鳥の記録」参照。

- 6月4日（土） 9時から12時 集合は自然館前 26名が参加した
- 6月8日（水） 9時から12時 集合は自然館前 23名が参加した

7. 「高尾・浅川野鳥図鑑」の販売

会期中の毎日、長池公園の自然館事務所で同公園の職員が販売し、22冊が売れた。

8. 会場での対応

会場に受付はおかず、説明者無しの提示とした。このため来場者数の把握はしなかった。

2022 八王子環境フェスティバル 結果報告

担当： 加藤 岸男、 古山 隆

2022 八王子環境フェスティバルが開催され、八王子・日野カワセミ会も次の通り参加した。

日時 2022 年 6 月 5 日 (日) 10:00~17:00 (準備は 9:00~)

天気 曇り

場所 JR八王子駅北口 西放射線ユーロード No.3 ブース

内容 ①DVD 放映、野鳥の声のリスニング等での野鳥相談
②野鳥クイズに挑戦
③「高尾・浅川の野鳥図鑑」の販売

参加者 ①環境フェスティバル参加者総数約 60,000 人(主催者発表)

②カワセミ会ブース訪問者約 450 名
○野鳥クイズ挑戦者約 150 名
○同伴されていた保護者等約 250 名
○ブース前での質問者等 50 名

③カワセミ会員 16 名(この内、お手伝い 11 名)

概要・感想等:

3 年ぶりに開催された環境フェスティバル。天候も心配されたが、どうにかもった。人出も、以前に比べれば若干少ないかな、と思ったが、賑わいの中で実施できた。

9 時前から担当 3 名で準備をした。今回から SDGs との関連も考慮しての出展内容を期待されていたが、なかなか関連性を見つけ出せないままだった。結果としてこれまで通り。コロナ感染拡大予防対策とテントが横置きになっていた以外は…。

DVD 放映・野鳥の声担当が 1 名、図鑑販売と呼び込み担当が 1 名、野鳥クイズ担当が 1 名。そして野鳥クイズを中心にお手伝いの方が常時 5 名というスタッフ構成で 10 時から開始した。今回はやはりコロナ対策で、クイズに正解してもプレゼントなし、積極的な呼び込みはしないこととしたのでブースを訪問して下さる方がいるか心配していたが、ほぼ、ブース内は満席状態が続き、案内するのを控えることもあった。訪問者の多くは親子連れ。お子さんがクイズに挑戦し、保護者が見守る、という方が多かった。中にはご高齢の方がお一人で挑戦されることもあった。スタッフは、カワセミ会編集の「高尾・浅川野鳥図鑑」やバードガイド、触れるバードカービング等を使って、丁寧に時間をかけてクイズ挑戦者をサポートした。問題の正解は、八王子市の鳥オオルリ、日野市の鳥カワセミ、そして今話題のイソヒヨドリだったが、子どもたちが正解すると歓声があがったり、ともに喜んだり、という情景が展開された。

ブース前では、DVD の放映に見入った子どもが、お父さんの次に行こうという促しにもかかわらず離れようとしなくて、オオルリに感嘆する姿もあった。また、家の近所で耳にした鳥の声の主を聞く方もいたが、なかなか回答できないこともあった。中には鳥とは関係ない自身の経歴を長々話す高齢の女性もいたが…。図鑑の販売は、出足が鈍く、11 時頃までは、会員のお買い上げ 1 冊、という状態だったが、クイズ挑戦者の方や通りすがりに机の上の図鑑を見かけ、本屋に並んでいるやつですね、と言いながら購入して下さる方も増えた、最初用意した 20 冊の残部が少なくなったので、会長に自宅まで取りに行ってくださいと頼んだ。結果、37 冊を売り上げた。

16 時を過ぎると通行の方の層が変わり、親子連れは少なくなった。それとともにクイズ挑戦者も落ち着いてきた。最後の方は親子連れ。正解した時、スタッフみんなで拍手した。片付けもスムーズ。17 時 5 分過ぎに解散した。皆様のご協力で、無事終了した。

改善点としては、

- ① クイズ正解者へのプレゼントを用意する。
- ② クイズ用紙は 300 枚程度の準備にする。
- ③ イスをもっと増やす。
- ④ 巣と卵の図鑑も用意する。

2022年「カワセミハウス環境パネル展」出展報告

報告： 佐藤 哲郎

1. 会期：2022年6月9日（木）～25日（土）
2. 場所：日野市立カワセミハウス
3. 出展者：自然・環境関連団体 21 団体（カワセミ会含む）
4. カワセミ会展示物：

- ①展示パネル：A1 サイズ 1 枚 「日野市の鳥カワセミ生息調査結果 2021-2022」 まとめ・作成 渡辺仁
（パネル内容は次ページ参照）
 - ②バードカービング：4 点（カワセミ<オス> 浜野建男、カワセミ<メス> 福本健、シジュウカラ・キセキレイ 浜野知恵子）
 - ③野鳥動画放映：ツバメねぐら入り、カワセミなど 編集 渡辺仁
 - ④チラシ等：高尾・浅川野鳥図鑑販促チラシ 50 部、カワセミ会入会案内 50 部
5. 概要：

2022年の日野市立カワセミハウス「環境パネル展」は、6月9日を初日とし6月25日まで15日間（6/13、6/20は休館）にわたって開催された。カワセミ会も本展示会に参加し、上記の内容で展示を行った。

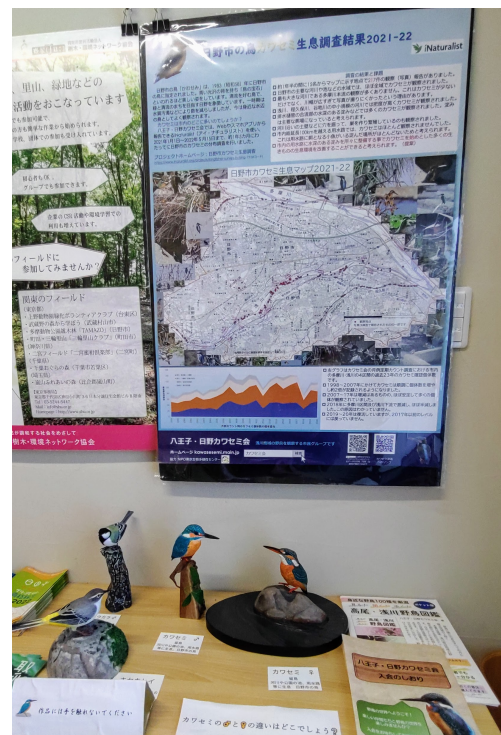
今回の展示パネルは、日野市域におけるカワセミの生息状況を1年5か月にわたって調査したものである。生物分布情報のオンライン SNS である”iNaturalist”を活用し、カワセミの生息情報を収集した。蓄積された生息情報は217件にのぼり、それらをマッピング、グラフ化して考察を加えている。浅川、程久保川などの河川では生息密度が高いものの、一方で市内総延長100kmをこえる用水路ではほとんど観察されていないことが示された。

バードカービングの展示も行い、3名の会員が4作品を展示した。また、「ツバメねぐら入り」や「カワセミ」の動画放映を行い、高尾・浅川野鳥図鑑の販促チラシ、カワセミ会の入会案内も設置した。

カワセミハウスからの連絡では、期間中の入場者は156名（会場入口でシールを貼った方）とのことであった。シールを貼らない方もいたとのことなので、実際にはもっと多いものと思われる。

【出展団体：21 団体】

浅川潤徳水辺の学校、浅川流域市民フォーラム、NPO 法人環境教育ネットワーク、NPO 法人樹木・環境ネットワーク、真堂が谷戸堂の会、南丘雑木林を愛する会、援農ボランティア養成講座「農の学校」、八王子・日野カワセミ会、東豊田緑湧会、ひの市民リサイクルショップ回転市場、ひの炭やきクラブ、日野団塊世代広場、ひのどんぐりクラブ、日野の自然を守る会、日野の水車活用プロジェクト、ひの・まちの生ごみを考える会、ふだん着でCO₂をへらそう実行委員会、日野水の会、みずとくらす・ひの、水の郷日野ビジョン450、谷仲山緑地を守る会



<カワセミ会展示コーナー>

「カワセミハウス環境パネル展」ポスター内容

作成： 渡辺 仁 協力： NPO 東京生物多様性センター

日野市の鳥「かわせみ」は、1983（昭和 58）年に日野市の鳥に指定されました。青い光沢の背を持ち「空飛ぶ宝石」といわれるほど美しい姿をしています。清流を好む鳥で、緑と清流のまちを目指す日野を象徴しています。一時期は水質汚濁などにより数を減らしましたが、今は身近な水辺の鳥としてよく観察されます。

カワセミは市内のどこに多いのでしょうか？

八王子・日野カワセミ会では、Web やスマホアプリから報告できる iNaturalist（アイ・ナチュラリスト）を使い、2021 年 1 月 1 日～2022 年 5 月 15 日まで、約 1 年 5 カ月にわたって日野市のカワセミの分布調査を行いました。

プロジェクトホームページ：日野市カワセミ生息調査

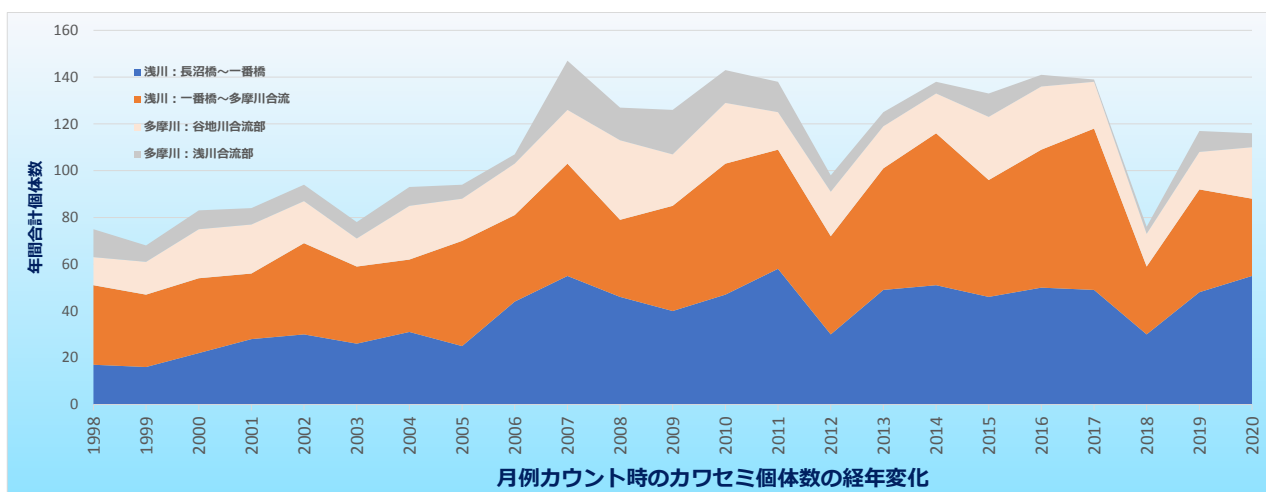
<https://www.inaturalist.org/projects/kingfisher-survey-in-hino>

（右の QR コードをみると、全データの日時・写真・位置等が確認できます。）



<調査の結果と課題>

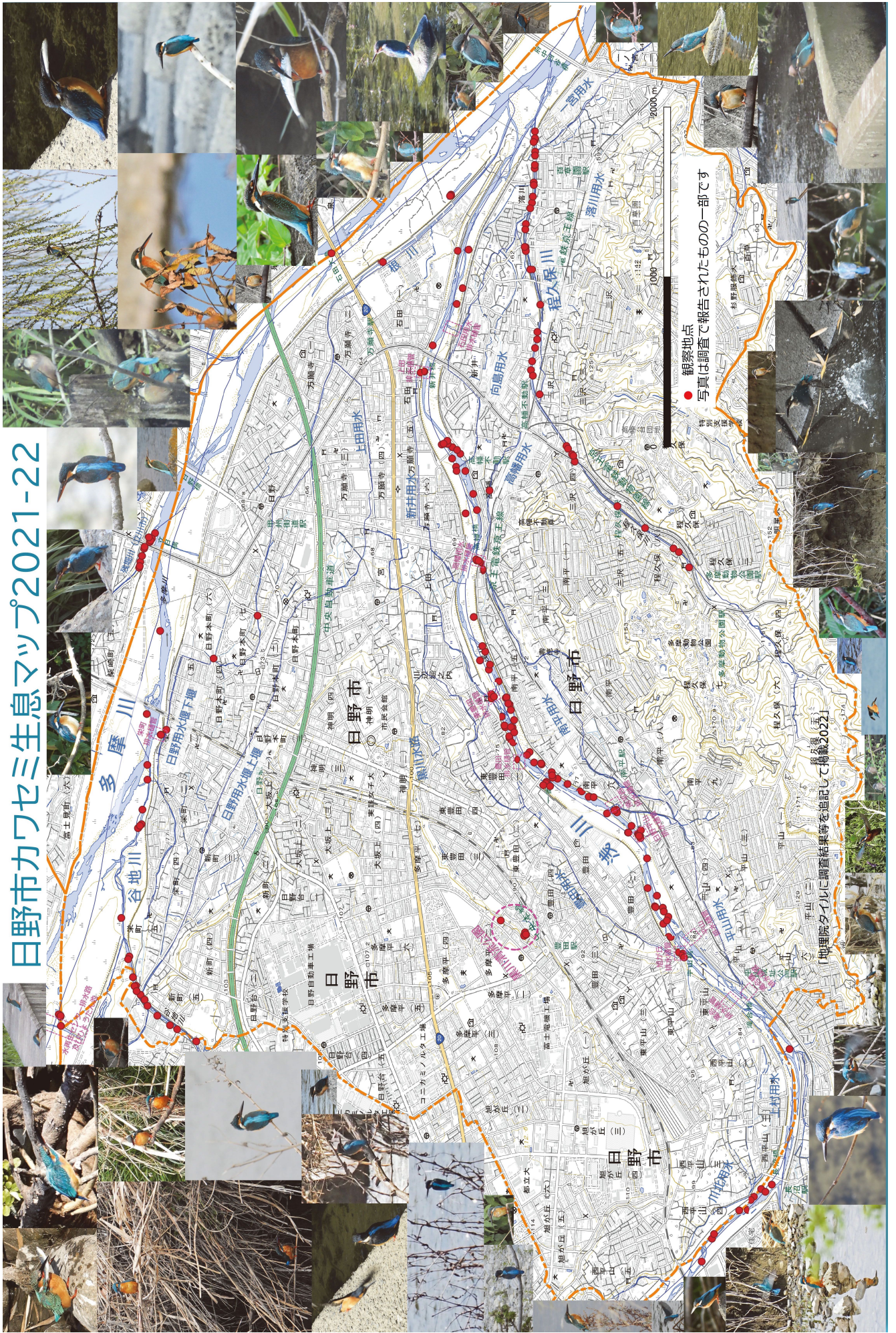
- 約 1 年半の間に 15 名からマップに示す地点で 217 件の観察（次ページ写真）報告がありました。
- 日野市の主要な河川や池などの水域では、ほぼ全域でカワセミが観察されました。
- 最も大きな河川である多摩川本流の観察が多くありません。これはカワセミが少ないだけでなく、川幅が広すぎて写真が撮りにくかったという理由があります。
- 浅川、程久保川、谷地川の中小規模の河川では密度が高くカワセミが観察されました。
- 排水樋管の合流部の水深のある淀みなどでは多くのカワセミが観察されました。淀みは主要な餌場になっていると考えられます。
- 河川沿いの土壁などに穴を掘って、巣を作り繁殖しているのも観察されました。
- 市内総延長 100km を越える用水路では、カワセミはほとんど観察されませんでした。これは用水路に餌となる小魚がいる淀んだ場所がほとんどないためと考えられます。
- 市内の用水路に水深のある淀みを所々に整備する事でカワセミを始めとした多くの生きものの生息環境を改善することができると考えられます。（提案）



上のグラフはカワセミ会の月例定期カウント調査における市内の多摩川・浅川の 4 区間の過去 23 年のカワセミ確認個体数です。

- 1998～2007 年にかけてカワセミは順調に個体数を増やし約 2 倍が記録されるようになりました。
- 2007～17 年は増減はあるものの、ほぼ安定して多くの個体が観察されていました。
- 2018 年に多摩川区間及び浅川下流で激減し、ほぼ半減しました。この原因はわかっていません。
- 2019～20 年は復活していますが、2017 年以前のレベルには戻っていません。

日野市カワセミ生息マップ2021-22



2020年5月から2022年1月までの約1年半の間に、親戚の人たち5名が、あの世へと旅立った。「コロナ」ではないが、それぞれ病気が原因だった。これでもう父方、母方の叔父、叔母は誰一人、この世に居なくなった。その上、私より若い「従兄弟」や「甥」までもが旅立ち、いよいよ自分の順番が近づいてきたと、しみじみ感じている。

まず2020年5月は「従兄弟」だった。享年65才で逝ってしまった。私の郷里は香川県で、父母の法事や墓参りで帰郷する度に、時間をやりくりして、必ず車で寺や墓を、一緒にまわってくれた。彼から聞かせてもらう父母の思い出話は、新鮮で思いもよらない事柄にみちていた。私の知らなかった亡き父母の姿が驚きと共に浮かびあがってきた。聞いているだけで気持ちが豊かになった。その彼も、もうこの世には居ない。二度と話しを聞けなくなった。

そして翌2021年6月、母の弟だった叔父が、高齢で、とうとうあの世へと旅立った。亡き母の娘時代、私を出産した頃のこと、父が海軍に召集され幼い私を一人で必死に育ててくれていた頃の母の姿……

それらを一番詳しく話してくれたのが、この叔父だった。第三者の目に映った父母の生き様は、懐かしさと共に胸に迫ってきた。その叔父も、もうこの世には居ない。

私はいま、父母の思い出をノートに書き始めた。記憶を掘り起こし、それが浮かびあがってくる度にメモをする。亡き身内が聞かせてくれた話しを、何度も思い返しメモをとっている。何故、いまそんなことをするのか。もう誰一人、一緒に語り合う人たちが居なくなってしまったからだ。自分が独りになったという淋しさが、ひしひしと迫ってきているからだ。いま、頭の中に刻みこんでおかなければ、きっと少しづつ忘れ去ってゆくと思うからだ。心の奥で、父母としっかり結び合っていたい。

中宮寺の「弥勒菩薩」を、もう一度描いてみよ

うと思った。初めて描いたのは「会報」第42号2009年春号の表紙だった。動機は母の死だった。動揺する心を静め、母の供養になるのではとの思いからだった。今、その文章を読み返してみても、あの時は、ああするしかなかったのだと改めて納得した。

描き始めると、14年前、独りで中宮寺を詣でた時のことが鮮やかによみがえってきた。まっ先に脳裡に現れた情景は、誰一人居ないお堂の中で菩薩と一対一で対面した場面だった。たまたま係りの女性が席をはずし10分程独り切りになった。私は立ちあがり、ゆっくり左右に歩きながら視線の角度を変えていった。するとその瞬間ごとに菩薩の表情が変化してゆくのがあった。それは不思議な穏やかで優しい時間だった。それから記憶がつながり始めた。外国人客が3名居て出て行ったこと。法隆寺を後回しにして直っすぐ中宮寺へ向かったこと。長く一直線に続く土塀の色合い。この弥勒菩薩を思うたびに、亡き父母との記憶の回路がつながってゆく気がする。

「クロジ」の番いが一度限りの生を、いま、まさに謳歌している。



*「クロジ」は清水盛通さんの写真を参考にしました。

サシバの渡り調査シリーズ 第六回

横須賀市・武山におけるタカの渡り調査のこれまでとこれから

三浦半島渡り鳥連絡会代表 宮脇 佳郎

<始めのころ>

日本野鳥の会神奈川支部の田丸義夫氏らが県内のサシバの渡りルートを解明するために武山で私設調査会を催したのは1982年10月。当日はさわやかな秋晴れとなり、400羽を超えるサシバが観察されました。以来、武山がサシバの渡り観察適地として知られるようになっていきます。武山周辺を含めた予備調査ののち、当会が武山山頂で秋期の調査を開始したのは1992年からです。しかし、その頃は調査員も数名で、主に土日だけの観察しかできず、平日にばんばん飛んだであろう日々もあり、渡りの全容を把握できるものではありませんでした。インターネットが一般にも普及した2000年には渡りの様子を伝えるためホームページを開設し、パソコンを通じて誰にでもその日の渡り結果が閲覧できるよう速報を掲載。同時に「タカの渡り全国ネットワーク」にも加入しました。この頃には、平日に観察できる調査員も増え、ようやくシーズンの全容が徐々に明らかになってきました。

<観察地と渡りの様子>

三浦半島の中央よりやや南に位置する武山は標高200m。山頂の展望台からの眺望は良く、視界の良い日には、横浜のみなとみらい地区、東京、房総半島、大島、伊豆半島が見渡せます。9月下旬から10月上旬、房総半島から東京湾を越えて来たサシバは、武山の東に位置する三浦富士や砲台山方向から飛来します。武山の丘陵は北西～南東に約3kmにわたって連なっています。この時期に卓越する北東風がちょうど直角に稜線に当たることにより発生する上昇気流をうまく使って、ほとんどはばたくことなく飛来するサシバやハチクマを度々観察しています。丘陵地の西の端にあたる武山山頂ではタカ柱を作って高度をかせぎ、北西の逗子・鎌倉方向へ滑翔して渡っていきます。シーズンにサシバは400～600羽、ハチクマは40～60羽（ただし、ここ2年は100羽以上）をカウントしています。関東地方では観察例の少ないアカハラダカやアカアシチョウゲンボウなどのタカ・ハヤブサの仲間が度々記録されていますが、武山の丘陵以南の三浦半島は標高30～50m程度の台地状の地形となっており、この平らな台地を海に見立てると、武山の丘陵はさながら海に突き出た岬のように見え、主に房総から飛来するタカたちにとって良いランドマークとなっていることが考えられます。



こうした地形的な観点から見ると、上昇気流が起きやすく、ランドマークの役割を果たしていると考えられることから、武山は渡るタカにとって重要な場所であり、同時に渡り調査に適した場所であると言えます。

<記録方法の刷新>

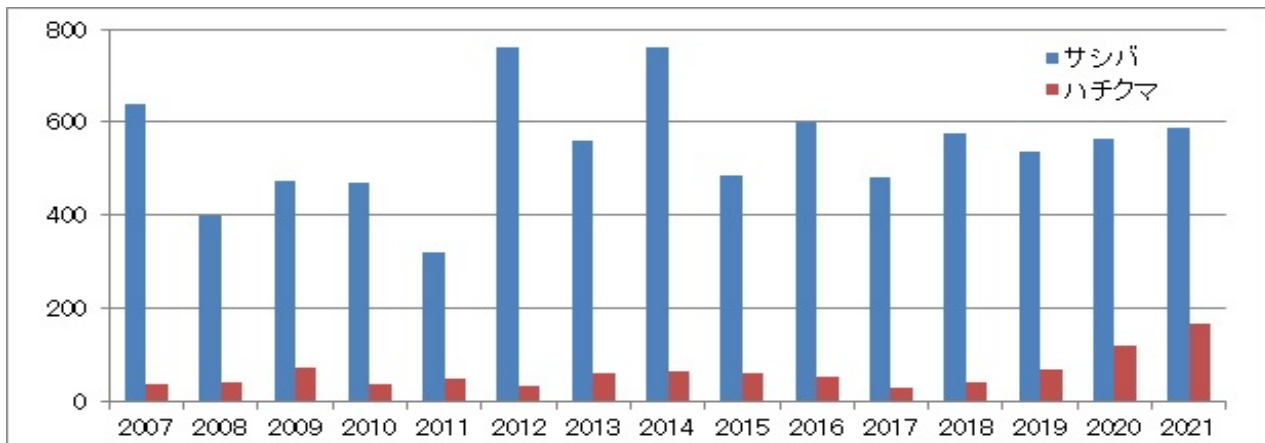
武山での調査記録は、タカの観察記録毎に、数、時間、コース、高度、気象条件等について記録を行っています。気象条件について以前は、「晴れのち曇、北東風力 2~4」のように大雑把に 1 日の記録としていましたが、この場合、どの時点で気象が変化したか記録していないため、渡りと気象条件の関係を解析する際の障害となっていました。2007 年からは 1 件の渡り記録に対して、天気、風向・風力、視界等を記録するよう改めた結果、解析が容易になり、武山では「晴、北東の風力 2~3、視界良好」の日にサシバが多く渡ることが分かりました。調査員の経験から何となく感じていた気象条件の選好が、実際のデータとして確認されたのです。

<東進するハイタカの渡り>

サシバの渡りが終息し、一旦静かになった展望台が 10 月下旬になると、再びホークウォッチャー達で賑わいを取り戻します。お目当てはハイタカの逆渡り。サシバは西へ去るのに対して、ハイタカは東へ去ります。なので逆渡り。以前は 11 月頃に不定期に観察を行っていましたが、2015 年くらいから 10 月下旬~11 月末まで毎日のように調査することによって、1 シーズンで 100~300 羽のハイタカが渡っていることが明らかになってきました。今や数で言えば、サシバに次いでハチクマと肩を並べるほどの勢力になりました。しかし、この東進するハイタカはどこから来て、どこへ行くのか？ 分かっていません。西日本でも東進するハイタカは観察されており、大陸から朝鮮半島を南下して西日本へ入ったハイタカが関東地方まで達しているのではないかと推測しています。2020 年からは神奈川県秦野市、鎌倉市、千葉県富津市などの観察メンバーと協力してリアルタイムでハイタカの渡り情報を共有し、記録を集積しています。

<毎年少~しずつレベルアップする調査メンバー>

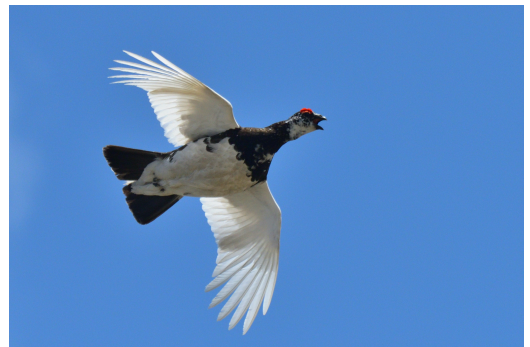
ここ 15 年間の渡り数の増減は、サシバ、ハチクマとも若干の増加傾向が伺えます。



これは、単純にタカが増えているかと言うとそうではないかもしれません。調査員の中には当地で 20~30 年観察を続けているベテランも多く、経験を積んだ調査員が遠く、高く渡るタカたちを丹念に拾い上げた努力の賜物と見ることが出来るかもしれません（汗）。そんなベテランでも飛翔するタカを一瞬で同定するのは簡単な作業ではありません。毎年、シーズンが始まる前には、実際の誤認例から注意すべきポイントを予習し、これまでの記録の統計から、時期、時間、コース等の特性を把握し、発見率を上げていかに見逃しを減らすかといった内容について話し合う勉強会を毎年続けていることも奏功しているかもしれません。タカの渡り調査は簡単ではなく、これからも試行錯誤しながらまだ当分は続いていくのだと思います。

前号でライチョウ観察のことを書きましたが、今年はライチョウの繁殖時期を狙って乗鞍岳へ3度登りましたので、その記録を書きたいと思います。

まずは1回目、6月25日と26日に1泊2日で乗鞍岳へと登りました。5月に開通した乗鞍スカイラインのバスに乗って岐阜県側から畳平へ。標高2700mある畳平は麓とは全く違う天気であることも多く、この日は強風。しかし、バスを降りてすぐ、近くの山を見ると、白い翼のライチョウが飛んでいるのを発見。その方角へ向かい、見渡すと、なわばりを見張っていると思われるオスの個体がポイントを転々と移動しているのが何度も目に留まりました。同時にメスがいらないかと、登山道脇のハイマツに目を配りましたが、抱卵中の時期と思われるメスは見つけることができません。しばらく、オスがやってくるのを待つと、近くの小高い山頂（富士見岳）の岩場に飛んできて止まるのを確認。そこから、次の飛翔のタイミングでの撮影を狙い、飛び立つ瞬間をじっと待ちました。約20分は待たせようか、岩場から飛び上がり、次の見張りポイントへ向かうライチョウを無事撮影することができました。そもそも飛ぶ回数の少ないライチョウの飛翔の瞬間を捉えるのは難しいですが、飛び立つまで我慢し続け、うまくファインダーに収めることができた瞬間でした。ひとまず良い写真が残せたので乗鞍岳山頂（剣ヶ峰）へ向かい、その約2時間の道中でも、なわばりを見守るオスの姿をさらに1羽確認しました。ただし、天候が悪くガスが多く出る中で、うっすらと浮かぶ姿を撮影できたのみでした。その日は白雲荘という山小屋に泊まり、翌日を期待しましたが、残念ながら夜からさらに悪くなった天気は回復せず、翌朝もガスが多かったため、その日は断念して下山となりました。



2度目は7月11日に、やはり岐阜県側から畳平へ。この日は天気は悪くありませんでしたが、既に孵化したと思われるライチョウ親子を見つけることはできず、周囲を3時間程度探索しましたが1羽も見えません。親子で過ごす間、母親ライチョウが子を呼ぶ小さな声がするので、耳を澄ませてはいたのですが、運良く出会うことはできませんでした。その代わりに、ホシガラスの幼鳥を連れた家族と思われる数羽の群れを見たり、カヤクグリやルリビタキを観察することができました。

3度目は7月22日、今度は長野県側から乗鞍エコーラインを走るバスで畳平へ。この日も晴れという訳ではないですが、ライチョウ観察には適した空模様でした。すると、観察を始めて早々に、ハイマツ付近の高山植物帯でライチョウの母と子を発見。2羽のひなを連れた個体でした。ひなは3週間程度経過していると思われ、風切羽も少し生え始めた姿をしています。母親が見守る中、草をついばむ雛の様子をしばらく遠目から望遠レンズで撮影し、他にもいないかと探索してみましたが、その親子以外は見つけられず1組だけに終わりました。



日本でも一番生息数が多いと想像される乗鞍岳ではありますが、広大なハイマツ帯の中で点々と存在するなわばりからその個体を見つけ出すのは決して容易ではなく、この3回の山行でも数羽確認ができただけです。ただ、厳しい環境に生きるライチョウの健気な姿を確認することができ、ほっとしました。



宮島 仁

沖縄の宣伝広告に“亜熱帯の空気を感じて…”とか“亜熱帯の森で色彩豊かに…”とか、やたらに【亜熱帯】という言葉が出て来る。そのせいなのか、「沖縄は常夏でいいですね〜」とか「冬でもTシャツ短パンですか〜」などと言われることがよくあるが、おそらく“亜熱帯”という言葉が紛らわしいニュアンスを与えているのだろう。【日本大百科全書（ニッポニカ）】によると「地球の北半球も南半球も、熱帯、温帯、寒帯の三つに大別されるが、このうち、熱帯と温帯の間にある漸移的な地域を亜熱帯と称する」とある。つまり、あくまでも温帯であって熱帯地方に属しているわけではないのだ。

1月から2月の沖縄の最低気温は12〜13度。中には9度なんて日もあり、北よりの季節風が強く、風速10m/秒を超える日があり、外にいと体感温度はかなり低く感じる。雪が降りしきる地方をさしおいて、果たしてこの程度の気温で寒いといってしまってもいいものなのか。これでは雪国の人に申し訳が立つのかと、ちょっと戸惑うところだが、とにかく寒いのである。エアコンの暖房を入れる日もあり、ぼくなどはダウンウエアを着こむ日も少なくない。さらにこの時期は、関東辺りではピーカンの日が続き、毎日、異常乾燥注意報が発令されているけど、この時期の沖縄は雨季と呼んでいるほど雨や曇りの日々が続くのだ。これは南西諸島が大陸の高気圧のヘリに位置するためであり、最も日照時間が少なく、洗濯物は乾かないし、部屋中がカビだらけになるのである。しかし、3月から4月になると気温はぐいぐい上がり、平均気温は20度を超え、時には夏日になることもあり、春というより、一気に初夏となり半袖や日傘が目立つようになる。沖縄ではこの時期のことを「うりずん」といい、ひと雨ごとに新緑が鮮やかになるのだ。ちなみに「うりずん」の言葉の語源は“潤い初め（うるおいぞめ）”であり、朝から今日も勝負勝負というような太陽がギラギラと照りつける期間が長い沖縄であるが、暑くもなく寒くもない優しい風が吹く一年で最も爽やかな季節なのである。

そんな「うりずん」の頃、沖縄三大行事のひとつである「シーミー」が行われる。シーミー祭（清明祭）とは、旧暦の二十四節気のひとつである「清明」の時期に行われる沖縄最大のお墓参りのことであり、家族や親戚が集まり、各世帯が持ち寄った重詰料理やお酒、お花をお墓に供え、そして、お参りが終わると墓前でお供えした料理をいただくのである。この時期になると週末を中心に沖縄本島全域でシーミーが行われるため、道路渋滞が発生し「シーミー渋滞」が沖縄の名物になっているほどである。

「シーミー」の頃になると、南国からリュウキュウサンコウチョウが渡ってくる。リュウキュウサンコウチョウとは、奄美大島以南の南西諸島に夏鳥として渡来するサンコウチョウの亜種であり、沖縄ではお墓のあるようなちょっと薄暗い茂った林で繁殖をする。この頃になると、シーミーで盛り上がっている大人の笑い声や子供たちの歓声と共に“ヒーホーヒー ホイホイホイ”とリュウキュウサンコウチョウの音がする。

そういえば、リュウキュウサンコウチョウのことを沖縄の方言で「ガラス・マブヤー」という。“ガラス”とは「鳥のカラス」のこと、“マブヤー”とは「魂」のことなので“カラスの魂”という意なのだ。きっと昔の沖縄の人は、薄暗いお墓の周りをふわふわ飛んでいる尾の長い真っ黒な姿を見て、カラスの魂が飛んでいると思ったのだろう。

なんて素敵な感性なのだ。

私は嬉しくなり“ガラス・マブヤー”の鳴き声を口笛で真似てみた。すると、“ギッキッ ギッキッ”と怒って鳴きながら、ちょっと面倒くさそうな顔をして、ひらひらと薄暗い林の中へと飛んで行ったのである。



当会のメールグループに、定期カウント担当者から、定期カウント結果の報告が頻繁に入ります。当会の定期カウントコースは 20 箇所と聞いています。その全てからメールグループに報告が入っているのかチェックした事はないので分かりませんが、取り分け、月の前半に定期カウントをするのが当会のマニュアルで推奨されているので、その時期に連日幾つかの報告が入り、興味を持って拝読しています。

私自身、ある地域を担当していた事もありますし、独自に今日までおよそ 30 年間、定期カウントを実施しています。「継続は力なり」と色々なところで言われますが、力になっているかどうかは別として、経年変化を感じています。取り分け「定期カウント」という形で記録に残ると、そのデータで比較出来るところが何よりも意味が大きい様な気がします。

過去・現在のデータ、又その変遷を比較検討・研究するためには、データの元になるもの、基準が違えば正しい姿は得られません。即ち、定期カウントを行う月ごとの凡その日程、実施時刻、人数、所要時間などを一定にする必要があります。定期カウントの方法・ルールには厳密なものはないようですが、色々な団体や、勿論当会にも基本的な形が定められています。但し、大原則はコース毎の観察方法を変えないと言う事でしょう。

過日、有る団体の定期カウントを見ました。人数は 3 人（又は 2 人）で、時速約 2km で移動しながら半径 50m の野鳥を観察していました。記録している間の見落としがない様に、1 名は記録に専念しています。原則として途中で立ち止まる事はありません。この方法で何十年も観察を続けているとの事でした。確かにこの様にしないとデータの正確さは揺らいでしまうでしょう。

ところで、近年の定期カウント報告を見てみると、大人数で長時間掛けているものが見受けられます。当会のマニュアルにも「独りでも良いが、出来れば複数人」で執り行う事が望ましいと言う趣旨が書かれています。2 人から 3 人くらいと解釈出来ます。歩行速度については 1.5km/h から 2.0km/h と有ります。他の団体のものでは 2.0km/h、 3.0km/h と言うのも有りました。

例えば、道のり 1.5km 程度のコースならば 45 分、2.0km 程度ならば 1 時間、3km 程度でも 1 時間半程でカウントを終わらせるのが目安なのでしょう。実際には、種別確定の為、その場で話し合ったりする事もあり、若干は延びると思います。人数も、ある程度限り、定期カウントという本来の目的に集中したいものです。参加者・観察者の人数が多くなればなるほど、また観察時間が長くなる程確認出来る種類も増えると思いますが、それでは本来の趣旨から外れてしまいます。

これは提案ですが、人気のあるコース（又は人気のあるリーダー）に多くの参加希望者がある場合は、定期カウントとは別に、「ミニ探鳥会」として実施されては如何でしょうか。親しい仲間とおしゃべりを楽しみながら、のんびり鳥見を楽しむ事が出来るでしょう。

継続し、未来に残せる信頼出来るデータを残すために、これらの事を心がけたいものです。

八王子・日野の自然の中で私が抱き続けている夢

粕谷 和夫

私が八王子に住むようになったのは昭和 43 年（1968）で、八王子・日野カワセミ会を発足させたのは 1985 年でした。これまでこの地で鳥見、花見、虫見などをしながらこの地の多様な自然を季節ごとに観察してきました。この地には人の手が加わってない原生的な自然はなく、全て何らかの人の手が加わっています。近年はこの人の手の加わり方が手薄になり、荒れた自然があちこちに見受けられます。このような中で、この地の自然の復元のために単発的ですが、私は以下のような夢を持っています。夢の実現に向けてご賛同いただける方と力を合わせたいと願っています。

1. 高尾山にブッポウソウの復活

2019 年 4 月に東京都環境局自然環境部に提案し、高尾山の山頂付近に 3 個のブッポウソウ巣箱を設置してもらった。いつの日か高尾山にブッポウソウが帰って来る日を夢見ている。

2. 八王子でアカショウビンの復活

八王子市小津町にモリアオガエルの道がある。ここには今でもモリアオガエルが生息している。この地のモリアオガエルを増やしていけばアカショウビンが戻って来ることを期待できる。

3. 日野市の用水路にカワセミを呼び

日野市には 100km を超える用水路があり、今でも清流が市内を網の目のように流れている。しかし、市の鳥カワセミはこの用水路にはあまりやって来ない。その理由は用水路にはカワセミが魚を捕るための「淀み」がないから。そこで用水路に淀みのような所を作ってカワセミを呼び。

4. 高月水田に水車を復活

高月水田は東京都で最大規模の水田で昔は水車が回っていた。これからもこの水田地帯を守るシンボルとして水車を復活したい。

5. 谷戸に里山環境の復元

かつて小規模の棚田があった八王子市内の谷戸が放置され、イノシシの住処になっている。放置されている里山を何らかの形で復元し自然豊かな里山環境を取り戻したい。

6. 八王子、日野を自然発生のゲンジボタルが舞う町にしたい

浅川の上流部（北浅川、南浅川）や支流の川口川、城山川、湯殿川にはゲンジボタルが生息している。これ等のホタルは 2001 年からの 20 年以上にわたる毎年のカウント調査で徐々にではあるが下流部近くでも観察されるようになった。浅川の八王子市中心部や日野市内にもホタルが現われることを期待したい。

7. コアジサシの営巣地の整備

大田区にある東京都下水道局森ヶ崎水再生センター屋上には関係者の多大の努力によりコアジサシの営巣地が出来ている。八王子市小宮町にも八王子水再生センターがあり、その屋上の一部が八石下広場になっている。この広場の片隅にコアジサシの営巣地がつくれたらと常日頃思っている。

8. ビオトープの整備

ビオトープとはウィキペディアに「土木工学では都市化や産業活動によって生物がすみにくくなった場所において、周辺地域から区画して動植物の生息環境を人為的に再構成した環境という意味でも用いられている」とある。当面、以下の 2 地域をビオトープとして整備されることを期待したい。

(1) 多摩川右岸高月水田の用水の末端地域の荒れ地（水管橋から拝島橋付近）

(2) 上川町の上川口小学校裏の谷戸（種入り）

粕谷和夫の野鳥観察日記 (1)

粕谷 和夫、 関谷 孝

粕谷会長は、最近 LINE で野鳥の写真配信しています。毎回、素晴らしい写真に驚かされます。長年の経験が絶妙の一瞬を捉えます。野鳥の生態をよく知っているからこそ撮ることが出来る渾身の写真です。粕谷会長の解説と共に紹介します。

★印は、探鳥会初心者（関谷）の感想です。

1. カワセミ



会の名称になっているカワセミは、「青い宝石」ともいわれるほど水辺に生息するととも美しい野鳥です。

いつもは、川面を見つめているカワセミが天を仰ぎました。湯殿川で野鳥の定期カウントをしているときのコマです。上空をオオタカがハトを追いかけしているときでした。（オオタカは天敵です）

★天を仰ぎ危険を察知しているのでしょうか。野生の本能は感知力がすごいですね。写真の中にも物語があります。

2. ツグミ



落ち葉に顔を突っ込んでいるツグミがいたので、遠くからカメラを向けて待っていると、顔を上げたのでシャッターを押しました。

ツグミは、黒い種のようなものをくわえていました。くちばしのところをよく見てください。八王子の長沼公園です。のちにラインの仲間からツグミがくわえているのは、ムクノキの実の乾燥したドライフルーツのようだと言っていました。それにしても、厚く敷き詰められた落ち葉の下からピンポイントでこの実を探し出してくるツグミの能力はたいしたものです。

★長年鳥を観察されているので、鳥の習性をよく知っているからこそこの写真ですね。ツグミも野原で落ちているものをよくついでいます。ちっちゃい種を見つけているのです。ますます可愛いと思いました。ツグミが、餌を探していて、顔を上げたところを狙って撮ったところが素晴らしいシャッターチャンスですね。

3. イソヒヨドリ

イソヒヨドリのオスです。白い斑点が少し残っているのが、昨年生まれの幼鳥です。赤いナンテンの実を啜っています。草地に落ちた実を良く探し出すものと感心します！？



★白い斑点は、産毛の残りなのでしょう。それにしても鳥は、小さくて丸いものが好きなのですね。くちばしもそういうものを掴むのに適している形をしています。冬の間は、落ちていた木の実が保存食なのでしょう。イソヒヨドリの青い色は、何か人を引き付けます。フェルメールの青いターバンの少女を想起します。

4. ヒヨドリ



ヒヨドリが、雑木林のコナラの樹液を真剣に吸っています。夏は、カブトムシやオオムラサキなどの昆虫が樹液に集まりますが、冬は、鳥たちが集まってきます。鳥たちにとって餌の不足する冬越しは命がけだと思います。八王子宇津貫公園で撮影しました。

★この写真のヒヨドリに感動しました。ヒヨドリが冬を生き抜くために必死に樹液を吸っている様子が伝わってきます。うるさくて厚かましい鳥だとばかり思っていたのですが、厳しい冬を生き抜く大変さを思うと、これからは、もっと優しい目で見てあげようと思いました。

5. アオゲラ

翌日の後日談。

冬の雑木林からアオゲラの大きな声が聞こえてくると、一気に辺りが



明るくなったような気がします。普段は、幹に縦にとまるアオゲラが水平に止まっていた姿を見ていたのかも。宇津貫公園で昨日のヒヨドリと同じ場所でした。

★アオゲラが、首をかしげて見上げているしぐさがとても可愛いです。アオゲラも樹液を吸うのでしょうか。餌の少ない冬場は、このように他の鳥からも学んで命をつないでいるのかもしれませんが。探鳥会では知ることのできない鳥の生態がよくわかります。

6. エナガ

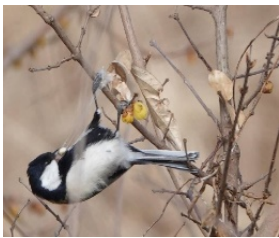


コゲラやアオゲラなどのキツツキは、垂直な幹に止まるため2本の足のほかに尾羽も幹に着けて落ちないように体を支えます。このエナガもキツツキのように尾羽を幹に着けて必死に幹にくっついているように見える珍しい姿です。長い尾羽を曲げている姿に同情します。高尾山号路

での観察の一コマです。可愛いエナガをさらに可愛く撮りたいと思っていました。それがついに実現しました。八王子湯殿川の河原です。

★エナガの可愛さが溢れていますね。首をかしげて、体を膨らませて本当にかわいい姿です。周りの構図といいとても素敵なショットです。見ていて心が癒されます。また、エナガの尾羽が長いには理由があったのです。こんな風に尾羽を活用しているのを初めて知りました。

7. シジュウカラ

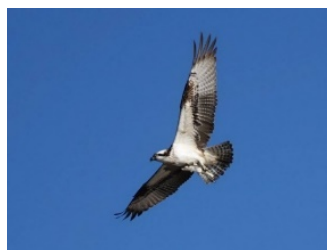


シジュウカラがソシンロウバイの花の咲いている木に飛び込みました。花を食べるのかと見ていると、宙返り。その瞬間をシャッター。撮れた写真を確認すると蜘蛛の卵胞を啜っていました。

★これこそベストショット。蜘蛛の卵胞を食べるなんてびっくりです。命をつなぐためには、動物性タンパクは必要なのです。シジュウカラが採食している場面を見るのはなかなかありません。写真は何を食べているかの証拠になって残ります。このような決定的瞬間を撮るのも見事な観察眼と感心しきりです。

8. ミサゴ

魚をハントする鷹、ミサゴです。多摩川の中央鉄橋付近（日野市）。カワセミを探していると、上空にミサゴが現れて、下流方向に飛んでいきました。しばらくして、そのミサゴが大きな魚を掴んで戻ってきました。（鷲掴み）まるで、捕った魚を見せに来たような感じでした（?）。写真を拡大すると魚が見えます。



★ミサゴの堂々とした羽ばたき、羽がとても立派で美しいのがよくわかります。足には、結構大きな魚を鷲

掴みにしていますね。鷲掴みとはここからくる言葉なのでしょう。青空に悠々と獲物をとったぞーと見せびらかしに来たのでしょうか。ミサゴの雄姿がとてまかっこいいです。

9. ウグイス

ウグイスは、冬に藪のようなどころで笹鳴きをします。この写真は、八王子湯殿川のツルヨシの株の中で笹鳴きをしていたので、撮ったものです。羽ばたきもしていました。



★ウグイスは、冬の間、藪の中において笹鳴きをしています。羽ばたいている様子は珍しいです。鳴き声は有名ですが、その姿はなかなかお目にかかれません。思っているより地味な色の鳥です。飛ぶのが素早く、隠れるのが上手なのでしょう。

10. キセキレイ

一年中水辺に生息。腹から腰に掛けて白地に黄色味を帯びています。尾羽を振る姿が見られます。北京の冬季オリンピックで氷上の競技が展開されていますが、こちら八王子の片倉城址公園弁天池では、天然の氷の上で、キセキレイが片足を上げたポーズをとってくれました！！



★キセキレイがこんな格好をするのはとても面白いです。氷の上を歩くのが好きなのかもしれません。こちらを向いひょうきんな姿です。さしずめオリンピック競技では、スケート選手になったつもりでしょうか。

～～～

粕谷会長の写真は、見る人を鳥の世界へと導いてくれます。これまでの長い鳥見の経験から、野鳥が「何をしているのか」「そこから見える鳥の世界」をとて興味深く見せてくれます。これまでも世の中には野鳥の写真はたくさんありますが、その鳥が持っている生態を垣間見ることが出来る写真はとても貴重です。

私のような鳥見の初心者であっても、野鳥観察の醍醐味を味わい、これまで知らなかった鳥の生態を知る喜びがあります。これから野鳥の写真を撮りたい方にとっては、どんな瞬間を撮ったらいいのかヒントになりそうです。そして、ますます野鳥を愛する気持ちが芽生えてくるのが何より大切なことではないかと思えます。

外部機関が主催する探鳥会の支援記録（2022年1月～6月）

○八王子市立上川口小学校 2021年度3・4年第3回野鳥観察会支援

日時：2022年1月19日（水）8:40～10:10

天気：晴れ

場所：学校周辺東部・西部コース

観察した鳥：21種（両コース合せて）

カルガモ コガモ キジバト モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス
シジュウカラ ヒヨドリ エナガ メジロ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハク
セキレイ セグロセキレイ カワラヒワ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ

参加者：上川口小学校3・4年児童11名 教職員2名

カワセミ会5名 市村緑 加藤岸男 佐藤哲郎 対中義雄 玉木雅治

概要・感想等(担当の加藤が参加した東部コースの様子を報告する。):

寒い朝だった。でも子ども達は手袋なし。校庭に到着してから鳥の音が余りしなかった。少し心配になったが…。

張り切っていたのは3年生。初めての進行役だ。メモもばっちり。進め方もばっちり。

校門を出るとすぐにジョウビタキのメスがじっと枝に止まっていた。続いて梅の木にモズのメス。田守神社では、ジョウビタキのオス、シメ、カケス、セグロセキレイ。カラス2種の違いの説明をする。飛ぶ時の羽根の動きの違いも。いつもたくさんの出会いがある畑地には何もいない。川口川沿いを進むと、カルガモ。そして当地では珍しいコガモのオスもいた。ジョウビタキのオスは目の前に。アオジも鳴く。学校に戻る手前では、カシラダカが木のてっぺんにいた。でも、時間切れでじっくり観察できなかった。

鳥合せも4年生がスムーズに進める。帰校式では、シメを見られて満足したとの話があった。2月に行う2年生向けの発表会、成功間違いなし。

（担当 加藤 岸男）

○上柚木公園野鳥観察会支援

日時：2022年1月29日（土）9:00～10:45

天気：曇り

コース：（第1部：4班に分かれ1,2班は以下のコース、3,4班はこの逆コース）

野球場⇒テニスコート⇒雑木林を下って大栗川⇒野球場の北、東側の雑木林⇒陸上競技上管理事務所前⇒スタート地点の野球場。第2部は昨年設置した巣箱10カ所を野球場周辺とソフトボール球場周辺の2班に分かれて実施。

観察した鳥：24種（ベスト：アオゲラ、カワセミ、エナガ）

キジバト、トビ、カワセミ、コゲラ、アオゲラ、モズ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、エナガ、メジロ、ムクドリ、シロハラ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、シメ、イカル、カワラバト（ドバト）

参加者：47名（カワセミ会支援12名、主催者4+応募参加者31名）

概要、感想等：

上柚木公園主催の野鳥観察会と巣箱の利用状況調査を支援した。第1部は野球場周辺の野鳥観察、参加者が多かったため4班に分かれて実施した。カワセミ会からの12名の支援者があったので、各班3人の支援体制で実施できた。4班に分かれると班により見られた鳥が少しずつ異なったが全体で24種、アオゲラ、モズ、エナガ、メジロ、シロハラ、シメ、イカル等が観察できた。第2部は昨年2月に10組の親子が設置した巣箱の取り外しとその利用状況の調査をした。結果は10個の巣箱のうち、8個がシジュウカラの営巣に利用されていた。80%と高い利用率であった。

（担当 粕谷 和夫）

○環境市民会議東南部主催 湯殿川探鳥会（共催 エコひろば・カワセミ会）

日時：2022年2月6日（日）9:10～11:50

天候：曇り

コース：片倉城跡公園の管理事務所前で集合…風原橋から左岸・右岸に2班に分かれて上流へ…カタクリ橋…稲荷橋…殿田橋…釜土橋で左岸・右岸を交代してUターン…元の公園管理事務所で鳥合わせ

参加者：一般参加者 18名（欠席 2名）

カワセミ会 9名（粕谷和夫 門口一雄 加藤岸男 菅野桂子 浜野建男

浜野知恵子 福本健 武藤邦子 渡辺正樹）

東南部 5名、エコひろば 1名

観察した野鳥：32種（ベスト：バン、カワセミ、シロハラ、ジョウビタキ）

カルガモ コガモ キジバト カワウ アオサギ バン オオバン イカルチドリ
イソシギ カワセミ コゲラ モズ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス
シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ シロハラ ツグ
ミ ジョウビタキ スズメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラ
ヒワ シメ カシラダカ アオジ

概要、感想等：

環境市民会議とは「エコひろば 環境学習室」（八王子市…環境政策課の管轄）が統括している環境市民団体（全6地区）です。各地区が年2～3回自然体験講座を開催します。「広報 はちおうじ」で市民に募集を呼びかけます。通常は30名を募集するのですが、コロナで今年は20名の募集でした。

また2020年2月2日（日）に実施した探鳥会と同じものです。この時は終了後、由井市民センターに移動してスライド上映があり、粕谷会長が解説をしました。今回、雨天時はスライドを用意することとしたが雨は無く上映はありませんでした。

以前は西南部地区が池の沢や南浅川（長房市民センター）で実施していたものです。南浅川は瀬切れで水が無く、西南部は探鳥会をあきらめました。それを、東南部エリア内の今回のコースで実施しました。

短時間の探鳥会でしたが、32種類の野鳥が観察できました。セキレイ3種、カワセミ、バン、オオバン、イソシギ、コガモ、シロハラ等に参加者も興味を持ったようです。このエリアでは珍しいオナガが最後に出て楽しい探鳥会になりました。

（担当 渡辺 正樹）

○八王子市立館小中学校小学部3年野鳥観察会支援

日時：2022年2月9日（水） 8:50～11:15

天気：快晴

場所：学校→館ヶ丘団地調整池→殿入中央公園→館町緑地→学校

観察した鳥：26種（ベスト カワセミ ダイサギ）

オシドリ マガモ ハシビロガモ コガモ カイツブリ ダイサギ トビ カワセ
ミ モズ ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナ
ガ メジロ ツグミ ルリビタキ スズメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセ
キレイ カワラヒワ ホオジロ アオジ カワラバト（ドバト）

参加者：館小学校 3年児童 13名 教職員 2名

カワセミ会 4名 大野清司 加藤岸男 佐藤哲郎 対中義雄

概要・感想等：

「八王子市環境教育プログラムガイドブック」を利用した初めての支援活動だった。館小学校への支援もカワセミ会としては初めて。この冊子に目をとめられた担任の鎌田先生には感謝である。

朝礼台の前に並んだ子供達、不安気な表情の子もいた。胸の双眼鏡はエコ広場で借用した。早速、双眼鏡の使い方と探鳥時のマナーについて話す。校庭では、カワラバトとハクセキレイ、そしてスズメ。団地内の調整池に急ぐ。ハシビロガモが雌雄で円を描いている。マガモとコガモ。そしてお目当てのオシドリは木の陰にいた。カワセミが鳴き声とともにやってきた。ダイサギが飛ぶ。カイツブリは水面を走る。ハクセキレイは氷上を歩く。鉄柵は邪魔だが、じっくり観察できた。

殿入中央公園へ向かう。モズ、そしてエナガとメジロ。館町緑地に入る。ヤマガラ、アオジ…、いない。鳥がいない。でも子供達は元気。車道に出て、畑地に行くが…。ツグミが一羽いた。テニスコート付近にもなにも…。

帰路、長い階段を上り学校へ。予定通りの時刻に帰校し、鳥合せ。出発時、控えめに目標は 20 種！と言っておいてよかった。26 種だった。心積もりは 30 種だった…。カワセミ会員が「今日はあまり満足できなかったかもしれませんが…」と言うと、間髪を入れず「そんなことはないよ！」と女の子が言った。支援してよかったな、と思った。
(担当 加藤 岸男)

○「上柚木公園に巣箱をかけよう」支援

日時：2022 年 2 月 12 日（土）

上柚木公園では平成 31 年（2019）よりカワセミ会と協働して、親子で巣箱を作って公園の樹木にかける「上柚木公園に巣箱をかけよう」講座を毎年開講している。

2022 年は 4 年目になり 2 月 12 日に開催された。参加した親子は 12 組で、先ず公園が用意したカット済の板で巣箱を組み立て、その巣箱を園内のシジュウカラが巣を作りそうな樹木にかけた。カワセミ会からの支援参加者は 7 名であった。

(担当 粕谷 和夫)

○八王子市立上川口小学校 2022 年度 3・4 年第 1 回野鳥観察会支援

日時：2022 年 5 月 26 日（木）8:30～10:05

天気：晴れ

場所：学校周辺東部・西部コース

観察した鳥：24 種(両コース合せて)

カルガモ キジバト ホトトギス トビ コゲラ モズ ハシボソガラス ハシブ
トガラス ヤマガラ シジュウカラ ツバメ ヒヨドリ ウグイス メジロ ムク
ドリ キビタキ スズメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒ
ワ イカル ホオジロ ガビチョウ

参加者：上川口小学校 3・4 年児童 13 名 教職員 3 名

カワセミ会 6 名 市村緑 加藤岸男 門口一雄 佐藤哲郎 玉木雅治 玉木ちづ子

概要・感想等(担当の加藤が参加した西部コースの様子を報告する。):

春に全校で行っていた秋川での観察会がなくなったので、3 年生は初めての野鳥観察。みんな前向きに取り組んでいた。出発前からホトトギスとウグイスが鳴き、ツバメが飛んでいた。川口川を渡る橋の上で鳥の見方とカラス 2 種について説明する。ガビチョウがうるさく鳴く。ホオジロ、キジバトを望遠鏡で観察。更に近くでモズ、遠くでキビタキの声もした。望遠鏡に入ったカラスの種別判定テスト(?)では、殆どの子が正解だった。正解はハシボソガラス。

再度川口川を渡り、畑地へ移動。遠くでホオジロが鳴く。自分の双眼鏡で探してみよう、と声掛けすると、すぐに 4 年の男の子が、あっ、あれだ！見つけた！と大きな声で言う。望遠鏡で確認すると木のとっぺんにいた。みんなで拍手。

校庭に帰って鳥合せ。2 コース合わせて 24 種はますますだ。2 名の担任の先生も、校長先生も初めての参加だったが、とてもいい感じだった。

(担当 加藤 岸男)

探鳥の記録(2022年1月～6月)

1月10日(月)	遠出探鳥会	相模原 宮ヶ瀬湖・早戸川林道
1月26日(水)	平日探鳥会	檜原小坂志川沿いの林道歩き
2月5日(土)	遠出探鳥会	都市公園シリーズ⑨ 多磨霊園・武蔵野公園
2月16日(水)	平日探鳥会	刈寄林道
2月24日(木)	平日探鳥会	高尾山周辺探鳥会 八王子恩方・冬の小津溪流
3月13日(日)	公開探鳥会	多摩川合流から石田大橋
3月14日(月)	平日探鳥会	高尾山周辺探鳥会 武蔵陵墓地と多摩森林科学園
3月27日(日)	遠出探鳥会	サシバ春の渡り 秦野市・菜の花台
4月1日(金)	平日探鳥会	高尾山周辺探鳥会 藤野園芸ランドと京塚山
4月3日(日)・4日(月) 船中泊	遠出探鳥会	八丈島航路(夜行日帰り)
4月10日(日)	月例探鳥会	北浅川:松枝橋～小田野中央公園
4月24日(日)	遠出探鳥会	都市公園シリーズ⑩ 大和市・泉の森公園
4月27日(水)	平日探鳥会	三頭山麓生きもの観察会
5月8日(日)	月例探鳥会	裏高尾日影林道
5月18日(水)	平日探鳥会	三頭山麓生きもの観察会
5月19日(木)	平日探鳥会	高尾山周辺探鳥会 大和市秀麗富岳シリーズ⑤倉岳山
5月25日(水)	遠出探鳥会	富士須走探鳥会
5月28日(土)・29日(日)(1泊2日)	遠出探鳥会	秘湯めぐり探鳥会⑪ 茅野・竜神池と渋の湯
6月4日(土)	公開探鳥会	長池公園探鳥会①
6月7日(火)	平日探鳥会	高尾山周辺探鳥会 藤野・綱子沢
6月8日(水)	公開探鳥会	長池公園探鳥会②
6月10日(金)・11日(土) 船中泊	遠出探鳥会	三宅島(夜行日帰り)
6月12日(日)	月例探鳥会	八王子城跡、滝ノ沢林道
6月16日(木)	遠出探鳥会	相模川中流域探鳥会

*天候などの理由で中止となった探鳥会

1/22 相模川、1/25 藤野、2/13 北浅川、3/20 宇津貫篠刈り、3/23 檜原矢沢林道、6/15 三頭山

○遠出探鳥会 相模原 宮ヶ瀬湖・早戸川林道

日時:2022年1月10日(月・休日)9:00～15:00

天気:曇り

行程:高尾駅発7:19→八王子駅(横浜線)7:32発→橋本駅着7:44・7:55発(路線バス)→鳥居原ふれあい館バス停着8:45・9:00発→宮ヶ瀬湖・早戸川林道→金沢橋12:00頃着(昼食・休憩)・12:30発→宮ヶ瀬湖畔14:15→鳥居原ふれあい館バス停着15:00・15:40発→橋本駅着16:28・16:30発

観察した鳥:42種(ベスト:ベニマシコ アトリ カヤクグリ)

オシドリ マガモ カルガモ キンクロハジロ カイツブリ カンムリカイツブリ
 キジバト カワウ アオサギ オオバン ミサゴ トビ オオタカ カワセミ コ
 ゲラ アオゲラ モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シ
 ジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ シロハラ ツグミ ルリビタ
 キ ジョウビタキ カヤクグリ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ アトリ

カワラヒワ マヒワ ベニマシコ ウソ イカル ホオジロ アオジ

※参考 キバシリ(1名しか見ていないため)

参加者：18名

概要・感想：

下見での惨憺たる結果で、周回コースを往復コースにして実施。それが良かった。

鳥居原ふれあい館から宮ヶ瀬湖を観察。ミサゴが定位置の木に。オシドリも多数。県道に沿って歩く。日陰には雪があった。エナガの群れ、ジョウビタキのオス、シロハラ等を観察しながら宮ヶ瀬湖園地に着く。ここからがメインコース。まずはマヒワの群れ、カケス、オオタカも。そしてカヤクグリが5羽。じっくり観察した。だが、本日の本命が…。

金沢橋で昼食。すると、40羽ほどのアトリの群れが近くに止まった。堪能する。少し先にあるもう一つのポイントに行ったが、本命はいない。ここで戻ることにした。路面の雪が殆どなくなっていた。今日は寒さを感じなかった。本命のポイントをじっくり探すが、いない、見つからない。では次回ということ！と諦めて、歩き始めるとそこにいた。ベニマシコ。本日の本命だ。それも2番。きれいなオス！観察も撮影もし放題だった。帰路の疲れも感じなかった。皆さん満足気だった。

(担当 加藤 岸男)

○平日探鳥会 檜原小坂志川沿いの林道歩き

日時：2022年1月26日(水) 9:40~14:30

天気：晴れ

コース：檜原村の小坂志林道を笹平バス停から林道終点まで往復した。

観察した鳥：12種(ベスト：エナガ、カケス、カモシカ)

キジバト、コゲラ、アオゲラ、カケス、コガラ、ヤマガラ、ヒガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、エナガ、ルリビタキ、ジョウビタキ

参加者：4名

概要、感想等：

ヤマガラ、コガラ、ヒガラ、シジュウカラのカラ4種が勢ぞろい、エナガの集団には何回も出合った。カケスは声だけでなく、姿も現した。林道の終点近くにメープルシロップを採取しているところがあった。イタヤカエデの幹に穴をあけて管で導いた樹液を白いビニール袋で受ける装置で、同じものが幾つも仕掛けてあった。近くにルリビタキあり。帰路は可愛いカモシカの子供1頭に出合った。オオバアサガラ、ミツデカエデ、イイギリ等の実が目立った。キヨスミイトゴケが朝日の射光に輝いていた。

(担当 粕谷 和夫)

○遠出探鳥会 都市公園シリーズ◎ 多磨霊園・武蔵野公園

日時：2022年2月5日(土) 9:30~13:20

天気：晴れのち曇り

行程：高尾(京王)駅発 8:00→多磨霊園駅着 8:42・9:02 発(武蔵小金井駅南口行)→多磨霊園表門着 9:06(武蔵小金井駅南口発 9:05→表門着 9:21) 表門発 9:30⇒名誉霊域・5区・11区・14区・21区⇒武蔵野公園 11:30(昼食・休憩)・12:00 発⇒野川公園着 13:20(鳥合せ)

観察した鳥：29種(ベスト：アオゲラ ルリビタキ ウグイス シメ)

カルガモ キジバト ダイサギ ハイタカ コゲラ アオゲラ チョウゲンボウ
モズ ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウ
グイス エナガ メジロ ムクドリ シロハラ ツグミ ルリビタキ ジョウビタ
キ スズメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ シメ(参考
オオタカ)

外来種：カワラバト(ドバト) ホンセイインコ(ワカケホンセイインコ)

参加者：20名

概要、感想等：

前回もご案内いただいたOさん、ご都合がついて今回もご案内いただき、さみしい限りのフィールド状況にもかかわらず、大きな収穫の探鳥会となった。感謝。

多磨霊園表門を出発してすぐ、名誉霊域でジョウビタキのメス、ウグイス、そしてルリビタキのオスを全員がじっくり観察し、写真に収めることもでき、さみしいフィールド状況を払拭できた。ハシブトガラスが多い。エナガ、ジョウビタキのオス。シロハラが至る所にいる。風が強くなってきた。モズのメスが少し遠くに。

当初予定を変更して、武蔵野公園に進む。ヒヨドリが大木の根元に樹液を吸っていた。トラツグミポイントで粘っていると、意想外にアオゲラが出現。しばらく観察させてくれた。オス。ツグミが2羽。トラツグミは…、残念。満開のロウバイを見ながら昼食。

午後は、野川に出た。シメが4羽、高木のとっぺんにいた。自然観察園に入る。セツブンソウが満開。めずらしいというイヌノフグリもあった。野草派は大いに喜ぶ。カラスの群れが落ち着かない。どうもハイタカがいるようだ。ヤマガラとカルガモを観察。休館中の自然観察センター前で鳥合せ。Oさんにお礼を言って解散。

(担当 加藤 岸男)

○平日探鳥会 刈寄林道

日時：2022年2月16日(水) 9:20~14:25

天気：晴れ

コース：秋川の支流刈寄川沿いの刈寄林道を沢戸橋から林道終点まで往復した。沢戸橋からの帰路はバスに乗らず秋川を秋川橋まで歩いた。

観察した鳥：29種(ベスト：ウソ、カヤクグリ、クマタカ、エナガ)

カルガモ、キジバト、アオサギ、ダイサギ、トビ、クマタカ、モズ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ミソサザイ、カワガラス、シロハラ、ツグミ、ルリビタキ、ジョウビタキ、カヤクグリ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、アトリ、カワラヒワ、ウソ、ホオシロ

参加者：7名

概要、感想等：

昨年の下見の時と同じく、このコースは途中より林道終点近くがハイライト、今年もエナガの集団の他ウソが出て、カヤクグリが出てくれた。沢戸橋の下ではカワガラス、上ではクマタカの飛翔が観察できた。沢戸橋からは秋川を歩きアトリ、カワラヒワ、シロハラなどにも出会った。

(担当 粕谷 和夫)

○平日(高尾山周辺)探鳥会 八王子恩方・冬の小津溪流

日時：2022年2月24日(木) 9:05~13:00

天気：晴れ

行程：JR高尾駅北口バス停発 8:42(宝生寺団地行)→タウン入口 8:50着⇒観栖寺台公園⇒黒田氏ギャラリー着 10:15(見学)・10:55発⇒小津川に沿って⇒ロータリー着 11:50(昼食)・12:25発⇒(途中で鳥合せ)⇒カ石バス停着 13:10・13:35発⇒高尾駅北口 14:03頃

観察した鳥：25種(ベスト：ソウシチョウ エナガ カシラダカ)

キジバト ダイサギ トビ コゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ ホオシロ カシラダカ アオジ ガビチョウ ソウシチョウ

参加者：15名

概要、感想等：

鳥はいません、と集合場所で何回か言い訳して開始。まず、観栖寺台公園で観察。ソウシチョウが5個体位出てきた。ジョウビタキ、ヤマガラ、アオジ……。残念ながらクロジは見られなかった。小田野城跡を通過して北浅川へ。エナガとカシラダカ、セグロセキレイ等を見た。エナガはすぐ近くまで来たので、じっくりと観察した。今日の目的の一つは黒田ギャラリーの見学。10時過ぎに着くとご主人の黒田さんが迎えてくれた。今回提示してあるのは、毎年「小菅の湯」で開催している「日本の野鳥写真展」の2回分で、一つは「北の大地の仲間たち」と題して北海道の鳥たち、もう一つは昨年、自

然遺産にも登録されたこともあって「世界自然遺産奄美・沖縄の仲間たち」と題して南西諸島の鳥達です、との説明をいただき、室内へ。普通の民家の1階に所狭しと写真が掲げられていた。鳥達の表情を細やかに表現されていて、一同感激。是非見たいと人気だったのはシマアオジ！

恩方ホームを過ぎて、小津に向かうが予想通り鳥はいない。北浅川は瀬切れ状態。時々ホオジロが出て来て、慰めてくれた。ロータリーで昼食。峠に向かう。雪がだいぶ残っていた。鳥の状況に変化はなかった。トビが2羽飛んでいた。黒田さんの写真にフォローしてもらって何とか格好がついた探鳥会だった。黒田さんに感謝。

(担当 加藤 岸男)

○公開探鳥会 多摩川合流から石田大橋

日時：2022年3月13日(日) 8:20~11:25

天気：曇り後晴れ

場所(コース)：浅川・多摩川合流部右岸・・・新井橋・・・浅川左岸・・・(下流方向へ進む)・・・浅川・多摩川合流部・・・多摩川右岸・・・(上流方向へ)・・・下川原公園(解散)

参加者：45名(一般参加者23名小人含む)、会員参加者22名

確認した野鳥：40種(ベスト：ミサゴ、ツバメ、ノスリ)

キジ、カルガモ、コガモ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、バン、イカルチドリ、トビ、オオタカ、ノスリ、ミサゴ、カワセミ、コゲラ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、カワラヒワ、シメ、ホオジロ、アオジ、ベニマシコ、オオジュリン、カワラバト(ドバト)、ガビチョウ

概要と担当の感想：

3月恒例の公開探鳥会は、「高尾・浅川の野鳥図鑑」の宣伝と販売を兼ねて実施する予定であったが、コロナ感染拡大に伴うまん延防止策発出中のため、公開探鳥会は中止とし、当日集まった方々による月例探鳥会として実施した。初めに、マスク着用と2m以上間隔をとることと、感染予防のため望遠鏡を使用しての観察が出来ないので双眼鏡で見ってもらうことを、お願いをした。

晴天続きで川の水量が極端に少なかったので、浅川・多摩川合流部の河川敷に下り石原の中で鳥を探した。ヤナギの小枝にカワセミが止まっていたが、一行の接近に驚いたのか、目の前を上流方向に飛ぶ、続いてキジ♀が右岸から対岸の合流中央部の草地に飛ぶのを確認した。対岸の枯れ枝にノスリ、枯れ草にはホオジロが止まっていた。川面をダイサギ、カワウが飛ぶ。石ころの中をタヒバリ、セグロセキレイが動き回る。目当てのコチドリは確認出来なかった。右岸堤防に戻り上流方向に進む。川岸の藪ではアオジ、モズが再三出現、上空にミサゴが飛来し輪を描くのを堪能し、ツバメの今季初飛来も確認できた。新井橋を渡り浅川左岸河川敷を下流方向へ進み、合流部から多摩川右岸の堤防を上流へ進む。堤防沿いのワンド付近ではカメラマン数名が、ベニマシコ、ヒクイナの出現を待っているとのこと。堤防下のヨシ原からコガモの大群が飛び立ち下流方向に飛ぶ。ワンド付近からベニマシコが上流方向に飛ぶのが確認できた。桜並木でコゲラの鳴き声を聞き下川原公園に到着し、ヒバリを確認して終了とした。

(担当 門口 一雄)

○平日(高尾山周辺)探鳥会 武蔵陵墓地と多摩森林科学園

日時：2022年3月14日(月) 9:05~13:40

天気：晴れ

行程：高尾駅北口発 9:05⇒浅川市民センター・南浅川⇒陵南公園⇒武蔵陵墓地 10:30⇒多摩森林科学園着 11:45(昼食・探鳥・鳥合せ)・13:40発⇒高尾駅北口 14:00

観察した鳥：31種(ベスト：アトリ ヤマガラ 参考：サル)

キジ キジバト トビ オオタカ ノスリ コゲラ アオゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ ヒガラ シジュウカラ イワツバメ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ツグミ ジョウビタキ スズメ キセキレイ ハクセ

キレイ セグロセキレイ アトリ カワラヒワ イカル ホオジロ アオジ カワラバト(ドバト) ガビチョウ (参考：帰路参加者有志 8 名 カワガラス ダイサギ)

参加者：20 名

概要、感想等：

朝方の雨に驚き、5月並みの暑さにも驚き・・・、鳥の少なさにも驚きの探鳥会だった。コース予定を変更して今回のメインとなるカワガラスを浅川市民センター裏の南浅川へ見に行く。でもいない。陵南公園にも鳥はいない。武蔵陵墓地手前の植え込みの中にも鳥はいない。御陵内に入ると、ジョウビタキ、オオタカの声が聞こえた。ヤマガラが数羽飛び交う。アオゲラ、キジが鳴き、ホオジロやモズを見られた。そして、出口近くで、アトリの小群に出会う。今日の一番人気となった。

多摩森林科学園に着いた。すぐに昼食。林道を一周したが、エナガとヒガラの声だけ。ここにも鳥はいない。ただ、サクラは何本が咲いていて、この状況を慰めてくれた。鳥合せをすると、意外にも 31 種を観察。種類は一応出たが、でも個体数はさっぱりだった。なんだか満足感を伴わない探鳥会となってしまった。残念。

帰路、有志 8 名でカワガラスに再度挑戦。到着して少しすると、こげ茶の塊が猛スピードで下流から飛んで来た！そして、いろいろな仕草を見せてくれた。

(担当 加藤 岸男)

○遠出探鳥会 サシバ春の渡り 秦野市・菜の花台

日時：2022 年 3 月 27 日 (日) 9:00～14:00

天気：曇り (～11 時までは濃霧)

行程：高尾駅発 6:51→八王子駅発 7:03→町田駅発 7:40→秦野駅着 8:12 秦野駅発 8:24→菜の花台バス停着 8:50→展望台 9:00(観察・昼食・休憩)・菜の花台バス停発 14:43→秦野駅着 15:22・15:28 発→町田駅発 16:13→八王子駅発 16:36→高尾駅 16:43 着

観察した鳥：25 種 (ベスト：クイタダキ ヒガラ ノスリ)

カウ アマツバメ ヒメアマツバメ トビ ツミ ノスリ コゲラ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス クイタダキ ヤマガラ ヒガラ シジュウカラ ツバメ イワツバメ ヒヨドリ ウグイス メジロ カワラヒワ イカル ホオジロ アオジ コジュケイ ガビチョウ

参加者：15 名

概要、感想等：

天候が危惧されたにもかかわらずバスで 8 名、車で 7 名、15 名が参加。バスは定時に菜の花台に到着。混雑していた。既に、日本野鳥の会神奈川支部県央ふれあい自然探鳥会の皆さんが観察されていたので、ご挨拶をする。歓迎されている感じ。しかし、眼下の街は見えるものの、目線から上は濃霧。これでは…、とっていると、ウグイス、アオジ、ホオジロ等の鳴き声と姿を見つけることが出来た。すると、クイタダキを発見！なんと初参加の会員のお子さんが見つけた。小学校を卒業したばかりとのこと。サシバよりこれの方がいい！などという声も聞こえた。

11 時過ぎになってようやく霧も晴れ、高曇りに。昼食を挟んでノスリのランデブー、イワツバメ、ツバメ、ヒメアマツバメ、アマツバメの群れが飛び交うのが見られた。ただ、残念ながらサシバは飛ばずじまい。でも静岡の観察地では、数十羽の群れが通過したとのことだった。もしかして明日だったら…、との無念さが残った。しかし、小学生 3 姉妹の熱心な姿に、ベテラン会員は安堵していた。帰路のバスも混雑していた。

(担当 加藤 岸男)

○平日(高尾山周辺)探鳥会 藤野園芸ランドと京塚山

日時：2022 年 4 月 1 日 (金) 9:15～14:30

天気：曇りのち晴れ

行程：JR 豊田駅発 8:10→八王子 8:16→高尾 8:24→藤野駅 8:37 着 藤野駅 9:15 出発⇒日連大橋⇒秋川橋⇒正念寺着 11:50(昼食・休憩)・12:30 発⇒京塚山着 13:20⇒藤野駅着 14:30・14:40 発⇒高尾着 14:52

観察した鳥：33 種 (ベスト：オシドリ イカル キジ)

キジ オシドリ カルガモ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ オオバン
トビ コゲラ モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ ヒガ
ラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ ツグミ イ
ソヒヨドリ スズメ カワラヒワ ベニマシコ イカル ホオジロ アオジ コジュ
ケイ ガビチョウ ソウシチョウ 参考：アオゲラ(1名のみの確認のため)

参加者：10名

概要、感想等：

やっと実現したこのコース。でも昨夜来の雨、中央線の遅延の発生等、先が危ぶまれる。でもイソヒヨドリが元気な美しい声で迎えてくれた。諸事情で藤野駅出発が30分遅れとなった。20号線を横切り相模湖に下っていくと、20羽ぐらいイカルの群れが樹上にいた。秋川橋の下流にオシドリの番を発見。上流にも一番。更にすうっと奥に10羽以上の群れがいた。フラワーガーデン入口手前でベニマシコを見つけたがすぐに飛んでしまった。先回りして探したが見つけれられたのはホオジロとスズメのみ。ソウシチョウの声を聞きながら芸術の道を進む。少し色の濃いメジロがサクラの蜜を吸っていた。葛原のT字路手前の左下の池には、オシドリが群れていた。近い！細部までよく観察できた。

正念寺には予定より少し遅れて到着。樹齢300年の古木のシダレザクラが満開だった。エナガの声を聞きながら昼食をとる。ようやく晴れ間が見えてきた。ここからは車道を離れ、ハイキングコースに入る。コジュケイがいたがすぐに笹藪に入った。京塚山からは昨夜の雪で白く化粧した丹沢山塊の山々が見えた。スポーツ広場の横を通り、県道に出る。ここにも満開のシダレザクラがあった。少し先の畑地にはキジの番がいた。相模川を渡り藤野駅へ。朝の個体だろうか、イソヒヨドリが迎えてくれた。

(担当 加藤 岸男)

○遠出探鳥会 八丈島航路(夜行日帰り)

日時：2022年4月3日(日)・4日(月)(船中泊日帰り)

天候：雨

コース：

往路：竹芝～三宅島～(探鳥)～御蔵島～(探鳥)～八丈島

復路：八丈島～(探鳥)～御蔵島～(探鳥)～三宅島～(探鳥)～大島沖～竹芝

確認した野鳥：13種(ベスト：アホウドリ、オーストンウミツバメ、アカアシカツオドリ、オオミズナギドリ群れ)

コアホウドリ、クロアシアホウドリ、アホウドリ、オオミズナギドリ、アカアシミズナギドリ、コシジロウミツバメ、オーストンウミツバメ、アカアシカツオドリ、ウミウ、ウミネコ、トウゾクカモメ、シロハラトウゾクカモメ、イソヒヨドリ、ヒレアシシギ SP.

参加者：2名

概要・感想等

終日、雨の天気予報で八丈島に着岸できない場合は引き返すという条件付き就航であったが、予定通り実施した。竹芝桟橋から22時30分発の東海汽船「橘丸」に乗船し、翌朝5時に三宅島に寄港。出港後、明るくなってからデッキに出て探鳥を開始した。海上は雨模様で波やうねりもあったが、屋根があるデッキのおかげで体は濡れることなく、継続して観察できた。途中、御蔵島にも着岸、海上ではオオミズナギドリの群れが途切れることなく飛び回り、少数だがアホウドリとクロアシアホウドリも出現し、八丈島には約1時間遅れで、9時50分に無事着岸した。復路は雨が止む時間帯もあり、八丈島を出港後しばらくして、御蔵島の手前でオオミズナギドリの群れにオーストンウミツバメが多数混じり、アカアシカツオドリやシロハラトウゾクカモメも飛んだ。目当てのアホウドリだが、今シーズンは三宅島の岸近くに集まっているとの事前の情報通り、接岸した伊ヶ谷港の船のデッキから少し遠かったものの様々な羽衣(年齢)の複数羽のアホウドリを同時に観察できた。三宅島を出港してすぐにはきれいな成鳥が船の近くを飛ぶシーンが見られた。アホウドリ類は往復合計でコアホウドリ2羽、クロアシアホウドリ33羽、アホウドリ19羽を数えた。海が荒れると出現するというウミツバメ類も見られ、予想を上回る充実の探鳥となった。

(担当 古山 隆)

○月例探鳥会 北浅川：松枝橋～小田野中央公園

日時：2022年4月10日（日）8:00～10:45

天気：晴れ

コース：松枝橋をスタートして北浅川の上流に向かって右岸を小田野中央公園まで歩く。

参加者：27名

観察した鳥：37種（ベスト：コチドリ、カワセミ、イカル、ダイサギの婚姻がよく見えた、アオサギコロニー）

キジ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コチドリ、トビ、オオタカ、カワセミ、コゲラ、チョウゲンボウ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ、イワツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、シメ、イカル、ホオジロ、アオジ、コジュケイ、カワラバト（ドバト）、ガビチョウ

概要、感想等：

バス時刻改正で都合の良い時間帯がない中27名もの会員が参加していただきました。天気は快晴で暑いくらいでした。スタート地点でコチドリのペアが見られ目の縁が黄色いアイリングをはっきりと全員で確認しました。枝住宅付近の畑の中で桜の木のとっぺんにいたモズも観察し、松枝住宅付近の広場で冬鳥のツグミの群れやヒヨドリの群も再三見ました。カワセミも再三見ました。嘴が黒くて目先は緑青色の夏羽になったダイサギを全員で見ました。元木橋付近で数人ですがチョウゲンボウも見られました。桜の記念樹に尽力してくださった川上恵さんが出迎えてくれました。10時45分頃到着し鳥合わせをして解散しました。

カジカガエルの声も聞こえた。

（担当 中村 后子）

○遠出探鳥会 都市公園シリーズ⑩ 大和市・泉の森公園

日時：2022年4月24日（日）9:20～12:30

天気：曇り一時小雨

行程：JR高尾駅発 8:06→八王子駅発 8:21→小田急町田駅発 9:01→大和駅着 9:12・9:20発⇒ふれあいの森公園⇒泉の森公園着 10:30（観察・休憩・昼食）・11:30発⇒水源地（鳥合せ）12:30発→鶴間駅着 12:55・13:00発→相模大野→町田→八王子駅着 14:00

観察した鳥：26種（ベスト：イカル コサギ カワセミ）

カルガモ カイツブリ キジバト カワウ ダイサギ コサギ オオバン カワセミ コゲラ ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ツバメ ヒヨドリ ウグイス エナガ センダイムシクイ メジロ ムクドリ オオルリ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ イカル カワラバト(ドバト)

参加者：12名

概要、感想等：

午後から雨という気象情報にもかかわらず、大和駅隣の「なでしこ広場」に12名の方が集合。「歩け歩け」の百人以上の方と、ほぼ同時に出発。中央林間まで歩くとのことだった。カワラヒワとメジロの声を聞きながら、ツバメの土集めを見ながら、ふれあい公園に着いた。受付をする。引地川にはきれいな個体のカワセミ、親水広場にはカルガモ。そして二人しか確認できなかったがセンダイムシクイも見つけた。さらに進むと、オオルリの声がした。探す結局見つからなかった。

泉の森に入る少し手前の水路にコサギがいた。足を震わせながら採餌していた。しらかしの池にオオバンとカイツブリ、そしてダイサギが空を舞っていた。自然観察センター・しらかしの家で見学・休憩した。小ぬか雨が降り出したので、強くないうちに、昼食を早めにとった。再出発してすぐに、イカルが鳴いた。腰の痛みには耐えながら皆で高木の枝先を探し、やっと双眼鏡でとらえることができた。水源地の先の森のはらっぱを一周して、こもれび広場で鳥合せをした。最後の観察種はヤマガラだった。

気になるほどの雨でなくてよかったね、と話しながら鶴間駅に向かった。あと少しのところまで雨が少し強くなった。

（担当 加藤 岸男）

○平日探鳥会 三頭山麓生きもの観察会

日時：2022年4月27日（水）9:25～14:00

天気：晴れ

コース：三頭山山麓を歩いた。先ず都民の森森林館からセラピーロードを三頭大滝まで往復した。午後は奥多摩周遊道路の第2駐車場を目指したが雲が漂ってきたのは途中で引き返した。

観察した鳥：12種（ベスト：ツツドリ、ミソサザイ、オオルリ、センダイムシクイ）
ツツドリ、コゲラ、カケス、コガラ、ヒガラ、シジュウカラ、ウグイス、センダイムシクイ、ミソサザイ、オオルリ、キセキレイ、ホオジロ

参加者：4名

概要、感想等：

オオルリのさえずりはあったが姿は確認できなかった。少し遠いがツツドリの声、センダイムシクイの声は近かった。ヤマシャクヤクは未だ蕾で開花していなかったが、新緑の中の桜の花もよく、ヤマザクラかと思ったが森林館で確認するとオオヤマザクラとのことであった。三つ葉のツツジも多く、花と同時に葉も出ていること、雄しべが10本あるのでトウゴクミツバツツジと判定した。

（担当 粕谷 和夫）

○月例探鳥会 裏高尾日影林道

日時：2022年5月8日（日）8:30～11:10

天気：曇り

コース：裏高尾日影林道を入口から出発し小仏城山山頂で解散した。

観察した鳥：22種（ベスト：キビタキ、オオルリ、キジバト）

キジバト、トビ、コゲラ、アオゲラ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、ヒガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、ヤブサメ、エナガ、センダイムシクイ、メジロ、ミソサザイ、キビタキ、オオルリ、キセキレイ、ホオジロ、ガビチョウ

参加者：カワセミ会 20名、子供2名、非会員1名

概要、感想等：

例年の5月は裏高尾小下沢林道で「オオルリを探す会」として公開探鳥会を行っているが、本年は小下沢林道が災害復旧工事のため通行止めとなったため、月例探鳥会に変更して日影林道で実施した。キビタキの声が何ヵ所かで聞こえた。オオルリは1回だけであった。溪流ではキセキレイを全員で観察できた。後半、キジバト2羽が道の上に張り出した横枝でゆったりと羽づくろいをしていて微笑ましかった。サツキヒナノウスツボが昨年と違う場所で花を咲かせていた。

（担当 粕谷 和夫）

○平日探鳥会 三頭山麓生きもの観察会

日時：2022年5月18日（水）9:45～14:10

天気：晴れ

コース：都民の森森林館からセラピーロードを三頭大滝まで往復、奥多摩周遊道路の歩道を第2駐車場まで往復

観察した鳥：17種（ベスト：ノスリ、カケス、コルリ、オオルリ）

ノスリ、アカゲラ、アオゲラ、カケス、ハシブトガラス、クイタダキ、ヤマガラ、ヒガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ミソサザイ、アカハラ、コルリ、オオルリ、キセキレイ

参加者：7名

概要、感想等：

森林館から三頭大滝往復でオオルリ、アカハラ（メス）の姿を確認できたが、コルリ、クイタダキは声だけの確認である。ヤマシャクヤクの花はほぼ終わっていたが数輪はまだ開花中、三頭大滝付近でベニバナツクバネウツギが開花していた。奥多摩周遊道路の第2駐車場でノスリが旋回飛翔、途中ではカケスが直ぐ近くまでやってきた。

（担当 粕谷 和夫）

○平日（高尾山周辺）探鳥会 大月市秀麗富岳シリーズ⑤倉岳山

日時：2022年5月19日（木）9:40～14:15

天気：晴れのち曇り

行程：JR高尾駅 8:01 発→上野原駅着 8:25・8:40 発(路線バス)→浜沢バス停着 9:25・9:40 発→立野峠→倉岳山着 11:30(休憩・昼食)12:00 発→立野峠 12:30→梁川駅着 14:15・14:27 発→高尾駅 14:54 着

観察した鳥：26種（ベスト:クマタカ オオルリ アオバト）

キジ アオバト ツツドリ クマタカ コゲラ アカゲラ アオゲラ サンショウクイ カケス ハシブトガラス ヤマガラ ヒガラ シジュウカラ ツバメ ヒヨドリ ウグイス センダイムシクイ メジロ ミソサザイ クロツグミ キビタキ オオルリ スズメ キセキレイ イカル ガビチョウ

参加者：7名

概要・感想：

参加者は7名と少なかったが、全行程、オオルリやキビタキ等の夏鳥の鳴き声が響き渡る楽しい探鳥会となった。浜沢で一つ150円のまんじゅうを買い込み出発。キビタキ、センダイムシクイ、オオルリ、クロツグミ等の鳴き声を聞きながら植林地を登る。日差しに映える緑の中をゆっくり歩く。コースタイム通りに立野峠に着いた。権現山や遠く三頭山を眺めしばし休憩。いくつかのコブを越える。山頂までの最後の登りにかかった時、ハシブトガラスに追われたクマタカが私たちの眼前を猛スピードで通過した。ほんの数秒の出来事だったが、全員がそのきれいな姿を堪能した。さらに、アオバトがすぐ前の小枝に！

倉岳山山頂からの富士山は、秀麗富岳とはいかず、残念ながら見られなかった。立野峠からの下山路はよく整備されていた。夏鳥等の鳴き声のシャワーの中を歩く。沢筋ではミソサザイの声が加わる。多くはないが、草花も楽しみながら車道に出た。梁川駅までの広い道を歩く。遠くでキジが鳴いた。梁川駅のホームで鳥合せ。オオルリがまだ鳴いていた。

（担当 加藤 岸男）

○遠出探鳥会 富士須走探鳥会

日時：2022年5月25日（水）8:50～14:05

天気：曇り後晴れ

コース：中型貸し切りバスで日帰りした。最初に道の駅すばしりの周辺、次に須走5合目の小富士を訪れた。

観察した鳥：36種（ベスト：道の駅付近・コムクドリ、ハチクマ、コサメビタキ、小富士・ルリビタキ、メボソムシクイ、ヒガラ）

キジ、キジバト、ツツドリ、ハチクマ、トビ、コゲラ、アオゲラ、サンショウクイ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、コガラ、ヤマガラ、ヒガラ、シジュウカラ、ツバメ、イワツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、メボソムシクイ、メジロ、ミソサザイ、ムクドリ、コムクドリ、クロツグミ、アカハラ、ルリビタキ、コサメビタキ、キビタキ、オオルリ、スズメ、キセキレイ、ピンズイ、カワラヒワ、イカル、ホオジロ

参加者：25名

概要・感想等：

道の駅すばしりの周辺は日本野鳥の会創設者の中西悟堂が日本初の探鳥会を開催した地。富士浅間神社でキビタキ、サンショウクイ、コサメビタキ等に出合った。次の小鳥の音楽堂への途中で大きな青虫を啜っているコムクドリが電線に止まっていて近くの雨戸の戸袋に飛び込んだ。ここではハチクマ2羽が上空に現れた。小鳥の音楽堂は別荘地にひっそりと簡素な東屋があるだけであった。小富士ではルリビタキ、メボソムシクイ、ヒガラの競演を楽しむことができた。

（担当 粕谷 和夫）

○遠出探鳥会 秘湯めぐり探鳥会⑪ 茅野・竜神池と渋の湯

期日：2022年5月28日（土）～5月29日（日）（1泊2日）

天気：2日共晴れ

行程：

1日目(5/28・土)

集合：JR中央線茅野駅改札口 9:10(厳守) (1) 日野駅 5:56→八王子駅 6:04→(乗換)高尾駅始発 6:14 松本行→茅野駅着 8:48 (2)八王子駅発 7:29(あずさ1号松本行)→茅野着 9:07 茅野駅発 9:20(路線バス)→尖石考古館バス停着 9:41→竜神池(観察・昼食)→尖石考古館バス停 14:06 発→渋の湯着 15:05(泊) (災害復旧工事のため、宿まで1kmのところから歩く。)

※渋の湯・御殿湯(本館) 長野県茅野市北山 5520-3 Tel.0266-67-2733

2日目(5/29・日)

宿周辺の早朝探鳥 5:50~6:50、宿発 8:20⇒御射鹿池 10:10⇒明治温泉・おしどり隠しの滝 10:45⇒横谷峡(王滝で昼食) 横谷峡入口バス停着 13:20・13:31 発→茅野駅着 14:05(解散) (1) 茅野駅発 15:03→甲府 16:17・16:53→高尾駅着 18:40(立川行) (2) 茅野駅発 15:18(あずさ38号)→八王子駅着 16:50 (3) 茅野駅発 14:16(あずさ34号)→八王子駅着 15:48

観察した野鳥：42種(バスト オオルリ キビタキ クロツグミ ジュウイチ ビンズイ)

ヤマドリ マガモ カルガモ カイツブリ キジバト アオバト アオサギ ジュウイチ カッコウ ノスリ コゲラ アカゲラ アオゲラ サンショウクイ カケス ハシブトガラス コガラ ヒガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メボソムシクイ エゾムシクイ センダイムシクイ メジロ ミソサザイ コムクドリ カワガラス クロツグミ アカハラ ルリビタキ ショウビタキ コサメビタキ キビタキ オオルリ キセキレイ ハクセキレイ ビンズイ カワラヒワ イカル アオジ

参加者：12名

概要・感想等：

新型コロナで中止されていた宿泊での探鳥会。嬉しい復活第1弾は、秘湯めぐり探鳥会となった。

【1日目】

予定通り茅野駅に集合。メルヘン街道バスで尖石考古館に到着。竜神池に直行する予定だったが工事中のため中心部に入れず。そこで考古館や竜神池付近を探鳥することとした。早速会えたのは、冬鳥なのに越冬し繁殖しているショウビタキ。ヒナを同伴。イカルが鳴き、コムクドリが飛ぶ。上空にはノスリ。コサメビタキを見ているとサンショウクイも入ってきた。メボソムシクイは2日間、どこでも鳴いていた。工事が中断したので中島のコムクドリを見ながら竜神池湖畔で昼食。竜神池は北側のみ入れるので午後回った。するとすぐにキビタキが樹の枝先で高らかに囀っているのを発見。じっくり観察する。更に進むとクロツグミが出現。これも枯れ枝の先に止まり、胸をそらせながら囀っていた。再びバスに乗り宿に向う。災害復旧工事中のため、途中で下車。急な登りの舗装道路を歩く。すると遠くでオオルリの声が出た。木の間越しに探すと、新緑の木々の天辺にいた。今回初の出会いとなった。

渋御殿湯は奥蓼科温泉郷の一つ。ハケ岳の登山基地だが、ひっそりしていた。源泉は白濁していて、31度と温めなので、長湯ができる。男性用の長寿湯は湯船の底から泡が湧き出していた。風呂から上がって寛いでいると、ジュウイチが鳴いている、との知らせ。窓を開けると大きな声が聞こえた。宿代税込 8800円にしては申し分ない宿だった。

【2日目】

宿周辺を早朝探鳥。気温は5度。寒い。ルリビタキのかぼそい声、エゾムシクイの高音が聞こえた。カワガラスも繁殖中のような。ミソサザイは何個体いるのだろうか。そこかしこで囀っていた。

朝食後、風呂に行くと馴染み客の方がいて、昨日来るときにキジを見た、頭が赤く、尾もすごく長かった、とのこと。それは多分ヤマドリですね、と伝え、何回も来ているが初めて、きれいだった、と嬉しそうに話された。その情報を皆さんに伝えて宿を出発。4キロの車道歩き。ハルゼミの声に消されてなのか、鳥は少ない。でもピンズイ

はゆっくり観察させてくれた。東山魁夷の絵のモチーフとなった御射鹿池に到着。観光客も多い。ここでおひとりとはお別れとなった。明治温泉からいよいよ3キロほどの横谷峡歩きとなる。まずは厳しい登り。カケスが励ましてくれた。そしてここからはオオルリがずうっと一緒に歩いてくれた。近くに、少し遠くに、声を聴きながら新緑の木々の中を足元に注意しながら歩く。ヒガラがすぐ目の前に現れ、コガラの小群にも出会う。王滝直前ではオオルリが至近で鳴いた。じっくり声と姿を楽しんだ。王滝で昼食。王滝からはやや広い道となる。横屋温泉旅館で、買い物をし、バス停に向かうと、ハクセキレイが飛んだ。バス停で鳥合せをして、解散とした。茅野駅行きのバスは定刻にきた。茅野駅からは、各駅停車組、特急組と、それぞれ。車中での慰労会は…、まだまだ。残念ながら自粛した。

(注) これまで参加者に感想文をお願いしていたが今回からは割愛することとした。
(担当 加藤 岸男)

○公開探鳥会 長池公園①

日時：2022年6月4日(土) 9:00～11:30

天気：晴れ

コース：自然館を出発して芝生広場、見附橋、築池、田んぼと進みその先までは行かず自然館に戻った。

観察した鳥：22種(ベスト：オオムシクイ、コシアカツバメ、キセキレイ、カルガモ親子)

キジ、カルガモ、キジバト、コゲラ、アオゲラ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ツバメ、コシアカツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、オオムシクイ、メジロ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、イカル、カワラバト(ドバト)、ガビチョウ

参加者：26名

概要、感想等：

長池公園で開催中の高尾・浅川の野鳥展の一環として、公開探鳥会を開催した。カワセミ会と長池公園(八王子市都市公園指定管理者 ひとまちみどり由木)の共催で実施。26名が参加した。観察会のメイン案内役は長池公園自然館の小林副園長が行い、カワセミ会のリーダーは支援役にまわった。野鳥観察のコツや見どころのこと細かく、丁寧な説明、野鳥に限らず野鳥に関連する植物や虫等の説明で1カ所に長くとどまった観察が多かった。そのため自然館を出発して芝生広場、見附橋、築池、田んぼと進みその先までは行かず自然館に戻った。自然館を出発して直ぐエナガの家族群に出合った。この群れにはシジュウカラ、コゲラの家族群も混じっていて賑やかであった。見附橋の下の姿池にはツバメが巣材を取りに来ていて、コシアカツバメの飛翔も観察できた。築池にはカルガモ親子がいたが、雛は3羽しかいなかった。築池から田んぼまでの間の雑木林でオオムシクイの声が観察された。

(担当 粕谷 和夫)

○平日(高尾山周辺)探鳥会 藤野・綱子沢

日時：2022年6月7日(火) 8:35～13:25

天気：曇り一時小雨

行程：JR高尾駅 7:41 発→藤野駅着 7:54・8:08 発(奥牧野行バス)→舟久保バス停着 8:30→舟久保→さつき学園→綱子沢(折返)→前川橋(折返)10:25→舟久保→旧牧郷小学校着 11:50(昼食・休憩)・12:25 発⇒堂地⇒藤野やまなみ温泉バス停着 13:25・14:18→藤野駅発 14:40→高尾駅着 14:55

観察した鳥：32種(ベスト：オオルリ クロツグミ ホトトギス ツバメ サンショウクイ) キジ キジバト アオバト ホトトギス ノスリ コゲラ アオゲラ サンショウクイ サンコウチョウ カケス ハシブトガラス ヤマガラ ヒガラ シジュウカラ ツバメ ヒヨドリ ウグイス ヤブサメ エナガ センダイムシクイ メジロ クロツグミ コサメビタキ キビタキ オオルリ スズメ キセキレイ カワラヒワ イカル ホオジロ コジュケイ ガビチョウ

参加者：2名

概要、感想等：

藤野駅に集ったのは二人のみとさみしかったが、全行程でサンショウクイ、ホトトギス、センダイムシクイ、オオルリ、クロツグミといった夏鳥達が鳴きっぱなしで賑やかだった。

前川橋が老朽化で通行止めとなったため、周回コースを2ヶ所で折返すコースに変更した。濃緑の木々の中を舟久保バス停から歩き出すと、すぐにホトトギス、オオルリ等が鳴いた。キビタキも、センダイムシクイも。舟久保の畑に行くとツバメのヒナ2羽が小枝に止まり親から給餌されていた。ノスリが近くの杉に止まる。ホオジロが鳴く。サンショウクイも上空を飛びながら鳴く。クロツグミは近いが姿は見えない。さつき学園のアンテナの上でオオルリが元気に鳴く。その先は災害復旧工事中で進めない。綱子沢(川)をのぞくと、以前あった堰堤が跡形もなく消えていた。それも2ヶ所。

前川橋に向かう。カケス、コジュケイが鳴く。奥牧野キャンプ場跡地ではコサメビタキが出現。コゲラも、アオバトも。折り返して元の道に戻る。夏鳥の声は続いている。でも、今日が目玉、サンコウチョウは鳴かない。旧牧郷小学校に着く頃には小雨となった。中で昼食をとらせてもらっていると雨は止んだ。中尾八幡神社で神奈川100名木の杉をみて、少し進んだ時、一声だけ待ちに待ったサンコウチョウが鳴いた。残念ながら藤野やまなみ温泉は改修工事で休業中だった。鳥合せをして、藤野駅にバスで向かう。

藤野駅のホームで電車を待っていると、オスのイソヒヨドリが至近の木に止まり、見送ってくれた。同行の女性参加者はいたく感激していた。おまけ付きの探鳥会となった。
(担当 加藤 岸男)

○公開探鳥会 長池公園②

日時：2022年6月8日(水) 9:00~11:50

天気：晴れ

コース：前回(6月4日)と同様に自然館を出発して芝生広場、見附橋、築池、田んぼと進みその先までは行かず自然館に戻った。

観察した鳥：25種(ベスト：カワセミ、カルガモ親子、キジバトのニワトコの実採餌)キジ、カルガモ、キジバト、カワセミ、コゲラ、アオゲラ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ツバメ、コシアカツバメ、イワツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、イカル、コジュケイ、カワラバト(ドバト)、ガビチョウ

参加者：23名

概要、感想等：

長池公園での公開探鳥会を6月4日に引き続いて実施した。今回も観察会のメイン案内役は長池公園自然館の小林副園長が行い、カワセミ会のリーダーは支援役にまわった。築池に前は出なかったカワセミが今回はしっかり姿を見せてくれた。前回3羽の雛を連れていたカルガモ親子、今回は2羽に減っていた。田んぼへの遊歩道の片側のニワトコの赤い実をキジバトが啄んでいた。キジバトはニワトコの赤く熟した実が好きだとのこと、人が近づいても逃げずに食べて続けていた。遊歩道の「手すり」は昆虫観察の重要なスポットとのこと、キジバトがニワトコの赤い実を啄んでいた直ぐ近くの手すりに体長5ミリの小さなコフキゾウムシがいた。

(担当 粕谷 和夫)

○遠出探鳥会 三宅島(夜行日帰り)

日時：2022年6月10日(金)・11日(土)(船中泊日帰り)

天気：曇のち雨

コース：三宅島(5:30~11:30)：鏑ヶ浜港~(バス)~伊豆岬(探鳥)~(バス)~大路池周辺(探鳥)~(バス)~鏑ヶ浜港

復路航路(13:40~16:35)：三宅島~(船上から探鳥)~野島沖

観察した鳥：29種(ベスト：カラスバト、イイジママムシクイ、ウチヤマセンニュウ、アカコッコ)

カラスバト、キジバト、クロアジアホウドリ、オオミズナギドリ、ハシボソミズナギドリ、アナドリ、アマサギ、ダイサギ、ホトトギス、アマツバメ、ウミネコ、ミサゴ、

(ミヤケ)コゲラ、ハシブトガラス、(オーストン)ヤマガラ、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、イイジママシクイ、(シチトウ)メジロ、ウチャマセンニュウ、(モスケ)ミソサザイ、アカコッコ、(タネ)コマドリ、キビタキ、カワラヒワ、ホオジロ、コジュケイ、カツオドリ sp.、ウミツバメ sp.

参加者：9名

概要・感想等

「雨天中止」の計画であったが、雨は昼頃からという天気予報だったので予定通り実施した。前夜、10時30分に竹芝桟橋を出港したさるびあ丸は翌朝、5時に錆ヶ浜港に着岸し、すぐにバスに乗り込み、伊豆岬入り口で下車。ここで探鳥の準備をし、伊豆岬に向けて歩きながら探鳥を開始した。すぐにミヤケコゲラやイイジママシクイがわれわれ一行を出迎えるように現れた。伊豆岬ではウチャマセンニュウがあちこちで囀る様子を観察しながら、朝食をとる。カラスバトも複数羽、飛んできて、枯れ枝に止まった。少し遠かったが、アカコッコとのツーショットも見られた。7時過ぎまで探鳥をし、再度、バスに乗り込み、大路池入口へ。タネコマドリやモスケミソサザイ、イイジママシクイ等の囀りを楽しみながら、大路池まで車道を歩いて探鳥する。池のほとりでは渡ってきたばかりのアマサギの群れや枝先に止まる赤味を帯びた顔が特徴のオーストンヤマガラを観察する。イイジママシクイは樹上からシャワーのように囀りが降り注ぐ感じで、タネコマドリやモスケミソサザイは直ぐ近くで張りのある声を響かせるのだが、なかなか姿を確認できず…。最後にアカコッコ館に立ち寄り、館内で三宅島を紹介するビデオを鑑賞したり、水場に来る野鳥を待ったりして、バスの時刻まで時間を潰した。11時頃から雨が降り出したが、濡れずに過ごすことができた。帰りの船も錆ヶ浜港からの出港となり、バスで移動し、待合室で昼食をとり、鳥合わせを行った。帰路は三宅島から東京湾の入り口付近まで、船上から海鳥やイルカ・クジラ類を観察した。クロアシアホウドリは10羽以上出現し、また、イシイルカやゴンドウクジラ類も見られ、楽しめた。途中雨が降ることもあったがデッキには屋根が付いており、濡れることもなく、海況は穏やかで波やうねりもなく、竹芝には定刻19時40分に到着した。

(担当 古山 隆)

○月例探鳥会 八王子城跡、滝ノ沢林道

日時：2022年6月12日(日)10:00~14:15

天気：晴一時雨

コース：八王子霊園前バス停から八王子城跡に上り、北側の松竹に下った。下りの途中に滝ノ沢林道を少し歩いた。

観察した鳥：22種(ベスト：コサメビタキ)

ホトトギス、トビ、アオゲラ、サンコウチョウ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、ヤブサメ、メジロ、ムクドリ、コマドリ、コサメビタキ、キビタキ、スズメ、キセキレイ、イカル、ホオジロ、ガビチョウ

参加者：8名

概要、感想等：

八王子城跡では御主殿跡付近でコサメビタキが餌運びをしていた。サンコウチョウも営巢中でカメラマン数人が巢の下に集まっていた。コマドリは御主殿の滝入口付近で、耳の確かな2名が声を聞いたものである。下り滝の沢林道に着く直前に雷雨に見舞われたが、雨宿りをできる物置があったので、無事に避難できた。その避難場所からイワガラミの大きな株が見え、雨後の白い花が際立っていた。

(担当 粕谷 和夫)

○遠出探鳥会 相模原・相模川中流域

日時：2022年6月16日(木)9:20~13:30

天気：曇り

行程：高尾駅発 8:05→八王子駅(横浜線)8:20→橋本駅(相模線)8:39→入谷駅着 9:11・9:20発→新田宿→座架依橋北橋詰→磯部取水堰着 12:10(昼食・休憩)・12:40発→三段の滝下展望広場着 13:30(鳥合せ)・13:40発→下溝駅着 13:55・14:04発→橋本駅

観察した野鳥：34種（ベスト オオヨシキリ ゴイサギ ムクドリ）

キジ カルガモ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ コサギ
ホトトギス トビ ノスリ カワセミ コゲラ チョウゲンボウ オナガ ハシボ
ソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ツバメ イワツバメ ヒヨド
リ ウグイス メジロ オオヨシキリ セッカ ムクドリ スズメ ハクセキレイ
カワラヒワ ホオジロ チドリ SP カワラバト(ドバト) ガビチョウ 参考種エナ
ガ(確認者が一人のため)

参加者：13名

概要・感想等：

駅舎もトイレもない入谷駅。周りは水田が広がっている。集合時、まずはチョウゲンボウが出現。広範囲を飛び回っていたが、田んぼにはハクセキレイとムクドリのみ。住宅地を20分ほど歩いてようやく新田宿に着いた。一面の水田を丁寧に探すが、鳥影は、ムクドリとハシボソガラスのみ。5月にはコムクドリのえさ場となる桜並木を横に見て進むが、状況に変化はない。ダイサギくらい。遠くでオオヨシキリの声がしたので、そちらに回る。ようやく葦に止まるオオヨシキリを見つけ、じっくり観察。でも鳴き声が短く、口の中の赤色を確認できなかった。更に進むとチドリの声がした。しかし姿は見つけられなかった。

河畔の土手に出て小休止。昨日の気象情報と違い曇り。暑さは抑えられている。ノスリやツバメ、ホオジロを観察しながら磯部取水堰に到着。カワウとサギ3種が迎えてくれた。頭首工公園で昼食にした。

相模川左岸を上流に向かって進む。対岸にゴイサギを発見。ホシゴイまでいかぬ幼鳥だった。カイツブリも元気に鳴く。流れに近づいてセッカを見つけたがすぐに飛んでしまった。グラウンドの水たまりにイワツバメが来ていた。三段の滝下展望公園手前でカワセミにやっと出会うことができた。この公園で鳥合せ。35種はますますだが、ムクドリがベストに入るとは…。長い階段を上り下溝駅へ。ここには立派な駅舎があった。
(担当 加藤 岸男)

地元発見探鳥会の記録（2022年1月～6月）

○日野用水下堰でカワセミを探す

日時：2022年1月18日（火）8:00～10:45

天気：晴れ

コース：日野用水の下流側（多摩川の中央線鉄橋から仲田の森蚕糸公園⇒市民の森スポーツ公園⇒甲州街道まで）を歩いた。

観察した鳥：36種（ベスト：ヨシガモ、オナガガモ、ミサゴ、ダイサギ集団）

オカヨシガモ 10、ヨシガモ 16、ヒドリガモ 2、マガモ 9、カルガモ 10、ハシビロガモ 2、オナガガモ 6、コガモ 110、キンクロハジロ 1、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ 85、オオバン 30、ミサゴ、トビ、ノスリ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、メジロ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、アオジ、カワラバト（ドバト）、ガビチョウ

参加者：6名

概要・感想等：

2022年の日野市カワセミハウス環境パネル展に向けたカワセミ生息調査の一環として、多摩川中央線鉄橋附近から日野用水下堰を歩いた。先ず、多摩川の中央線鉄橋に行ってみた。カモが多数集まっていて賑やかであった。ヨシガモが日に当たり輝いていた。中央線鉄橋の下流側左岸にはダイサギが85羽も集まっていた。そこにミサゴが現れて下流方面に飛んで行った。しばらくして戻ってきたミサゴは大きな魚を掴んでいた。まるで捕った魚を見せに来たような感じであった。捕まった魚はマルタかも知れない。日野用水では残念ながらカワセミに出会うことはなかった。

(担当 粕谷 和夫)

○富士森公園他

日時：2022年1月25日（火）9:30～11:30

天気：晴れ

コース：富士森公園から緑町墓地、山田川、緑町緑地を經由、再び山田川に出て国道16号の黄金橋まで歩いた。

観察した鳥：21種（ベスト：ツグミ、シメ、イカル、シロハラ）

キジバト、コゲラ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、キセキレイ、ハクセキレイ、シメ、イカル、アオジ、ガビチョウ

参加者：7名

概要、感想等：

富士森公園では日が当たる梢にはたくさんのカラ類がいた。山田川で藪が生い茂るところには、アオジがチッチと鳴いていた。メジロがヤツデの花にくちばしを伸ばし、川で水浴もしていた。キセキレイが凍った川面をよちよち歩く面白い光景もあった。緑町公園はまさに鳥のパラダイスとなっていてシメとシロハラ、ガビチョウ、ツグミが同じ場所で落ち葉を掻き分け食べ物を探していた。

（担当 粕谷 和夫）

○長池公園から蓮生寺公園

日時：2022年1月28日（金）8:30～11:30

天気：晴れ

場所：京王堀之内駅⇒せせらぎ緑道⇒長池公園⇒蓮生寺公園⇒京王堀之内駅

参加者：13名（体験参加1名含む）

観察した鳥：27種（ベスト：イカル、アオジ、コジュケイ）

マガモ、カルガモ、キジバト、ダイサギ、コゲラ、アオゲラ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、シメ、イカル、アオジ、コジュケイ、カワラバト（ドバト）、ガビチョウ

概要：

東京都の新型コロナ新規陽性者が1日で1万6千人をこえる中、探鳥会には13名の参加者があった。全員マスク着用で京王堀之内駅からせせらぎ緑道を通り長池公園へと向かう。この緑道では時折カワセミに出会うこともあるのだが、この日は出なかった。

長池公園の姿池の上にかかる長池見附橋は、大正2年に完成した四谷見附橋を移設したもので、橋のアーチ中央に取り付けられた古びたプレートには「四谷見附橋 大正2年9月」の文字が見える。築池の堰堤上から双眼鏡で池を見渡すが、見えるのはカルガモとマガモのみ。事前に長池公園に詳しい方から「薄墨メジロ」が出ている。」との情報があり、目撃地点付近に移動しみんなで入念に探すが、残念ながら見つけれなかった。おかげで、いつになくメジロをたくさん見た。

長池から、かんさつの道、ほうけんの道を歩くが鳥の声が少ない。体験ゾーンに入ると右手の笹藪でガサゴソと何かが動く音が。よく見るとコジュケイだ。それも10羽近い群れだ。じっと見ていると、鳴いたり、近くの木の枝に飛び上がったり、いろいろな姿を見せて楽しませてくれた。

田んぼ近くに行くと、林からイカルのきれいな声が聞こえた。周辺を探すとイカルの小群が姿を見せた。数羽が近くの小川に降り、水飲みをする姿も見せてくれた。ここではアオジも至近距離で見られた。

長池公園から蓮生寺公園へと移動し、門前広場から急な階段を上る。長くはないがややこたえる。その割には鳥の声が少ない。展望広場、吊り橋（さえすり橋）、水辺の広場と移動するが、追加できたのはキセキレイのみであった。

京王堀之内駅手前の公園で鳥合わせをした。全部で27種。出だし不調だった割にはますますか。ベストはイカル、アオジ、コジュケイとなった。

（担当 佐藤 哲郎）

○多摩川・多摩大橋～拝島橋間左右岸一周

日時：2022年2月15日（火）8:30～12:25

天気：晴れ

コース：多摩川の日野用水堰（平の堰）から右岸堤防を下流に進み、多摩大橋を渡って左岸に出て上流に向かい、拝島橋を渡って日野用水堰まで一周した。

観察した鳥：40種（ベスト：ヒバリ、コガモ、オオバン）

カルガモ、コガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、オオバン、イソシギ、ミサゴ、トビ、オオタカ、ノスリ、コゲラ、アオゲラ、モズ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ヒヨドリ、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、カワラヒワ、シメ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、コジュケイ、カワラバト（ドバト）、ガビチョウ

参加者：8名

概要、感想等：

スタート地点の日野用水堰では中州の木にオオタカ(若鳥)、ノスリが止まっていた。水面ではコガモが多く100羽以上が岸辺で羽を休めていた。他にカルガモ、オオバンの小さな集団、カイツブリ、イソシギなど。八石下広場にトイレ休憩で立ち寄るとヒバリ、ツグミがともに数羽、芝生広場に散らばっていた。多摩大橋を渡って昭島市民プール前の河原にはタヒバリ数羽がハクセキレイの中で目立った。40種と比較的多くの種が出たが、期待したベニマシコ、カワセミには出会わなかった。

（担当 粕谷 和夫）

○豊田用水でカワセミを探す

日時：2022年2月23日（水・祝）8:30～12:15

天気：晴れ

コース：浅川の平山橋（大名淵取水口）から豊田用水を下流に向かい堀の内緑道から日枝神社、浅川縁の駒形公園、駒形天満宮を経て黒川清流公園まで歩いた。

観察した鳥：34種（ベスト：コサギ、ヒバリ、ミサゴ）

マガモ、カルガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、ヒメアマツバメ、ミサゴ、カワセミ、コゲラ、チョウゲンボウ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒバリ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、カワラヒワ、アオジ、カワラバト（ドバト）、ガビチョウ

参加者：15名

概要、感想等：

日野市内の用水路に生息するカワセミを探すことが主目的の探鳥会。中央図書館下湧水、旧家の板塀が残る風景、田んぼ脇などを通ったが「用水路」での目当てのカワセミには出会わなかった。田んぼにはダイサギが1羽いただけ、用水路ではキセキレイ、カルガモが観察された。ケヤキに着生するヤドリキは2カ所（豊田駅南入口と黒川清流公園）あったが、レンジャクは来ていなかった。ベストのコサギは用水路、ヒバリは浅川河原、ミサゴは浅川での観察。

（担当 粕谷 和夫）

○調整池と館町緑地・湯殿川

日時：2022年2月26日（土）8:30～11:25

天気：快晴

行程：集合 町田街道・医療センター入口交差点 出発 8:30⇒館ヶ丘団地⇒殿入中央公園 9:40⇒館町緑地⇒殿入中央公園着 10:45⇒湯殿川⇒上館公園 11:25(解散)

観察した鳥：37種（ベスト：コジュケイ イカル ハシビロガモ オシドリ）

オシドリ ヨシガモ ヒドリガモ マガモ カルガモ ハシビロガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ トビ コゲラ アオゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ シロハラ ツグミ ジョウビタキ スズメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセ

キレイ カワラヒワ イカル ホオジロ カシラダカ アオジ コジユケイ カ
ワラバト（ドバト） ガビチョウ

参加者：15名

概要・感想等：

町田街道・浅川トンネル出口の調整池には、ヨシガモ、ヒドリガモ、カワウ等、館ヶ丘団地の調整池にはオシドリ、マガモ、カイツブリ等がいた。ハシビロガモの2羽がぐるぐる回っていた。殿入中央公園ではイカルが水飲みをしていた。館町緑地に入ると、コジユケイ一家がのんびり散歩していた。じっくり観察した。コジユケイは他の場所でも出会った。アオジ、カシラダカ、シロハラ…、それなりに出た。滝見寺の裏山にはツグミとモズのみ。湯殿川でカワセミを期待したが…。上館公園で鳥合せ。37種はまずまず。

終了後、何人か、南浅川のカワガラスを見に行った。

（担当 加藤 岸男）

○永林寺から寺沢里山公園

日時：2022年3月4日（金）8:30～11:10

天気：曇のち晴

場所：由木中央小学校バス停⇒永林寺⇒由木の里山⇒寺沢里山公園⇒大栗川公園

参加者：6名

観察した鳥：26種（ベスト：ジョウビタキ、イソヒヨドリ）

カルガモ、コガモ、キジバト、コゲラ、アオゲラ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、イソヒヨドリ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、アオジ、コジユケイ、カワラバト（ドバト）

概要：

3月を迎え、一気に春めいてきた。今回は地元発見探鳥会として八王子の由木エリアを歩いた。

集合場所の由木中央小学校バス停には6名が集まった。自己紹介の後、早速永林寺へ向かう。永林寺は元滝山城主の大石定久公が滝山城に移る前の居館があったとされる場所で、定久公の墓所もある。こうした場所を訪ねるのも「地元発見探鳥会」ならではだ。門前で幸先よくジョウビタキを確認。歴史を感じさせる総門、三門（山門）、中雀門を通過して本堂前が出る。本堂の左を通過して定久公の墓に詣でた後、由木城跡とされる高台へ向かう。シジュウカラやエナガ、メジロ、コゲラなどの鳴き声がするが鳥は多くない。シロハラらしき姿もチラッと見えたが確認できなかった。三重塔の前を通過して寺を後にする。

細い坂道を歩いて南陽台東側の台地に出ると、所々に畑が広がる里山風景となる。あちこちで咲き始めた梅が春の訪れを感じさせる。林縁の細い水路沿いの道ではアオジが姿を見せ、ウグイスもややぎこちなさを感じるさえずりを聞かせてくれた。畑ではツグミやハクセキレイが採餌していた。この辺りではいつもモズがいるのだが、今日は姿を見せない。

寺沢里山公園でトイレ休憩。繁殖期であればキビタキの声も聞こえる公園だが、今日はモズ、シロハラを加えたのみ。園内ではジョウビタキが写真のポーズをとってくれた。

寺沢里山公園を後にして大栗川に向かう途中、道端にある野菜の無人販売所を見ていくことに。野菜を物色していると、近くの民家のブロック塀にイソヒヨドリを発見。きれいなオスであった。思わぬ収穫に皆大喜び。その後大栗川を少し歩いて、大田川合流点の大栗川公園で鳥合わせをした。大栗川ではコガモ、キセキレイ、セグロセキレイなどを追加し、合計は26種であった。ベストはじっくり見られたジョウビタキ、イソヒヨドリとなった。

朝は少し肌寒かったが、後半は暖かな日差しも出て早春の一日を楽しむことができた。

（担当 佐藤 哲郎）

○浅川・長沼橋から平山橋

日時：2022年3月28日（月）9:00～11:35

天気：晴れ

コース：浅川の長沼橋から右岸堤防を平山用水取水堰上の貯水池まで往復、左岸平山橋手前（大名淵）まで往復、滝合橋を渡って右岸平山用水取水堰を往復して平山城址公園駅まで歩いた。

観察した鳥：31種（ベスト：キジ、ヒドリガモ、ホオジロ、モズ）

キジ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、オオバン、イカルチドリ、トビ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ツバメ、イワツバメ、ヒヨドリ、ムクドリ、ジョウビタキ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、カワラヒワ、ホオジロ、アオジ、カワラバト（ドバト）、ガビチョウ

参加者：7名

概要、感想等：

2022年の日野市カワセミハウス環境パネル展に向けたカワセミ生息調査の一環として、長沼橋から平山橋間を歩いた。平山用水取水堰上の貯水池にヒドリガモが数羽集まっていた。モズが目立ち、菜の花の咲いている所では川の魚を捕った。モズが魚を捕るのは珍しい。夏羽のダイサギが1羽いた。ホオジロはオスメスが同じ場所にいた。目的のカワセミには残念ながら出会うことがなかった。

（担当 粕谷 和夫）

○タマノホシザクラを見る会

日時：2022年3月29日（火）9:45～12:35

天気：曇り

コース：南大沢駅から小山内裏公園まで桜並木を徒歩で往復、往き返りの道は別だったが両道ともソメイヨシノが満開寸前で花見が楽しめた。

観察した鳥：19種（ベスト：オオタカ、アオゲラ、コゲラ）

カルガモ、キジバト、オオタカ、コゲラ、アオゲラ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、アオジ、カワラバト（ドバト）、ガビチョウ

参考：確認できた桜は園芸種を含め8種 エドヒガン、オオシマザクラ、コヒガン、ソメイヨシノ（園芸種）、タマノホシザクラ、ヤブザクラ、ヤマザクラ、ヨウコウ（園芸種）

参加者：カワセミ会9名、他に多摩丘陵の自然を守る会2名、由井地区環境市民会議2名

概要、感想等：

小山内裏公園にタマノホシザクラの観察に行った。公園に着くとオオタカが上空に現れて北の方へ飛んで行った。この探鳥会は多摩丘陵の自然を守る会と共催で行ったため、様々な桜の特徴などを同会から説明を受け、コヒガン、エドヒガン、ヤブザクラなどを確認し、本命のタマノホシザクラが咲いている所に行った。この桜は日本で多摩丘陵のみに生育する希少種で2004年に新種として発表された桜である。花卉の基部にあるがくが赤色で目立ち、先端が尖っていることから星の形に見えること、花が平開せず下向きに咲くことなどが確認できた。約10本が満開になっていてその前で記念写真を撮った。



（担当 粕谷 和夫）

○権現尾根と大戸緑地

日時：2022年4月17日（日）8:30～11:55

天気：曇り

行程：JR高尾駅南口発 8:06(館ヶ丘団地行バス)→館ヶ丘団地バス停着 8:22

館ヶ丘団地バス停発 8:30→権現平→段木入の丘→大戸緑地 10:30 発→館ヶ丘団地バス停着 11:55・12:02 発→高尾駅南口 12:18

観察した鳥：29種（ベスト：オオルリ ヤブサメの声 ノスリの声）

オシドリ カルガモ キジバト アオバト トビ ノスリ コゲラ アオゲラ モズ カケス ハシブトガラス ヤマガラ ヒガラ シジュウカラ ツバメ ヒヨドリ ウグイス ヤブサメ エナガ メジロ ルリビタキ オオルリ キセキレイ カワラヒワ イカル ホオジロ アオジ コジュケイ ガビチョウ

参加者：15名

概要・感想等：

予定通り館ヶ丘団地バス停を出発。ウグイスの声を聞きながらなだらかな山道を進む。するとヤブサメがやや弱い声で鳴いた。続いて、遠くでオオルリが鳴いた。みんなで聞き入る。権現平で受付。エナガ、コゲラ、メジロが鳴く。段木入のおかからは都心が微かに見える程度だった。段木入の広場を過ぎようとする、再びオオルリの声が聞こえた。みんなで探す。すると、芽吹き始めの木の天辺にいた。大喜びしながらじっくり観察する。

大戸緑地でトイレ休憩の後、コースを変更して「ヤマドリの谷戸」に行くことにした。残念ながら見られなかったが、ニリンソウの群落が広がり、慰めてくれた。大戸観音堂で鳥合せをした後、館ヶ丘団地バス停に向う。すると、法政大学の校地の外れにある池に、オシドリとカルガモがいた。褒美をもらったような感じだった。

（担当 加藤 岸男）

○大栗川・富士見台公園・松木日向緑地

日時：2022年4月18日（月）8:30～11:05

天気：曇り

場所：京王堀之内駅⇒大栗川橋⇒大栗川左岸を上流へ⇒さんもり橋⇒大石宗虎居館跡⇒富士見台公園⇒松木日向緑地⇒南大沢駅

参加者：会員8名、一般2名 計10名

観察した鳥：27種（ベスト：コガモ、イソヒヨドリ、シメ）

カルガモ、コガモ、キジバト、カワウ、アオサギ、コゲラ、アオゲラ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ、イワツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、ツグミ、イソヒヨドリ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、シメ、イカル、カワラバト（ドバト）、ガビチョウ

概要：

天候が心配だったが、天気予報から午前中は大丈夫と判断し、前日午後に探鳥会は実施する旨連絡をした。当日の集合時刻には10名が集まった。自己紹介の後、早速大栗川へ向かう。左岸沿いの道を歩いていると、ペアのコガモが川岸で休んだり、川の中で採餌したりしているのが見られた。渡去まではまだひと月近くあるだろう。大竹橋近くではツバメやイワツバメが何羽も飛び交っていた。冬鳥、夏鳥と一緒に見られるのもこの時期ならではだ。

突然イソヒヨドリ（オス）が川の中から右岸に飛び上がった。どうも水浴びをしていたようで、体がびしょ濡れだ。緑道の手すりにしばらくとまっていたので、皆でじっくり見ることができた。この後も別個体のイソヒヨドリ（オス）が、左岸のマンションのアンテナ上できれいなさえずりを聞かせてくれた。

さんもり橋で右岸に渡り、大石信濃守宗虎居館跡とされる台地上にある、八王子市天然記念物のサルスベリを見に行く。樹齢は400年以上とのことだが、元の幹はほとんど枯れているようだ。周りから多くのひこばえが生えているので、根はまだ生きているだろう。

富士見台公園でトイレ休憩。これという鳥も出ないまま、展望台に上って周囲を眺める。丘陵部の新緑が濃淡になっていて美しい。冬の晴れた日であれば遠くの山々の景色も楽しめるのだが、春の曇天ではそうもいかない。展望台を降りて都立大学方面へ向かうとしたとき、ツグミの姿を確認。周囲を探すと近くの樹上に10羽ほどのツグミが群れていた。さらに同じ木に数羽のシメも見られた。もう4月も半ば過ぎなので、いずれも渡去間近と思われる。また秋に戻ってくるまでしばしのお別れだ。

都立大学構内の松木日向緑地ではあまり鳥の声はしなかった。途中で、南大沢八幡神

社境内の八王子市天然記念物オオツクバネガシを見に行く。太い幹の中は空洞になっているが、樹勢はなお盛んである。緑地に戻りひょうたん池へ。ここではアオサギを追加した。

南大沢駅近くで鳥合わせを行う。全部で 27 種。ベストはコガモ、イソヒヨドリ、シメとなった。

(担当 佐藤 哲郎)

○川口川右岸谷戸から宝生寺緑地

日時：2022 年 4 月 20 日 (水) 9:45～11:00

天気：曇り

コース：秋川街道森下バス停から川口川右岸の谷戸の静かな里山の道を歩き、宝生寺緑地の中を通り北浅川の陵北大橋まで歩いた。

観察した鳥：13 種 (ベスト：キジ、キセキレイ)

キジ、キジバト、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、コジュケイ、ガビチョウ

参加者：3 名

概要、感想等：

川口川側では 3 か所の田んぼを廻った。うち、1 か所ではキジのオスが田んぼに出ていた。谷戸の寺の屋根にはキセキレイのオスが姿を見せた。レンプクソウ、ウラシマソウ、ヤマブキソウ、イチリンソウなどの野草が花盛り、丘陵地の中のウワミズザクラ、ヤマツツジの花も見事であった。

(担当 粕谷 和夫)

○平山・南平用水でカワセミを探す

日時：2022 年 4 月 25 日 (月) 8:10～11:10

天気：晴れ

コース：平山城址公園駅から平山用水とそれに続く南平用水を八坂神社 (南平) まで歩いた。

観察した鳥：19 種 (ベスト：カワセミ、オナガ、イワツバメ、ツバメ)

カルガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、カワセミ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ツバメ、イワツバメ、ヒヨドリ、セッカ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ

参加者：8 名

概要、感想等：

先ずスタート地の平山城址公園駅から滝合橋の下を通り平山用水取水堰に行った。平山用水取水堰のセイヨウカラシナの花の咲いている所でカワセミを待っているとそこへアオサギが現れた。京王線の下を抜ける地下道にはツバメの巣が 2 つあり、人の目線の高さで抱卵中と見られるツバメの親と対面した。滝合橋の下ではイワツバメの集団が橋下の巣に出入りする姿がまぢかに見えた。

リニューアルされた南平体育館でトイレ休憩、南小学校東側の南平用水路でようやくカワセミに出会えた。ゴールの八坂神社で鳥合わせをしているとオナガの群れがやってきた。

(担当 粕谷 和夫)

○小津からカ石経由 黒沼田田んぼ

日時：2022 年 5 月 17 日 (火) 11:30～13:40

天気：曇り後雨

コース：西東京バスの恩方営業所バス停から小津のモリアオガエルの道に入りカ石峠越えて、カ石の恩方ます釣場でトイレ休憩後黒沼田田んぼの手前まで歩いた。

観察した鳥：21 種 (ベスト：サンコウチョウ、モズ、ホオジロ)

キジバト、トビ、アオゲラ、サンコウチョウ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、ヤブサメ、メジロ、ムクドリ、キ

ビタキ、オオルリ、スズメ、キセキレイ、ホオジロ、コジュケイ ガビチョウ

参加者：5名

概要、感想等：

当初予定の黒沼田田んぼまで行かなかったのは雨が降ってきたために途中で打ち切ったため。小津からカ石峠への道に入った所のスギ林からサンコウチョウの声が聞こえてきた。恩方側の開けた所のカ石でモズ、ホオジロの姿を確認した。小津側のモリアオガエルの道を歩いているとモリアオガエルの声が聞こえてきた。庭に池がある民家に立ち寄るとモリアオガエルの卵塊を網で保護していて、母屋の庇に親が1匹隠れていた。庭の池の水は山裾から湧き水をパイプで引き込んでいるとのことであった。小津のバス終点付近にジャケツイバラが人の目線の高さで満開になっていた。

(担当 粕谷 和夫)

○倉郷田んぼから上柚木公園

日時：2022年5月24日(火) 9:05~11:15

天気：晴れ

コース：下柚木の大学セミナーハウスの中、下柚木緑地の中を歩き、その後で倉郷の田んぼを観察して大栗川に出て上流方向に上柚木公園まで歩いた。

観察した鳥：16種(ベスト：アオゲラ、カワセミ、キセキレイ)

カルガモ、キジバト、カワセミ、アオゲラ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、ムクドリ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、コジュケイ、ガビチョウ

参加者：3名

概要、感想等：

下柚木緑地内は鳥が少なくてアオゲラの声を聞いた程度であった。倉郷の田んぼは代掻きが終わり一面に水が張られていたが、田植えは未だであった。田んぼにはムクドリが来て採餌していた。田んぼの畔付近でカキツバタが花を咲かせていた。大栗川ではカワセミ、カルガモ、キセキレイを観察した。

(担当 粕谷 和夫)

○城山川と田んぼ

日時：2022年6月21日(火) 8:40~11:35

天気：曇り

コース：城山川の不動橋から八王子市役所まで歩いた。具体的には城山川の中流に残る2カ所の田んぼ、共立学園東側雑木林、横川下原公園で観察の後、城山川沿いの道を浅川合流地(市役所)まで。

観察した鳥：23種(ベスト：アオバズク、カワセミ親子、カルガモ親子)

カルガモ、キジバト、カワウ、アオサギ、アオバズク、カワセミ、コゲラ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ、イワツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、コジュケイ、カワラバト(ドバト)

参加者：7名

概要、感想等：

田んぼは田植えが終了しカルガモ2羽が来ていた。カワセミは5カ所で6羽に出合った。うち1カ所は親子で親が巣立ち間もないと思われるヒナに餌を与えていた。カルガモも子連れ1組がいた(親1+子4)。横川下原公園ではアオバズクを観察した。ケヤキの高い所の枝に止まっていた。近くに巣があると思われる。

(担当 粕谷 和夫)

なお、以下の探鳥会については天候などの理由により中止となった。

3/15 谷地川、6/6 向島用水

鳥信 (主として2022年1月~6月)

今期は 634 件が鳥信データベースに登録された。

鳥番号前に「F」が付いているのは、本会 HP の「フォト鳥信」にアップされているものである。

配列は鳥番号(日本鳥学会鳥類目録第7版)順である。

F	番号	鳥名	年/月/日	羽数	観察した場所	状況その他特記事項	観察者	区分	メッシュ
	19	コハクチョウ	2022/1/9	8羽	多摩川・多摩大橋下流	フォト鳥信にも投稿済み。今年もコハクチョウが8羽飛来した。福本健水辺に下り、採餌していた。	福本健	希少	立川0C
F	19	コハクチョウ	2022/1/9	8羽	多摩川・多摩大橋下流	今年も8羽が多摩川に飛来した。昨年は1月8日の定期カウントの時に同じ場所に出合ったが、今年の水辺に下りゆっくりと休み、また採餌していた。	福本健	希少	立川1C
F	19	コハクチョウ	2022/1/12	8羽	日野市 多摩川・多摩大橋下流から上流へ	先日福本さんが写真をアップされたコハクチョウの群れが、定期カウント開始時に飛び立ち、雪を被った奥多摩の山を背景に飛んで行きました。まるで東北の景色かのようなでした。(レンズの画角上、写真には離れて飛ぶ1羽カットし7羽で写っています)	小川圭太	希少	立川0C
	19	コハクチョウ	2022/1/12	8羽	多摩川・JR中央線鉄橋近く	JR中央線橋梁の上流部で休んでいた群れが飛び立ち、上空を少し回りながら上流へ向かって飛び去っていった。	福本健・小川圭太他8名	希少	立川1B
	19	コハクチョウ	2022/1/15	5羽	多摩川・多摩大橋下流約400m	1月9日に多摩川に飛来したコハクチョウ8羽は12日の定期カウントの日に飛び立ち、上流の山並みの方に飛び去ったが、今日5羽のコハクチョウが同じ場所に来ていた。すぐ横で河川工事をしてショベルカーやクレーンが動いていたが、すぐ近くの岸辺でくつろいでいた。先にいた8羽と同じグループかわからない。	福本健	希少	立川0C
	19	コハクチョウ	2022/1/26	8羽	多摩川・多摩大橋下流約500m(左岸側)	1月9日に8羽のコハクチョウの飛来を確認したが、9日に8羽が西の方向に飛び去るのを定期カウントの時にみんなで見た。しかし、12日に5羽のコハクチョウが同じ場所に飛来しており、しばらくいた。24日にまた8羽が来ているとの情報で今日確認したら、少し下流の中州の奥に8羽がいた。9日に見た8羽はすべて親鳥であったが、今回の8羽には若鳥が1羽混じっていたことから同じグループではないようだ。15日の5羽とは同じグループかわかりません。すぐ上流で大きな音を立てて河川工事が行われているが、逃げもせず、水中に首を突っ込み採餌しています。8羽は下流のJR中央線鉄橋近くの下流の方まで移動したりしているとの情報もあり、この様子では、もうしばらくいるのではないのでしょうか。	福本健	希少	立川1C
F	19	コハクチョウ	2022/1/29	8羽	多摩川 多摩大橋下流	じっとしていた鳥が飛び立つ際には、羽繕いを始めたり、鳴き始めるなど、何らかのサインがありますが、このコハクチョウたちは急に横一列に並び、小さな声で意思確認なのか鳴き交わしをして、その後いっせいに飛び立ちました。ほんの200から300m下流へ行っただけです。	小川圭太	希少	立川0C
	19	コハクチョウ	2022/2/28	7羽	多摩川・中央線鉄橋300m上流	7羽のうち幼鳥1羽混ざる。岸辺で青草を食べていた。	粕谷和夫	希少	立川1C
	19	コハクチョウ	2022/3/11	7羽	多摩川・多摩大橋下流	終認。多摩川・多摩大橋下流で越冬していたコハクチョウ7羽が3月11日についていなくなりました。3月10日の夕方には確認できないものの、今日11日には見かけた人はいませんでした。おそらく今日の早朝にシベリアに向けて旅立ったものと思われまます。1月6日に多摩川に8羽が飛来し、飛び去った後に5羽が飛来し、1月24日より若鳥1羽を連れた8羽家族になりました。その後1羽がいなくなりましたが、昨日まで7羽が越冬を続けたこととなります。クレンソンの水草や水草が豊富で餌に困らなかったことから長期逗留になったのでしょうか。旅の無事を祈るとともに、来年も来てくれることを願っています。	福本健	終認	立川1C
	24	オシドリ	2022/5/5	2羽	醍醐林道・恩方第二小学校前	オスメスが醍醐川の水際において、藪の中へ姿を隠してしまっただ。	粕谷和夫他オオルリ他夏鳥調査参加者	行動	五日市7A
	24	オシドリ	2022/6/27 28,29	8羽	川口川・川中橋付近	成鳥メス1羽+幼鳥7羽 6月25日頃、知人から1週間位前、夕方にオシドリの親子(ヒナ7羽と親)を見た、写真を見せられ、翌日(26日)の夕方、川口橋上流から川中橋下流まで探したが見つからなかった。更に次の日(27日)はカメラを持たずに18時半過ぎから川に行き、探していたら19時15分頃、急に川中橋のすぐ下流にいるのが目にとまった。次の日(28日)、同じ時間帯に行き待っていると19時過ぎに同じ場所に現れ、写真を撮った。その後、29日も少し早くから行き、観察していると川口小学校下から下ってくるのを発見し、18時50分頃、川中橋上流で写真を撮影した。ヒナの数は当初から7羽のようであった。その後、7月1日の定期カウントで探したが見つからず、また、7月6日、18時過ぎに行ってみたが見つからなかった。追記: 柚木育子からの報告(7/4川中橋付近でひな7羽連れている。親の3分の2位の大きさになっていた。)	植田益夫	繁殖4	揖島2C ②

26	オカヨシガモ	2022/1/3	21羽	高月浄水場の池	♂13, ♀8。集団で水面採餌をしていた。他にコガモが140羽、粕谷和夫カルガモ5羽、ミコアイサ5、ヨシガモ2、バン1、カイツブリ1	希少	拝島6F	
27	ヨシガモ	2022/1/3	2羽	高月浄水場の池	♂2羽。他にコガモが140羽、カルガモ5羽、ミコアイサ5、オカヨシガモ21、バン1、カイツブリ1	希少	拝島6F	
27	ヨシガモ	2022/1/3	4羽	高月浄水場の池	ヨシガモはオス3メス1でした。この他、高月水田周辺で観察された鳥は以下の通りです。11:05-12:10 晴れ。ミコアイサ♀2、コガモ、マガモ、カルガモ、カイツブリ、オカヨシガモ、オナガガモ、オオバン、タヒバリ6+、カンザダカ15+、モズ、ホウジロ、エナガ、ツミ、オオタカ2、ノスリ、トビ、ダイサギ、オオカワラヒワ7+、ヒヨドリ、ムクドリ、ハシボソガラス	希少	小林克、小林理恵、小林匠 拝島6F	
27	ヨシガモ	2022/1/12	6羽	多摩川・JR中央線鉄橋近く	JR中央線橋梁の上流部で他のカモ類と混じっていた。	福本健・小川圭太他8名	希少	立川1B
27	ヨシガモ	2022/1/13	2羽	北浅川・陵北大橋下流	オス2。	柚木育子	希少	拝島2B
27	ヨシガモ	2022/2/4	2羽	高月浄水場・池	♂1♀1	古山隆	希少	拝島6E
27	ヨシガモ	2022/2/18	4羽	高月浄水場・池	♂2♀2	古山隆	希少	拝島6E
27	ヨシガモ	2022/2/23	2羽	宇津貫緑地の調整池	オス2羽。午後、他にオオバン(1)、カルガモ(2)、マガモ(オス7、メス7)	宇津貫みどりの会	希少	八王子6E
27	ヨシガモ	2022/3/1	3羽	高月浄水場の池	♂2・♀1。他にオカヨシガモ10、マガモ110、コガモ80、カルガモ15、ハシビロガモ2、カイツブリ1、オオバン20、ダイサギ1	粕谷和夫	希少	拝島6F
F 27	ヨシガモ	2022/3/1	2羽	高月浄水場の池	この日、ヨシガモは3羽いて、うち2羽がペアになっていた。粕谷和夫近くにオカヨシガモは10羽いた。	粕谷和夫	希少	拝島6F
28	ヒドリガモ他	2022/2/20	17羽	浅川・ふれあい橋上流(日野市高幡)	ヒドリガモ7羽(オス4羽・メス3羽)、コガモ5羽(オス4羽・メス1羽)、カルガモ17羽、(カモ以外は、カワセミ1羽、カワウ1羽、ハクセキレイ1羽、セグロセキレイ3羽)。向島用水堰の工事が今日は日曜日で休工期。半分ほど完成した堰により、川幅がだいぶ広がったため、カモたちが羽を休めていました。	小川圭太	行動	武蔵府中3K
28	ヒドリガモ	2022/2/20	4羽	浅川・滝合小学校対岸の堰	堰の中にヒドリガモが4羽いた	山崎久美子	行動	武蔵府中0G
28	ヒドリガモ	2022/4/2	4羽	浅川右岸・高幡橋とふれあい橋の間	雄3羽、雌1羽。餌取り後、流れに漂っていた。写真あり	岡本昭子	行動	武蔵府中3K
30	マガモ	2022/2/20	6羽	浅川・滝合小学校対岸の堰	堰の中にマガモが6羽いた	山崎久美子	行動	武蔵府中0G
F 30	マガモ	2022/2/23	4羽	石橋入り緑地の池	今まではカルガモやダイサギくらいしかいた記憶がありませんが、この冬は度々マガモがいるところを目にしました。2羽のことが多かったのですが、今回は4羽。エサも何もなさそうな所ですが、静かで気に入ったのでしょうか。	浜野知恵子	行動	八王子8F
32	カルガモ	2022/5/13	13羽	大栗川：新道橋下流側	9:50頃。親1羽、ヒナ12羽。生まれて数日と思われるヒナと親鳥が右岸沿いを泳いだり、護岸に上がったりしていた。	佐藤哲郎	繁殖②	4武蔵府中2F
F 32	カルガモ	2022/5/21	8羽	城山川・五反田橋上流側(昨年と同じ場所付近)	親1+雛7羽?。カルガモの雛を確認、普段カルガモは人の気配にほぼ無関心だが、子連れのためか人影に気付くと草陰に隠れて姿を全く見せなくなりました。	荻島伸介	繁殖②	4八王子5K
32	カルガモ	2022/5/26	10羽	浅川右岸・一番橋の下流約400m	親と雛9羽。中州の岸に沿って下流へ移動し奥の草陰に入った。	岡本昭子	繁殖②	4武蔵府中2K
F 32	カルガモ	2022/6/1	7羽	湯殿川	カルガモの親子(親1+子6)が稲荷橋とかたくり橋の間について、滝のようになっている段差工の上に登った親を指して何回も登りに挑戦していたが途中で滑り落ちてしまった。	粕谷和夫	繁殖②	4八王子6G
32	カルガモ	2022/6/9	8羽	浅川右岸・山田川合流点	8時頃。8羽(親1、子7)。親カルガモのまわりを子カルガモ7羽がついて泳ぐ。山田川へ泳いでいった。	佐藤哲郎	繁殖②	4八王子8H
37	トモエガモ	2022/2/4	1羽	高月浄水場・池	♀1	古山隆	希少	拝島6E
38	コガモ	2022/1/4	4羽	陵南プール(南浅川右岸)	4羽♂。12:00頃。プールサイドに♂のみ4羽いました。毎年、南浅川では10月には初認出来るのですが今シーズンは年明けとなりました。南浅川では、確認できていません。	中山尊人、中山千晶	行動	八王子4H
F 38	コガモ	2022/1/10	2羽	城山川・五反田橋下流側	この寒い時期にコガモの交尾を観察しました。妙な雰囲気。雄・雌2羽のコガモが3~4秒間のマウント終了後に雌が翼を羽ばたかせたのが印象的でした。	荻島伸介	行動	八王子5K
38	コガモ	2022/3/5	1羽	高月浄水場・池	亜種コガモ×亜種アメリカコガモの雑種♂	古山隆	希少	拝島6E
38	コガモ	2022/3/29	+30羽	南大沢・柳沢の池	ピューピューと声があるので見てみると、小さな池にコガモがたくさんいた。	山崎久美子	行動	武蔵府中0D
38	コガモ	2022/4/2	4羽	浅川右岸・高幡橋とふれあい橋の間	2組(雄2, 雌2)。一組づつで漂っていた。写真あり	岡本昭子	行動	武蔵府中3K
46	キンクロハジロ	2022/1/1	2羽	長池公園	15:30。長池公園築池のカルガモの中に2羽いて元気に泳いでいた。	市村緑	希少	武蔵府中1C
46	キンクロハジロ	2022/2/4	1羽	高月浄水場・池	♂1	古山隆	希少	拝島6E
46	キンクロハジロ	2022/2/18	1羽	高月浄水場・池	♀1	古山隆	希少	拝島6E
46	キンクロハジロ	2022/2/28	1羽	多摩川・中央線鉄橋100m上流	コガモ他のカモの群れの中にメス1羽	粕谷和夫	希少	立川1C
57	ホオジロガモ	2022/1/3	2羽	浅川と多摩川の合流地点	雌1、雄エクリプス1。時々潜って採餌していた。やがて我々が帰るときに下流(四谷橋)方向へ移動。写真あり	岡本昭子、岡本昭男	希少	武蔵府中5J

58	ミコアイサ	2022/1/3	5羽	高月浄水場の池	♂2、♀型3。他にコガモが140羽、カルガモ5羽、ヨシガモ2、粕谷和夫オカヨシガモ21、バン1、カイツブリ1	希少	拝島6F
58	ミコアイサ	2022/2/4	8羽	多摩 多摩川滝山城跡下	♂3、♀5 昭和用水堰 上流側	多摩川滝山城跡下定期C(古山)	希少 拝島6E
58	ミコアイサ	2022/2/8	5羽	高月浄水場の池	11時～。オス2 メス3。ずっとうと昼寝中	加藤岸男	希少 拝島6E
F 58	ミコアイサ	2022/2/9	+4羽	高月浄水場	オス4羽、メス不明。朝はメスしかいなかったのに、夕方にはオス4羽が混じていた	井上京子	希少 拝島6E
F 64	カンムリカイツブリ	2022/4/24	1羽	多摩川・立日橋下流	カンムリカイツブリが1羽ぼつりと泳いでいた。夏羽に変身していた。	福本健	希少 立川2B
74	キジバト	2022/4/25	2羽	自宅(高尾町)	15時20分頃。自宅、餌のない餌代に降りてきたもの。水だけ飲んですぐに飛び去った。	福本順吉	行動 八王子2G
F 74	キジバト	2022/6/8	1羽	長池公園	キジバトはニワトコの赤く熟した実が好きだとのこと、人が近づいても逃げずに食べて続いていた。	粕谷和夫	行動 武蔵府中1C
78	アオバト	2022/4/19	+1羽	小宮公園	毎年春と秋に鳴き声を聞く。今年も小宮公園西側で鳴き声が聞こえた。	井上京子	希少 拝島7A
78	アオバト	2022/5/1	1羽	高尾山・大平林道大垂水峠分岐先	遠くで鳴いていた。	加藤岸男他カウント参加者	希少 与瀬8E
78	アオバト	2022/5/2	2羽	高尾山・6、3号路	遠くで鳴いていた。	菅野桂子他カウント参加者	希少 八王子0E
137	ミゾゴイ	2022/5/	声	自宅(下恩方町)周辺他	自宅付近1か所 小津林道3か所	清水盛通	希少 拝島0A 他
137	ミゾゴイ	2022/5/20	1羽	高尾・初沢山	5/20・5/21。夜7時半ごろから9時ごろまで、暗闇の中ボー・ボーとリズムカルな鳴き声で、繰り返し鳴き声が聞こえた。音源を取り、会長・古山・加藤・浜野さんに確認してもらった。	関谷 孝	希少 八王子2F
139	ゴイサギ	2022/5/5	1羽	浅川左岸・長沼上流(さいかち池)	9:50頃。幼鳥。幼鳥(ホシゴイ)がさいかち池上空を飛んで、池北側の茂みに入る。	佐藤哲郎	行動 八王子9H
141	ササゴイ	2022/5/20	1羽	浅川右岸・一番橋の上流	一番橋の上流、水門の少し下流。足許の岩に止まっていたところ、ダイサギが首を伸ばして近づいてきたので、落ち着かず、対岸へ移り、さらに下流左岸側へ飛んでいった。	岡本昭子	希少 武蔵府中1J
F 143	アマサギ	2022/6/3	1羽	高月水田	今年もアマサギやってきた。隣りの右側に写っているアオサギが出迎えているような感じであった。	粕谷和夫	通過 拝島6F
144	アオサギ	2022/3/29	20巢	多摩動物公園内	コロニー。多摩動物公園内(主にアフリカ園周辺で多く見られた)。数年前からよく知られているようですが、今回初めて気づいたので報告します。一本の木に20個ほど作られたコロニーもあり、抱卵中と思われる姿も確認しました。フォト鳥信に写真をアップしましたのでご興味がありましたらご覧ください。	高橋靖乃	繁殖5 ① 武蔵府中1G
F 144	アオサギ	2022/3/29	+8羽	多摩動物公園(主にアフリカ園周辺)	アオサギ個体数8羽+α、巢の数35個+α。アオサギは巢や枝の上、建物の屋根の上など園内の広範囲で見られた。また抱卵中と思われる姿も複数見られた。巢の数は多い木で20個ほど確認できた。	高橋靖乃	繁殖5 ① 武蔵府中2H
144	アオサギ	2022/4/10	+10羽	陣馬街道切通バス停付近	北浅川・陵北大橋手前の陣馬街道切通バス停付近のアオサギコロニーには今年もアオサギが10羽くらい来ていて営巣が始まっていた。ダイサギも1羽混ざっていた。	粕谷和夫	繁殖4 ③ 拝島2B
F 146	ダイサギ	2022/1/16	6羽	日野市 浅川 ふれあい橋上流	(6羽のうち、写真は2羽)。堰の修復工事現場で堰き止められ流れが滞留している浅川にてサギ、カワウが集まっている。ダイサギの6羽のうち5羽は同じグループで、1羽は違う様子。5羽グループの中でも攻撃的な1羽がいて、他の1羽が近づくとしつこく攻撃していた。攻撃するサギの脚をくちばして啜って抵抗している様子。	小川圭太	行動 武蔵府中3K
146	ダイサギ	2022/1/29	32羽	浅川・浅川橋付近	7:40 上流側から下流側へ群れで上空通過	古山隆	行動 八王子6K
F 146	ダイサギ	2022/4/2	1羽	湯殿川・時田大橋上流側	ユキヤナギの花の下にダイサギ、カワウ、コガモの3種が集まった。	粕谷和夫	行動 八王子7G
148	コサギ	2022/4/2	25羽	浅川右岸・高幡橋とふれあい橋の間	近頃見なかったコサギですが、幾つかの小群れで対岸の岸、中州、浅瀬などで休んでいた。繁殖羽が風になびいていた。写真あり	岡本昭子	行動 武蔵府中3K
F 148	コサギ	2022/4/2	2羽	日野市 浅川ふれあい橋上流	2羽のうち、1羽が婚姻色で目元と指先がピンク色でした。1羽は通常の黄色でした。	小川圭太	行動 武蔵府中3K
F 163	クイナ	2022/1/9	1羽	浅川石田橋上流左岸	オオバンと共に水門近くで行動。普段草むらに潜んでなかなか見ることができないクイナですが、開けた場所で捕食する場面を見ることができました。	小川圭太	希少 武蔵府中3K
F 163	クイナ	2022/2/13	1羽	湯殿川・稲荷橋下流	クイナは、夜行性のためか曇天の日に遭えました。水岸近くに想像していたより小さい印象のクイナが泳いだり、潜ったり、餌(ミズ?)を食べたり活発に行動していました。	荻島伸介	希少 八王子6G
F 163	クイナ	2022/3/10	1羽	城山川・住宅北前(上り側バス停)	城山川でのクイナの確認は初めてです。	荻島伸介	希少 八王子4K
166	クイナ	2022/1/9	1羽	浅川・新井橋上流左岸(日野市石田)	クイナ1羽・オオバン3羽・コサギ2羽。浅川石田橋上流左岸。昨日の一斉調査で小魚が群れている箇所があったので今朝確認に行ったところ、オオバンと共にクイナがおり、小魚を獲っていた。またコサギも2羽飛来し同じ場所で魚を捕食していた。	小川圭太	希少 武蔵府中3K
166	クイナ	2022/1/9	1羽	多摩 多摩川滝山城跡下	昭和用水堰 下流側 鳴き声が聞こえる	多摩川滝山城跡下定期C(古山)	希少 拝島6E

					山)			
166	クイナ	2022/2/4	1羽	谷地川・新旭橋下流	水辺の草むらにいたが隠れてすぐに見えなくなった	福本健他数名	希少	立川 0C
166	クイナ	2022/2/26	1羽	多摩川左岸・多摩大橋上流くじら運動公園下流	くじら運動公園下流、河原のワンド。藪に囲まれた狭い沼状のワンドを歩いているところが観察された。	小林 克、小林 理恵、小林 匠	希少	立川 0D
166	クイナ	2022/2/27	1羽	湯殿川・由井第3小学校上流 500m付近	枯れヨシ株の根本付近の水辺に居るのを確認したが直ぐヨシ原に入る。	門口一雄	希少	八王子 6G
166	クイナ	2022/3/10	1羽	城山川・「住宅北」上りバス停前	右岸に近い川の中で採餌しているのを確認したが、人の気配を感じたのか右岸側の草陰に飛び込んだので、待っていると再び出て来て採餌を再開した。	荻島伸介	希少	八王子 4K
166	クイナ	2022/3/19	1羽	浅川・一番橋下流約 50mの支流	水際の草に隠れ移動しながら採餌し、時に草陰から姿を現すが急いでまた草陰に身を隠していた。写真:有	岡本昭男	希少	武蔵府中 1J
F 166	クイナ	2022/3/23	1羽	八王子市	もう旅立ったかと思っておりましたが健在でした。クイナを撮って見るとゴミと一緒に映り使えない写真が多いです。何で川にゴミを捨てるんでしょうか。	村山和夫	希少	八王子 6G
F 166	クイナ	2022/3/28	1羽	南浅川五月橋と睦橋の間あたり	南浅川では珍しいと思います。	山浦秀雄	希少	八王子 4J
166	クイナ	2022/4/2	1羽	湯殿川・稲荷橋下流側	ツルヨシの株元で見え隠れ	粕谷和夫他湯殿川定期カウント参加者	希少	八王子 6G
166	クイナ	2022/4/8	1羽	多摩川・谷地川合流部	水辺の草むらにいたが隠れてすぐに見えなくなった	福本健・小川圭 太他 5名	希少	立川 0C
168	ヒクイナ	2022/4/19~	1羽	北浅川・陵北大橋付近	声を録音した。時々ドローンを飛ばしている人あり。5/5 はの朝はルアーフィッシングをしている人がいて、この間もいたと思われるが声がしなかった。	袖木育子	希少	拝島 2B
170	ヒクイナ	2022/4/23	1羽	北浅川・陵北大橋下流側右岸	川岸のヨシ等の湿地 5:20~5:50「コッ・コッ…」の鳴き声(おの囀り)が連続して聞こえる	古山隆	希少	拝島 2B
174	バン	2022/1/3	1羽	高月浄水場の池	フェンス越にカモの写真を撮っていると眼の前に近づいてきて、採餌を始めた。	粕谷和夫	希少	拝島 6F
F 174	バン	2022/1/6	1羽	南浅川五月橋と睦橋の間あたり	幼鳥。珍しくバンに会いました。	山浦秀雄	希少	八王子 4J
174	バン	2022/2/23	1羽	南浅川・五月橋上流	15:00頃。カルガモと一緒にいました。ここ数年観察できませんでした。久々の観察となりました。	中山尊人、中山千晶	希少	八王子 4J
174	バン	2022/4/2	1羽	湯殿川・釜土橋から大橋の間	ツルヨシの株元で見え隠れ。近くにオオバン 1羽もいた。	粕谷和夫他湯殿川定期カウント参加者	希少	八王子 6G
174	バン	2022/4/2	1羽	浅川・浅川橋	浅川橋直下、左岸の水辺を行動していた。	定期 C(宮越)	希少	八王子 6K
175	オオバン	2022/1/1	3羽	浅川・滝合小学校対岸の堰	水門出口と堰の間で3羽が泳いでいた。	山崎悠一、山崎久美子	行動	武蔵府中 0G
175	オオバン	2022/1/8	4羽	浅川・滝合小学校対岸の堰		山崎悠一、山崎久美子	行動	武蔵府中 0G
175	オオバン	2022/1/10	1羽	北浅川・元木橋上流~小田野公園の間	オオバン 1、マガモ 10+、カルガモ 12+。北浅川・元木橋上流~小田野公園の間 オオバン、マガモ、カルガモが上流・下流をいったり来たりしていた。	中村后子	行動	拝島 1B
175	オオバン	2022/1/12	114羽	多摩川・JR 中央線鉄橋近く	カモ類がたくさんいるそばにオオバンが多数分散して採餌などの活動していた。	福本健・小川圭 太他 8名	行動	立川 1B
175	オオバン	2022/2/6	3羽	浅川・滝合小学校対岸の堰	水門出口と堰の間で3羽が泳いでいた。	山崎悠一、山崎久美子	行動	武蔵府中 0G
175	オオバン	2022/3/17	2羽	湯殿川・釜土橋付近	2羽居たがかなり離れて泳いでいた。	市村 緑他会員 1名	行動	八王子 6G
175	オオバン	2022/4/2	1羽	浅川右岸・高幡橋とふれあい橋の間	しきりに水に潜って餌取りをしていた。写真あり	岡本昭子	行動	武蔵府中 3K
175	オオバン	2022/4/8	40羽	多摩川・JR 中央線鉄橋近く	カモ類は多くが去ったが、オオバンはまだ群れを成し採餌していた。	福本健・小川圭 太他 5名	行動	立川 1B
175	オオバン	2022/4/10	2羽	浅川・滝合小学校対岸の堰	水門の堰で2羽が泳いでいた。	山崎悠一、山崎久美子	行動	武蔵府中 0G
175	オオバン	2022/5/6	9羽	多摩川・JR 中央線鉄橋近く	カモ類はカルガモ以外全て去ったが、オオバンはまだ小さい群れを成し採餌していた。	小川圭太他 6名	行動	立川 1B
175	オオバン	2022/6/3	2羽	高月浄水場の池	未だ 2羽が池にいた。越夏するか?	粕谷和夫	行動	拝島 6E
185	ホトギス	2022/5/17	1羽	高尾山もみじ台まき道	もみじ台まき道から山頂近く。ホタルカズラの花を観察中「トッキョキョカキョク」が聞こえ皆で楽しんだ	門倉美登利・高尾山ツアー参加者 16名	行動	与瀬 9E
185	ホトギス	2022/5/20	1羽	自宅・都立長沼公園方向からの声	鳴き声を以後毎日の朝に聴いている。	山崎悠一、山崎久美子	行動	八王子 9G
185	ホトギス	2022/5/23	1羽	自宅(八王子市別所2丁目)	20:15頃。声。自宅にいたところ、外からホトギスの声が聞こえた。今季初認。	佐藤哲郎	行動	武蔵府中 2E
185	ホトギス	2022/5/26	2羽	滝山城跡	11頃。2羽?(3か所で声を聴く)	門倉美登利渡	行動	拝島 6D

				滝山城跡(千畳敷・本丸付近)	辺悦子他25名		
185	ホトトギス	2022/5/30	1羽	多摩川・JR 中央線鉄橋 付近	やっとホトトギスの鳴き声を聞くことができた。鳴きながら木から木へ移動していた。	福本健	行動 立川2B
185	ホトトギス	2022/5/31	1羽	鍵水神子の沢公園北側 遊歩道付近	(声のみ)。早朝(3時~4時半位)かなりの至近距離で囀っていたのでその声で目が覚めた。2~3年位前から同じ様な時間帯にこの場所で囀っている日があるが姿が中々見えない。	市村緑	行動 八王子 9D
185	ホトトギス	2022/6/2	1羽	金比羅山中腹	ホトトギス1初認 13時26分頃 日付:5月29日「日」と6月2日9時10分頃。その他:ウグイス1	福本順吉	行動 八王子 2G
185	ホトトギス	2022/6/2	2羽	高尾山・6、3号路	近く遠くで鳴きながら飛びまわっていた。	管野桂子他カ ウント参加者	行動 八王子 0E
185	ホトトギス	2022/6/12	声	自宅(高尾町)	AM4時頃。自宅前金比羅山中腹あたりから声が聞こえた。ウグイス1羽、自宅前金比羅山朝から鳴いていた。ツバメ1羽、国道金子酒店前電線 AM11時30分頃	福本順吉	行動 八王子 2G
185	ホトトギス	2022/6/14	声	自宅(高尾町)	AM7時ごろ。朝ポストに新聞鳥に行ったとき金比羅山中腹西側付近から声が聞こえた。他ウグイス1羽、自宅前金館裏やぶの中あたりで鳴いていた。ガビチョウ1羽金比羅山から声が聞こえた。	福本順吉	行動 八王子 2G
185	ホトトギス	2022/6/26	声	自宅(高尾町)	6/21AM5時22分頃。暑くて窓開けて寝ていた時に金比羅山から声が聞こえた。コジュケイも同時刻に声。6/26AM4時36分頃。暑いため窓開けて寝ていた時に金比羅山中腹から聞こえた。ガビチョウ、ウグイス西側駐車場付近から声が聞こえた。	福本順吉	行動 八王子 2G
187	ツツドリ	2022/4/28	声	南高尾・中沢川途中	13:39。夏鳥調査の折り返し地点で、遠くでの鳴き声を確認。	浜野建男、浜 野知恵子	行動 八王子 0D
187	ツツドリ	2022/5/1	1羽	小下沢林道・関場峠手 前	10:40頃。夏鳥調査中 鳴き声を聴くことが出来ました。	中山尊人、中 山千晶	行動 与瀬 6J
187	ツツドリ	2022/5/5	声	醍醐林道のににく沢出 合いの手前	声を聞く、1カ所なので1羽と思われる。	粕谷和夫他オ オルリ他夏鳥 調査参加者	行動 五日市 4B
187	ツツドリ	2022/5/9	声	小仏城山山頂	12時頃。小仏城山山頂茶屋の木。ポーポーと鳴いていました。雨が降りそうな肌寒い日でした。	門倉美登利他 高尾山ボラン ティアガイド 15 名	行動 与瀬 7F
189	ヨタカ	2022/5/	声	自宅(下恩方町)付近	早朝自宅付近にて鳴き声を聞く	清水盛通	希少 拝島 0A
189	ヨタカ	2022/5/7	1羽	小津・熊野神社付近	鳴き声	古山隆	希少 五日市9A
193	ヒメアマツバメ	2022/4/23	3羽	浅川・高幡橋	高幡橋周辺を飛び回っていました	浜田早苗	行動 武蔵府中 2K
F	202 イカルチドリ	2022/2/27	3羽	日野市 浅川 ふれあい 橋上流	浅川の中洲にイカルチドリが3羽いたので、しばらく観察しました。想像ですが、つがいとそれにちよっかいを出す1羽のようで、時々その1羽を追い払うように川を飛び交っていました。また、気の強さは天下一品のセグロセキレイも自分のテリトリーにきたイカルチドリが気になるようで、時折バトルを仕掛けるそぶりをしていました。	小川圭太	行動 武蔵府中 3K
	203 コチドリ	2022/3/24	1羽	浅川・一番橋下流約 200mほどの河原	時々鳴きながら水際の石ころの上を歩いていた。写真:有	岡本昭男	初認 武蔵府中 1J
	203 コチドリ	2022/4/2	2羽	浅川右岸・高幡橋とふ れあい橋の間	時々鳴きながら飛んだ。写真あり	岡本昭子	行動 武蔵府中 3K
F	203 コチドリ	2022/4/2	22羽	北浅川・松枝橋上流側	右岸側を2羽のコチドリが探餌しながら通り過ぎました。	荻島伸介	行動 拝島 4B
	203 コチドリ	2022/4/5	4羽	高月水田	4羽が田んぼの同じ場所で鳴き交わしながら探餌していた。	粕谷和夫	行動 拝島 6F
	203 コチドリ	2022/6/3	4羽	高月水田	水が張られて田植が始まった田んぼで探餌していた。	粕谷和夫	行動 拝島 6E
	219 タシギ	2022/2/13	1羽	浅川・萩原橋上流側	右岸 上流側から飛んできて河原に降りる	古山隆	行動 八王子 7K
	219 タシギ	2022/3/9	4羽	浅川:長沼橋~中央線 鉄橋中間	7:40頃。川の浅瀬に4羽が集まってじっとしていた。このあたりでは珍しい。	佐藤哲郎	行動 八王子 9H
	239 クサシギ	2022/1/9	1羽	多摩 多摩川滝山城跡 下	水管橋 下流側	多摩川滝山城 跡下定期 C(古 山)	行動 拝島 7D
	239 クサシギ	2022/5/2	1羽	浅川。萩原橋-浅川橋間	中州で行動していた。	定期 C(宮越)	行動 八王子 6K
	241 キアシシギ	2022/4/30	5羽	浅川右岸・一番橋上流 約100m	一番橋上流約100mの道。乾いた大きな中州の岸に並んで眠っていた。3羽いた所へ2羽がついさき飛んできたばかりと聞きました。やがて1羽が目覚めて探餌しだし、他のも覚める気配でした。	岡本昭子	通過 武蔵府中1 J
F	241 キアシシギ	2022/5/6	2羽	浅川:大和田橋上流側	岩の上で2羽のキアシシギがのんびりしていました。	佐藤哲郎	通過 八王子 7K
F	241 キアシシギ	2022/5/7	3羽	浅川:浅川橋下流	キアシシギが3羽「ピーピーピー」と大きな鳴き声を上げながら飛び回っていました。	荻島伸介	通過 八王子 6K
	244 イソシギ	2022/3/17	1羽	湯殿川・釜土橋上流右 岸	しきりに何かを採餌していた。この場所で見たのは初めてでした。(フォト鳥信にも投稿済み)	市村 緑他会 員1名	行動 八王子 6G
F	244 イソシギ	2022/3/17	1羽	湯殿川釜土橋上流右岸	カオグロガビチョウに会いたくて歩いているとイソシギに出会えました。	市村緑	行動 八王子 6G
	244 イソシギ	2022/4/5	2羽	浅川右岸・高幡橋下流、	雨後の水量が減りつつあり、中州が現れ出したところで1羽が	岡本昭子	行動 武蔵府中

			桜並木の堤	頻りに採餌中。その少し上流の石の上からもう一羽がそれを見ていた。		2K	
F	339	ミサゴ	2022/1/4	1羽 多摩川・日野用水堰	ミサゴとオオタカのお気に入りの立ち木です。	田中博之	行動 拝島 8C
F	339	ミサゴ	2022/1/18	1羽 多摩川・中央線鉄橋下流側	下流方向に飛んで行ったミサゴが大きな魚を掴んで戻ってきた。	粕谷和夫	行動 立川 2B
	339	ミサゴ	2022/2/23	1羽 浅川・一番橋下流側	下流方面に直線的に飛んで行った	粕谷和夫他地元発見探鳥会	行動 武蔵府中 1K
	339	ミサゴ	2022/3/13	1羽 浅川・一番橋と平山橋の間付近上空	上流方面から飛んできて、一度旋回してから下流方向に飛び去った。写真:有	岡本昭男、岡本昭子	行動 武蔵府中 1J
F	339	ミサゴ	2022/4/30	2羽 多摩川・日野橋付近	2羽のミサゴが旋回しながら近づいたり離れたりしながらエサの魚を探していた。2羽同時に見るのは久しぶりだ。	福本健	行動 立川 3B
	339	ミサゴ	2022/6/10	1羽 多摩川・谷地川合流部	ミサゴがゆっくり飛んでいて、ホバリングし飛び込んだが狩りに失敗した	福本健・小川圭太他 8名	行動 立川 1C
F	342	トビ	2022/1/12	1羽 日野市 多摩大橋下流谷地川合流部付近	尾羽が1枚もないため最初は何かわかりませんでしたが、よく観察するとトビでした。	小川圭太	行動 立川 0C
	342	トビ	2022/6/2	1羽 高幡不動駅南口	8:00 駅前上空 旋回 ここで出現するのは珍しい	古山隆	行動 武蔵府中 3J
	354	ツミ	2022/2/6	1羽 北浅川・松枝橋下流側約 600m	松枝橋下流側約 600m の右岸側の高い木。20~30m 程度の高い木の枝に留まっていたが、スコープ他で眉斑が無いことなどを確認した。	荻島伸介他定期カウント参加者 3名	行動 拝島 4A
	354	ツミ	2022/3/4	1羽 多摩川・谷地川合流部	ハシボンガラスにまとわれながら上空を飛んでいた。	福本他 9名	行動 立川 0C
	354	ツミ	2022/3/9	1羽 浅川左岸さいか池北側の林	7:30 頃。メス。右岸側から対岸の樹上にとまっているのを確認。胸の模様(細い横斑、赤味なし)、眼の色(黄色)からメスと思われる。	佐藤哲郎	行動 八王子 9H
F	354	ツミ	2022/3/17	2羽 八王子市	(雄雌)。毎年、この場所で繁殖しています。鳴きながら追いかけていました。	村山和夫	繁殖 4 八王子 6H ⑤
F	354	ツミ	2022/3/20	2羽 八王子市	(雄雌)鳴き声で気がつきました。高い樹上で交尾していました。	村山和夫	繁殖 4 八王子 2H ⑤
F	354	ツミ	2022/4/6	1羽 浅川左岸・北浅川と南浅川合流部付近	左岸側の樹木に飛来し、暫くして上流側に飛び去った。	荻島伸介	行動 八王子 5K
	354	ツミ	2022/4/8	1羽 多摩川・谷地川合流部	遠方であったが、単独で飛翔。	福本健・小川圭太他 5名	行動 立川 0C
	354	ツミ	2022/4/12	1羽 高幡不動駅南側	三沢1丁目 東から西方向 上空通過	古山隆	行動 武蔵府中 3J
F	354	ツミ	2022/4/23	2羽 八王子市(営巣中のため詳細非公開)	(♂と♀)。暑さのためか水浴びを観察できました。水浴びの後は時間をかけて羽繕いを行い、羽根が乾くと営巣中の木に戻り、暫くすると雄が出てきました。	荻島伸介	行動 八王子
F	354	ツミ	2022/6/2	2羽 八王子市	(オス+メス)。ツミがカラスに追われていた。しばらくその付近を観察していると、メスが食事とおよび食後にそれぞれ 1 回交尾した。近所で営巣する(している)と思われる。(以上は 2022/5/14)	岡田浩郎	行動
	354	ツミ	2022/6/26	3羽 八王子市立柏木小学校校舎裏の雑木林	16:20 ごろ。幼鳥 3。カツラの街路樹にツミの巣を発見。周囲を見渡すと、近くの雑木林の枝に雛が3羽止まっていた。雛は、多少の間隔を取って離れていて、親の帰りを待っている様子であったが、親の気配は感じられなかった。雛は、一定の場所からほとんど動くことはなかった。	沖山吉和	繁殖 5 武蔵府中 ⑤ 0C
	354	ツミ	2022/6/29	4羽 市民の森公園(日野市)	広場のケヤキに営巣中のツミのヒナ 5 羽が数日前無事巣立った。朝公園に行くと 4 羽の幼鳥が木から木へと飛び回っていた。昨年と同じ場所で 5 羽が巣だった。来年も期待できる。	福本健	繁殖 5 立川 2B ①
	355	ハイタカ	2022/1/12	1羽 多摩川・谷地川合流部	ハシボンガラスにしつこく付きまとわれながら上空を飛んでいた。	福本健・小川圭太他 8名	行動 立川 0C
F	355	ハイタカ	2022/2/4	2羽 八王子市 上柚木神明神社上空	2羽のハイタカが 12 時と 6 時の位置関係を保ったまま、上柚木神明神社の上空をあとという間に舞い上がり、最後は見失ってしまった。	岡田浩郎	行動 八王子 9D
	355	ハイタカ	2022/2/4	1羽 多摩 多摩川滝山城跡下	♂1 昭和用水堰 下流側 上空通過	多摩川滝山城跡下定期 C(古山)	行動 拝島 6E
	355	ハイタカ	2022/3/2	1羽 豊田公園近くの浅川上空	浅川下流から飛んできて上流方向に飛び去った。写真:有	岡本昭男	行動 武蔵府中 1J
F	356	オオタカ	2022/1/2	1羽 浅川・大和田橋上流側	猛禽らしき鳥が浅川に降りたが、後ろ向きで種名が確認出来なかったが、直ぐに飛び立てて旋回を始め、徐々に遠くに飛び去った。	荻島伸介	行動 八王子 7K
	356	オオタカ	2022/1/8	1羽 湯殿川・白旗橋下流側	ハトを追いかけながら飛翔	粕谷和夫他湯殿川定期カウント参加者	行動 八王子 5F
	356	オオタカ	2022/1/8	1羽 鶴巻橋上流側約 100m 付近、及び北浅川・城山川合流付近	幼。鶴巻橋上流側約 100m 付近の樹木内にオオタカ幼鳥を確認した。その後、同じ個体と思われるオオタカが北浅川と城山川合流付近でカワセミに対して狩りを行い、狩りが失敗したの	荻島伸介他冬鳥一斉カウントメンバー(山浦)	行動 八王子 5K

				を目撃しました。補足説明:冬鳥一斉調査開始前の7.45頃、鶴巻橋上流側約100m付近の左岸側2m程度の落葉樹内に飛び込む猛禽らしき鳥を目撃、冬鳥一斉調査の開始時間を過ぎても樹木内部にとどまり、スコープにてオオタカ(幼鳥)と同定した。調査を開始して暫くして、鶴巻橋より上流側約1200m付近右岸のケヤキの大木上部に褐色で背を向けてとまっている猛禽らしき鳥を観察中、突然飛び立ち旋回して我々の目の水面近くを上流側から下流側に横切った瞬間、カワセミが僅かな隙間から逆方向に飛び去るのを目撃した。この瞬間を目撃した事で、朝一番に観察した同一個体と思われるオオタカがカワセミの狩りに失敗したと確信しました。	鶴巻橋上流側約100m付近の左岸側2m程度の落葉樹内に飛び込む猛禽らしき鳥を目撃、冬鳥一斉調査の開始時間を過ぎても樹木内部にとどまり、スコープにてオオタカ(幼鳥)と同定した。調査を開始して暫くして、鶴巻橋より上流側約1200m付近右岸のケヤキの大木上部に褐色で背を向けてとまっている猛禽らしき鳥を観察中、突然飛び立ち旋回して我々の目の水面近くを上流側から下流側に横切った瞬間、カワセミが僅かな隙間から逆方向に飛び去るのを目撃した。この瞬間を目撃した事で、朝一番に観察した同一個体と思われるオオタカがカワセミの狩りに失敗したと確信しました。	鶴巻橋上流側約100m付近の左岸側2m程度の落葉樹内に飛び込む猛禽らしき鳥を目撃、冬鳥一斉調査の開始時間を過ぎても樹木内部にとどまり、スコープにてオオタカ(幼鳥)と同定した。調査を開始して暫くして、鶴巻橋より上流側約1200m付近右岸のケヤキの大木上部に褐色で背を向けてとまっている猛禽らしき鳥を観察中、突然飛び立ち旋回して我々の目の水面近くを上流側から下流側に横切った瞬間、カワセミが僅かな隙間から逆方向に飛び去るのを目撃した。この瞬間を目撃した事で、朝一番に観察した同一個体と思われるオオタカがカワセミの狩りに失敗したと確信しました。		
356	オオタカ	2022/1/8	1羽	浅川・大和田橋～八高線鉄橋間	大和田橋方向から川の上を低い高度で下流側へ飛ぶ。一旦灌木の中ほどに止まりさらに下流側へ移動。胸の細かい横縞模様も確認できた。	冬鳥調査参加者(馬場隆進、馬場啓子、高梨規子、田中博之、佐藤哲郎)	行動	八王子 8J
356	オオタカ	2022/1/8	1羽	浅川・暁橋と浅川大橋の間	幼鳥が中洲を飛行し木にとまった。その後、旋回して高度を上げた。	定期 C(宮越)	行動	八王子 7K
356	オオタカ	2022/1/16	1羽	元八王子1丁目(関根宅)	AM9.00。関根宅庭。オオタカは庭にいた(ムクドリ)に、2本の足で、押さえつけ(絶体絶命)どうなることかしばらく観察、(ムクドリ)の毛をぬき素早く足でつかみ近くの林のなかへ逃げた。写真撮影済み	関根伸一、関根光世	行動	八王子 2K
F 356	オオタカ	2022/1/16	1羽	関根自宅(八王子市元八王子町)	ムクドリが我が家の庭で犠牲になりました。室内からガラス窓の至近距離からの写真です。	関根伸一	行動	八王子 2K
356	オオタカ	2022/2/3	1羽	浅川左岸八高線鉄橋上流100m付近	9:30頃。左岸の木立にとまっていたが、ハシボソガラス数羽がしつこくまとわりつき、下流側へ飛び去る。	佐藤哲郎	行動	八王子 8J
356	オオタカ	2022/2/6	1羽	浅川・鶴巻橋	鶴巻橋上空を浅川の上流側から下流側に飛翔しているのを確認した。	荻島伸介他定期カウント参加者3名	行動	八王子 5K
356	オオタカ	2022/2/6	1羽	北浅川・松枝橋下流側約600m	松枝橋下流側約600mの上空。カラス3羽にモビングされながらの北浅川の上流側に飛び去るのを確認した。	荻島伸介他定期カウント参加者3名	行動	拝島 4A
F 356	オオタカ	2022/2/23	1羽	北浅川・松枝橋と中央高速道路橋脚の間付近	気が付いたら北浅川右岸側のかなり高い上空を旋回しながら高度を上げて視界から消えました。	荻島伸介	行動	八王子 4B
356	オオタカ	2022/2/25	1羽	ウェルパーク中野山王店上空	16:00。車で交差点待ちをしていたら上空を飛んでいた。近くにトビも飛んでおり、大きさからオオタカ(きっと♀)と判断。	今野美代子	行動	拝島 6A
356	オオタカ	2022/2/27	1羽	川口川左岸・山王橋田んぼ	田んぼ上空をムクドリ約30羽が飛んできた。それを追ってオオタカが現れた。	粕谷和夫	行動	拝島 3C
F 356	オオタカ	2022/3/4	2羽	八王子市	昨年は同じ場所でバーダーが張り付き営巣を断念しました。眼が良い猛禽の観察は短時間で御願いたいです。	村山和夫	行動	八王子 2H
356	オオタカ	2022/3/29	1羽	小山内裏公園	公園の上空に現れて北の方へ飛んでいった。	粕谷和夫他地元発見探鳥会探鳥会参加者	行動	武蔵府中 0C
356	オオタカ	2022/3/30	1羽	自宅(西寺方町)	キジバト、ムクドリ、スズメを目的に飛んで来て前の家の雨どいに止まり、2分ぐらいキョロキョロして飛んで行く。	柚木育子	行動	拝島 1B
356	オオタカ	2022/4/2	2羽	都立長沼公園・霧降の道	午前7時に、もみの木からキーキーと鋭く鳴きながら2羽が飛び出し、1羽は飛び去り1羽は枝にとまった	山崎久美子	行動	八王子 9G
356	オオタカ	2022/4/5	1羽	高月水田	ドバト約10羽の群れを追っていた。	粕谷和夫	行動	拝島 6E
356	オオタカ	2022/4/8	2羽	多摩川・ひょうたん池近く	1羽がトビに接近して攻撃を仕掛けるような行動が見られた。	福本健・小川圭太他5名	行動	立川 0C
F 356	オオタカ	2022/4/20	2羽	八王子市	時々古い巣を覗きこんだりしているが枝運び等は見ていません。別に営巣しているのか。雨上がりの若葉の林内を鳴きかわしながら飛んでいました。	村山和夫	繁殖 3	八王子 2H
356	オオタカ	2022/5/28	1羽	浅川・長沼橋	浅川上流方向から、小鳥らしきものをつかんだオオタカが、上昇しながら飛翔し、長沼駅方向へ飛び去った。	玉手しのぶ 他3名	行動	八王子 9G
356	オオタカ	2022/5/28	1羽	浅川・JR中央線陸橋付近上空	カワセミ会ジュニアクラブの際に浅川 JR 中央線陸橋付近の上空から北側に飛び去った鳥がいた。遠かったので良く確認できなかったが猛禽類かも知れないと思って撮影した写真を後で確認したらハイタカであった。その後、再判定でオオタカと訂正	岡本昭男	行動	八王子 9H
358	ノスリ	2022/1/12	1羽	多摩川・谷地川合流部	1羽で上空を滑空していた。	福本健・小川圭太他8名	行動	立川 0C
F 358	ノスリ	2022/1/25	1羽	小宮公園	ルリビタキの撮影に夢中になっていたら、何か上空を横切り…。	田中博之	行動	拝島 8A
358	ノスリ	2022/2/28	1羽	多摩川・中央線鉄橋200m下流	河原の立木のでっぺんに停留	粕谷和夫	行動	立川 2C
358	ノスリ	2022/3/1	1羽	高月水田	水田上空を飛翔	粕谷和夫	行動	拝島 6E
358	ノスリ	2022/3/1	1羽	高尾山・あずさ霊園上空	上空を飛んでいた。	加藤 玉木	行動	与瀬 9D
358	ノスリ	2022/3/3	2羽	高尾山・6号路	雌雄で枝に止まっていた。	石橋加藤管野	行動	与瀬 9E

						西村		
F 358	ノスリ	2022/3/20	1羽	八王子市	突然上空に現れて何度も旋回してくれました。	村山和夫	行動	八王子 2H
358	ノスリ	2022/4/5	2羽	多摩川右岸昭和用水堰上流河原	大きさの違う2羽が求愛ディスプレイのような飛翔を繰り返していた。	粕谷和夫	行動	拝島 6E
364	クマタカ	2022/5/3	1羽	醍醐林道	8:30頃。ににく沢出合から1kmほど林道を登った地点の上空で旋回しているのを確認。北側の尾根の向こうに飛び去った。羽が少し抜け落ちた個体だった。下面や頭がやや白っぽく見えたので若鳥かもしれない。	佐藤哲郎、佐藤亮	希少	五日市 4A
372	フクロウ	2022/3/30	声	長房保全緑地	11時頃、屋間であるが地鳴きとその後にゴロスケホツホツが林の中から聞こえてきた。	粕谷和夫、千葉慎子	希少	八王子 2J
372	フクロウ	2022/4/19	声	宝生寺裏山	宝生寺裏山から聞こえる。5分くらい鳴く。4/23宝生寺裏山で2-3回鳴く。	柚木育子	繁殖3	拝島 1B
372	フクロウ	2022/5/	声	自宅(下恩方町)周辺	深夜早朝自宅より鳴き声を聞く	清水盛通	繁殖3	拝島 0A
372	フクロウ	2022/5/5	1羽	みつい台弥生公園付近	声。PM11:00。旦那さんが録音した音声をとってきた。声が聞こえたので声の近くに行き録音したとの事。かなり盛んに聞いていたそうです。ゴロスケホーホーが確認出来ました。	今野美代子の夫	繁殖3	拝島 6B
372	フクロウ	2022/5/7	1羽	小津・熊野神社付近	鳴き声	古山隆	希少	五日市 9A
372	フクロウ	2022/6/3	1羽	自宅	声。PM10:10。ホーホー、ゴロスケホーホーと2回鳴いたが、その後は鳴かなかった。	今野美代子	繁殖3	拝島 6B
372	フクロウ	2022/6/13	2羽	宇津貫緑地	巣箱に今年も営巣、無人カメラに巣立ち直前の雛が巣箱から姿を出した様子が写る。	粕谷和夫	繁殖5	八王子 6E ①
374	アオバズク	2022/4/7-4/12	2羽	自宅(西寺方町)	毎晩暗くなってくると鳴く、自宅より聞く、時折2方向から聞く。	柚木育子	行動	拝島 1B
374	アオバズク	2022/5/	声	自宅(下恩方町)周辺	深夜早朝自宅より鳴き声を聞く(比較的近距离)	清水盛通	繁殖3	拝島 0A
374	アオバズク	2022/5/7	1羽	小津・熊野神社	鳴き声	古山隆	行動	五日市 9A
F 374	アオバズク	2022/6/12	1羽	多摩森林科学園 第2樹木園(15番ポスト付近)	ここ数年、良く見られるようです。	田中博之	行動	八王子 2H
374	アオバズク	2022/6/17	声	川口川・堀口橋付近	右岸丘陵方面から連続して声が聞こえてきた(21時)	粕谷和夫	繁殖3	拝島 3C
374	アオバズク	2022/6/21	1羽	横川下原公園	ケヤキの高い所の枝に止まっていた。近くに巣があると思われる。	粕谷和夫他地元発見探鳥会参加者	繁殖4	八王子 4K ④
378	アカショウビン	2022/6/6	1羽	自宅(西寺方町)	朝4時すぎ。自宅より、声を聞く。数回鳴く 下げ坂方面から聴こえる。	柚木育子	通過	拝島 1B
378	アカショウビン	2022/6/10	声	裏高尾町・神明神社付近	鳴き声がきこえたとの知人からの聞き取りです	福本順吉	通過	八王子 1G
378	アカショウビン	2022/6/20	声	裏高尾町・駒木野公園近く	羽数:不明。自宅、朝6時頃、家の前(小仏川沿い)でアカショウビンのさえずりがした。娘が3回、私は1回聞いた。姿は確認できなかった。初めて聞いたのではっきりとしないが、あの独特な囀りだった。	井川麻利子、井川志織子	通過	八王子 1G
F 383	カワセミ	2022/1/3	1羽	北浅川・元木橋下流	カワセミがホバリングして水に飛び込んだのを目撃したが、何かカワセミを見るとシャッターを押してしまいます。	荻島伸介	行動	拝島 1B
F 383	カワセミ	2022/1/8	1羽	湯殿川・釜土橋付近	いつもは水面を見つめているカワセミが天を仰いだ。上空でオオタカがハトを追いかけている時であった。	粕谷和夫	行動	八王子 6G
383	カワセミ	2022/3/26	1羽	浅川右岸・長沼橋上流側	川岸の垂直土壁に巣穴があり、親が穴に入ったが、出て来なかった。抱卵かも知れない。	粕谷和夫他ジュニアクラブ探鳥会参加者	繁殖5	八王子 9H ②
383	カワセミ	2022/4/2	2羽	浅川右岸・高幡橋上流側の用水路	雌雄。カワセミの雌が雄から餌を受け取った直後だった。その後雄は飛び去った。	岡本昭子	繁殖4	武蔵府中 2k ⑤
383	カワセミ	2022/4/21	2羽	高幡不動駅北側の程久保川の右岸土手	程久保川の左岸石崖の梯子に雌1羽が止まって漁を繰り返していた所へ鳴きながら雄が飛んできて雌の背に乗り、すぐに飛び去った。	岡本昭子	繁殖4	武蔵府中 4J ⑤
383	カワセミ	2022/4/23	2羽	浅川右岸・長沼橋上流側	3月26日とほぼ同じ場所にオス、メスが1m以内の距離に同時にいた。1羽は一度下流側に飛び去ったがまた戻ってきた、この場所には川岸に垂直土壁の巣穴があるが、その巣穴への出入りは観察できなかった。	粕谷和夫他ジュニアクラブ探鳥会参加者	繁殖4	八王子 9H ④
383	カワセミ	2022/4/27	1羽	浅川・長沼橋の右岸下流400メートルのど	4/27朝7:00カワセミを確認しました。長沼橋の右岸下流400メートルのところで声を上げて通過していくのが見えました。	山崎久美子	行動	八王子 9G
383	カワセミ	2022/4/28	2羽	浅川・長沼橋下流、右岸堤防の行き止まり地点	朝8:30。川岸を2羽が飛んできてブッシュに止まり10分なきかわっていた。	山崎久美子	行動	武蔵府中 0G
F 383	カワセミ	2022/6/21	2羽	城山川・滝原大橋付近	親が巣立ち間もないと思われるヒナに餌を与えていた。一気に餌を与えるのではなく、間をもたせて与えていた。一人立ちを促す行動に見えた。	粕谷和夫	繁殖4	八王子 3K ②
F 388	アリスイ	2022/1/11	1羽	八王子市	体が小さく羽色が茶色で迷彩模様?が入り枯草と同化して極めて観察しにくい。長い赤い伸びる舌を使い採食している様子はトカゲか蛇か雷魚に見える。でも顔は案外可愛い。	村山和夫	希少	八王子 7G
388	アリスイ	2022/2/3	1羽	浅川・湯殿川合流点(浅川右岸)	7:30頃。浅川右岸の湯殿川合流点で枯草にとまっていた。すぐに飛び去る。	佐藤哲郎	希少	八王子 9H
393	アカゲラ	2022/2/3	1羽	高尾山・富士道・3号路	枝移りしながら採餌していた。	菅野加藤西村	希少	与瀬 9E

入口手前						
393 アカゲラ	2022/3/3	1羽	片倉城跡公園	09:15. 定期カウントで久しぶりにアカゲラを確認。忙しそうに飛び回っていた。	浜野建男、浜野知恵子	希少 八王子 7G
393 アカゲラ	2022/3/19	1羽	川町谷戸	権茸のホダギの林、声と姿も確認	粕谷和夫	希少 八王子 2K
397 アオゲラ	2022/2/13	1羽	南大沢団地東側の法面	オス。南大沢団地東側の法面。別鳥信のアカハラと2mとは離れていない場所。珍しく地面でガサゴソと枯葉をひっくり返していたが、私に気が付いてか木に飛び上がった。その木は強剪定されていて、アオゲラは丸見えの状態のまま、木をつつき始めた。	岡田浩郎	行動 武蔵府中 0D
397 アオゲラ	2022/5/12	1家	富士森公園	富士森公園体育館裏のサクラの木に巣立ち雛が未だ飛び立てない様子で親から餌を待っていた。翌日はいなくなっていた。未だ巣の中に雛がいるらしく翌々日に行ってみたら全て巣立った後だった。	木村晴美	繁殖 5 八王子 6H ①
399 カヤクグリ	2022/3/1	3羽	高尾山・大平林道高尾林道との分岐	鳴き声のみ。	加藤 玉木	希少 与瀬 9E
401 チョウゲンボウ	2022/1/8	1羽	浅川・暁橋上流	暁橋上流を右岸から左岸、さらに北の方へと飛び去った。	定期 C(宮越)	行動 八王子 7K
401 チョウゲンボウ	2022/4/15	1羽	京王八王子駅付近	7:30 駅の向かい側のビル屋上「キィ、キィ…」の鳴き声	古山隆	行動 八王子7J
401 チョウゲンボウ	2022/4/21	1羽	京王八王子駅付近	7:25 上空 浅川方面へ飛ぶ	古山隆	行動 八王子7J
401 チョウゲンボウ	2022/4/26	1羽	JR八王子駅北口の駅ビル	5時40分と14時50分。駅ビル(セレオ)の屋上近くの看板に止まっていた。	粕谷和夫	行動 八王子 7J
401 チョウゲンボウ	2022/5/5	1羽	浅川・大和田橋下流側上空	8:50 頃。大和田橋下流側上空を旋回後、八王子駅方面に飛ぶ。	佐藤哲郎	行動 八王子 8J
401 チョウゲンボウ	2022/5/16	1羽	浅川・浅川橋右岸	ビル屋上 アンテナに止まる	古山隆	行動 八王子7K
401 チョウゲンボウ	2022/5/20	1羽	浅川右岸・一番橋の上流	一番橋の上流、水門あたり。頭上の電線でセキレイが騒いでいたら、現れ、セキレイに追われてターンし人家の方角に飛んでいった。	岡本昭子	行動 武蔵府中1 J
401 チョウゲンボウ	2022/5/20	1羽	北野駅北口	日本水産倉庫の屋上	粕谷和夫	行動 八王子 8H
401 チョウゲンボウ	2022/5/20	1羽	JR 八王子駅北口	駅前上空を旋回飛翔	粕谷和夫	行動 八王子 7J
401 チョウゲンボウ	2022/5/21	1羽	JR 八王子駅北口	駅前上空を旋回飛翔	粕谷和夫	行動 八王子 7J
401 チョウゲンボウ	2022/5/26	1羽	JR 八王子駅北口	駅付近のビルの屋上の角にイソヒヨドリと同じような姿勢で止まっていた。	粕谷和夫	行動 八王子 7J
401 チョウゲンボウ	2022/6/1	1羽	高幡不動駅南口	17:15 上空 ツバメやハクセキレイにモビングされる	古山隆	行動 武蔵府中3 J
401 チョウゲンボウ	2022/6/2	1羽	JR 八王子駅北口	ヨドバシカメラ付近のビルの屋上の高さの所を通過した。	粕谷和夫	行動 八王子 7J
401 チョウゲンボウ	2022/6/2	3羽	JR 八王子駅北口付近	京王八王子駅ビル～ヨドバシカメラ西側のビル 盛んに鳴きながら、隣接するビルに飛ぶ。足で餌を押さえて食べるシーンも見る。巣立ち後の幼鳥と思われる。	古山隆	行動 八王子7J
401 チョウゲンボウ	2022/6/4	1羽	浅川・暁橋上流	暁橋上流の上空を旋回していた。	定期 C(宮越)	行動 八王子 7K
401 チョウゲンボウ	2022/6/10	1羽	多摩川・谷地川合流部	チョウゲンボウがスズメのヒナのようなものを捕まえ飛んでいた。	福本健・小川圭 太他 8名	行動 立川 1C
407 ハヤブサ	2022/3/21	1羽	浅川・一番橋上空	浅川下流方向から飛んできて一番橋を通過して上流方向に飛び去った。獲物を掴んでいて時々啄んでいた。写真:有	岡本昭男	行動 武蔵府中 1J
412 サンショウクイ	2022/1/22	1羽	長房保全緑地	亜種リュウキュウサンショウクイ。カラ類の混群の中で採餌を確認	千葉榎子	希少 八王子 2J
412 サンショウクイ	2022/2/22	1羽	片倉城址公園	亜種リュウキュウサンショウクイ。キウイタダキを観察していたら突然東南方向から飛来しモミ?の木の梢に止まる。	門口一雄	希少 八王子 7G
412 サンショウクイ	2022/3/3	1羽	高尾山・6号路	比較的遠くで鳴き声がした。	石橋加藤管野 西村	希少 八王子1F 等
412 サンショウクイ	2022/3/30	2羽	高尾山	1号路 声のみ 鳴き声から亜種リュウキュウサンショウクイと思われる	古山隆	希少 八王子1F
412 サンショウクイ	2022/4/2	1羽	高尾山・大平林道旧作業小屋先	頭上で鳴き声がした。	加藤 玉木	希少 与瀬 8E
412 サンショウクイ	2022/4/25	1羽	日野市・高幡台緑地	8:10 上空 北に向かって通過 鳴き声から 亜種サンショウクイと思われる	古山隆	希少 武蔵府中3 H
412 サンショウクイ	2022/5/	声	小津町	亜種リュウキュウサンショウクイと思われる。すっかり定着し繁殖期上空を飛ぶ姿も見られる。	清水盛通	希少 拝島 0A
412 サンショウクイ	2022/5/1	1羽	高尾山・森林ふれあい館付近	上空で鳴き声がした。	加藤岸男他カウント参加者	希少 与瀬 9E
412 サンショウクイ	2022/5/2	2羽	高尾山・6、3号路	鳴きながら頭上を通過した。	管野桂子他カウント参加者	希少 八王子 0E
412 サンショウクイ	2022/5/5	1羽	醍醐林道の関場分岐附近と小川養魚場付近	亜種リュウキュウサンショウクイ、飛ぶ姿と声を聞く、声からリュウキュウサンショウクイと判断。	粕谷和夫他オオルリ他夏鳥調査参加者	希少 五日市 6A
412 サンショウクイ	2022/6/2	4羽	高尾山 6、3号路	鳴きながら頭上を通過した。	管野桂子他カウント参加者	希少 八王子 0E
418 サンコウチョウ	2022/5/17	声	小津町	小津のバス終点停留所から力石峠への道に入った所のスギ	粕谷和夫他地	希少 五日市 8B

				林からサンコウチョウの声が聞こえてきた。	元発見探鳥会	
F 418	サンコウチョウ	2022/5/28	3羽 八王子城址	尾の比較的短めなサンコウチョウの囀りとその付近を飛ぶメスと思われる個体を確認しましたが、確信は持てませんが、写真の個体より尾の長い別のオスも含めて3羽で騒ぎ回っていたようです。	荻島伸介	希少 八王子 0J
418	サンコウチョウ	2022/6/9	声 高尾山6号路第1ベンチ付近	セッコクの花を見ていると杉林の奥の方から声が聞こえてきた。	粕谷和夫	繁殖 3 八王子 0E
420	モズ	2022/3/3	2羽 片倉城跡公園	09:19。最初はオスだけ気がついたが、しばらくするとメスが隣に来ており、嫁入りしたようであった。	浜野建男、浜野知恵子	行動 八王子 7G
F 420	モズ	2022/4/6	2羽 湯殿川 殿田橋付近	比較的近くを別々に飛んでいたが、ようやくオスがメスに虫を渡した。	岡田浩郎	繁殖 3 八王子 7G
420	モズ	2022/4/23	2羽 帝京大学中学・高校の北側	7:45 頃。2羽(オス1、メス1)。帝京大学中学・高校の北側の小径(八王子市堀之内)。電柱のてっぺんにとまったハシブトガラスに対して、近くの電線にいたモズ(メス)が威嚇の声を上げて何度か突っかった。さらにモズ(オス)が加わり攻撃を繰り返した。カラスはたまたま飛び去った。近くにモズが営巣している可能性ありと思われる。	佐藤哲郎	行動 武蔵府中 1 F
F 420	モズ	2022/5/10	22羽 八王子市鎌水公園近く	(成鳥♂1羽、幼鳥1羽)。最初一緒にいたモズの親子。親鳥が蜂を捕まえて子を誘っていたが、子が来ないので、親鳥が蜂を食べてしまった。	岡田浩郎	繁殖 4 八王子 9C ②
435	ハシボソガラス	2022/5/5	1家 多摩病院前	多摩病院前の大木、営巣中だったのは確認していたが、本日巣にいる雛2羽を視認しました。結構大きくなっていて巣立ちも近そうなサイズでした。	今野美代子	繁殖 5 拝島 6B ①
435	ハシボソガラス	2022/5/13	1家 多摩病院前	親1羽 雛3羽。昼頃。多摩病院前の大木。巣が自宅内からスコープで覗けることに気が付いて、巣立ち前からの3日間巣を観察しました。兄弟で遊んだり親鳥が雛を丁寧に羽繕いする様子などが観察できました。餌を多くもらえたのか3羽とも親より太いしっかりとした体格に育っていました。	今野美代子	繁殖 5 拝島 6B ①
435	ハシボソガラス	2022/5/20	1家 北野駅南口(北野街道)	湯殿川右岸、北野街道の電柱に営巣、巣中に雛2羽がいて、親が巣中の雛に給餌していた。	粕谷和夫	繁殖 5 八王子 8G ①
438	キクイタダキ	2022/2/3	1羽 片倉城跡公園	定期カウントの最後で、住吉神社に上る遊歩道の途中で、複数のカメラマンが上にカメラを向けていた。確認するとキクイタダキ1羽が頭上の木立の中を動き回っていた。その後少し待ってみたが、姿をあらわさず、写真は撮れなかった。	浜野建男、浜野知恵子	希少 八王子 7G
F 438	キクイタダキ	2022/2/9	1羽 片倉城跡公園	キクイタダキが明るいところに出てきてくれました。実に落ち着きなく、モミの芽(?)を食べてはチョンと動き回っていました。	岡田浩郎	希少 八王子 7G
438	キクイタダキ	2022/2/22	1羽 片倉城跡公園	神社裏の針葉樹の葉先を頻りに動き回る。	門口一雄	希少 八王子 7G
F 442	ヤマガラ	2022/2/14	1羽 長池公園	雑木林で落ち葉の下から好物のエゴノキの実を掘り出した。秋に貯食のため隠して置いた物なのかも知れない。	粕谷和夫	行動 武蔵府中 1C
442	ヤマガラ	2022/4/9	1羽 高尾山3号路・薬王院下	11:30 頃。薬王院下の木橋付近の山頂に向かって右側でエサを探していた。	宇都宮信子	行動 八王子 0E
442	ヤマガラ	2022/4/30	1家 自宅(高尾町)	我が家の巣箱より3年連続でヤマガラが2羽巣立ちしました。福本順吉 巣立ちの日:4月30日「土」、時間:1羽目:10時17分頃、2羽目:14時24分頃無事巣立ちした。当初5個産卵したが残り3個は無精卵だった。	福本順吉	繁殖 5 八王子 2G ①
F 445	シジュウカラ	2022/1/17	1羽 宇津貫緑地	シジュウカラがソシンロウバイの花が咲いている木に飛び込んだ。花を食べるのかとみていると宙返り、蜘蛛の卵包を咥えていた。	粕谷和夫	行動 八王子 6E
F 445	シジュウカラ	2022/5/15	1羽 上柚木公園	シジュウカラが頻りに巣箱に入出入りし、ヒナの糞袋をくわえた親鳥が出てきた。	岡田浩郎	繁殖 5 武蔵府中 ① 0D
457	ツバメ	2022/3/15	±7羽 高尾駅北口	10時頃。小仏行きバス停 上空。朝雨が降り急な暑さで夏鳥のツバメが飛んだ!と初認を喜んだ。その後イワツバメが10羽も鳴きながら飛んできたのでさらに驚いた。	門倉美登利・高尾梅郷巡りツアー参加者20名	初認 八王子 2G
457	ツバメ	2022/3/17	1羽 八王子第五中学校付近	電線に止まり囀る(初認)	古山隆	初認 八王子 7J
457	ツバメ	2022/3/18	5羽 浅川左岸・平山橋から下流約100m	空に大きく輪を描いて飛んでいた。18日には確認不十分だったが21日電線に2羽止まったので確認出来た。写真あり	岡本昭子	初認 武蔵府中 0H
457	ツバメ	2022/6/16	1羽 高幡不動駅ビル	ビル通路の内側、高さ2m位のところにある突起物の上に巣作りを始める	古山隆	行動 武蔵府中 3 J
459	コシアカツバメ	2022/4/23	3羽 浅川右岸・新井団地付近	団地周辺を飛び回ったり電線で休んだりしていました	浜田早苗	初認 武蔵府中 3K
459	コシアカツバメ	2022/5/4	2羽 浅川右岸・平山橋下流約200m	平山橋下流約200m、道路。電線に止まり、その後集合住宅へ飛んだ。	岡本昭子	繁殖 5 武蔵府中 1 ③ H
459	コシアカツバメ	2022/6/4	1羽 長池公園	見附橋下の姿池の上を飛翔した。	長池公園公開探鳥会	行動 武蔵府中 1C
461	イワツバメ	2022/3/3	4羽 浅川・浅川大橋付近	上空を飛び回る 初認	古山隆	初認 八王子 7K
461	イワツバメ	2022/3/5	2羽 湯殿川・和合橋付近	11時50分頃。飛び回っていた。時々橋の下にも入っていた。	加藤岸男(報告者)、対中義雄	初認 八王子 3E
461	イワツバメ	2022/3/12	+8羽 浅川・一番橋近辺	一番橋の周囲を活発に鳴きながら飛びまわっていた。写真:有	岡本昭男	初認 武蔵府中 1J

461	イワツバメ	2022/3/15	+7羽 谷地川・左滝橋	橋の下に出入り飛翔	粕谷和夫	行動	拝島 7B
461	イワツバメ	2022/3/15	±10羽 高尾駅北口	10時頃。小仏行きバス停・上空。小仏行きバスを待っている間の30分間、明け方の雨の後のためか？急に暖かくなったためか？、上空を飛び回っていた。バス停から見える茶色のマンション【白鳥内科医院】の看板のベランダ付近を何度も回っていた。営巣場所を探しているように見えた。会員の情報によると昨年まではこのマンションに営巣していたが管理組合から今年は巣の撤去があったと聞いた。(同じマンションかは確認できていませんが)何回か鳴きながら大きく、小さく飛び回っていた。*しばらくして上空をヒメアマツバメが飛んだ。*3月17日 13時20分【同じ小仏バス停付近でイワツバメを6羽見ました】	門倉美登利・高尾梅郷巡リツアー参加者20名	行動	八王子 2G
462	イワツバメ	2022/3/16	±11羽 高尾駅北口	10時頃。小仏行きバス停・上空。小仏行きバスを待っている間の30分間、明け方の雨の後のためか？急に暖かくなったためか？、上空を飛び回っていた。バス停から見える茶色のマンション【白鳥内科医院】の看板のベランダ付近を何度も回っていた。営巣場所を探しているように見えた。会員の情報によると昨年まではこのマンションに営巣していたが管理組合から今年は巣の撤去があったと聞いた。(同じマンションかは確認できていませんが)何回か鳴きながら大きく、小さく飛び回っていた。*しばらくして上空をヒメアマツバメが飛んだ。*3月17日 13時20分【同じ小仏バス停付近でイワツバメを7羽見ました】	門倉美登利・高尾梅郷巡リツアー参加者21名	行動	八王子 3G
462	イワツバメ	2022/6/20	10羽 中央高速道日野バス停付近	成鳥7羽と顔が見えた雛3羽 中央道のガード下にイワツバメが出入りしていて巣が8個出来ていました。その内3個の巣には雛がいて親鳥が盛んに餌運びしていました	浜田早苗	繁殖5 ①	立川 3A
F 463	ヒヨドリ	2022/1/17	1羽 宇津貫公園	雑木林のコナラの樹液を吸っていた。メジロも来ていた。	粕谷和夫	行動	八王子 6E
463	ヒヨドリ	2022/4/9	±50羽 自宅(散田町3)	7:30頃。群れ(約50羽)。自宅ベランダ(散田町3)。南から北方へ飛んでいた	宇都宮信子	行動	八王子 5J
F 464	ウグイス	2022/1/10	1羽 八王子市	コナラの樹液を吸いに来ますが、メジロが木の下部から中部、上部まで構わず飛んで来るのに対し、ウグイスは笹が茂り見え難い下部から入り中部まで行かず飛んでしまいます。写真は撮りにくい野鳥です。	村山和夫	行動	八王子 5F
F 464	ウグイス	2022/2/23	2羽 片倉城跡公園 入口付近の池	普段はあまり顔を見せてくれない鳥ですが、今日はたつぷりと披露してくれました。キウイタダキも入口付近で見かけました。	田中博之	行動	八王子 7G
464	ウグイス	2022/2/26	1羽 鏈水中学校南側敷の中	雄。観察状況:今年初めての囀りを聞きました。まだ練習中の様であまり上手ではありませんでしたが確実に春の訪れを感じられた朝でした。	市村緑	初認	八王子 9C
464	ウグイス	2022/3/3	3羽 片倉城跡公園	08:25~9:30。定期カウントにて、まだ少し下手なさえずりを聞いた。今シーズン初認。	浜野建男、浜野知恵子	初認	八王子 7G
464	ウグイス	2022/3/3	+3羽 多摩川・中央線鉄橋上流	河原の数カ所からさえずり。今季初認	粕谷和夫	初認	立川 1C
464	ウグイス	2022/3/3	1羽 浅川・浅川大橋下流側左岸	囀り(初認)	古山隆	初認	八王子 7K
F 464	ウグイス	2022/3/15	1羽 家の近くの住宅街電線	家の近くでウグイスがさえずっているのを探したら、電線に止まって鳴いていた。家の庭に下りたりもしていた。	福本健	行動	立川 1B
464	ウグイス	2022/4/25	1羽 自宅(高尾町)	朝から鳴いていた	福本順吉	行動	八王子 2G
465	ヤブサメ	2022/4/16	1羽 北浅川・鞍骨沢	囀り(初認)	古山隆	初認	与瀬 5K
465	ヤブサメ	2022/4/24	1羽 北浅川・鞍骨沢	渡来したばかりの個体のようで、警戒することなく、「チュツ・チュツ」と鳴きながら、目の前まで出てくる	古山隆	初認	与瀬 5K
465	ヤブサメ	2022/6/2	1羽 高尾林道・森林ふれあい館付近	1羽を3人で視認。囀りと少し違う声で斜面の枝の中を行ったり来たりしていた。子育て中で、警戒していたのかもしれない。	千葉慎子、渡邊悦子、非会員1名	行動	与瀬 9F
F 466	エナガ	2022/1/5	1羽 高尾山4号路	アカガシの幹にしがみつこうにとまり餌を探していた。尾羽をアカガシの幹に着けて落ちないように体を支えている姿がキツキの体の支え方によく似ていた。	粕谷和夫	行動	与瀬 9E
F 466	エナガ	2022/1/14	10羽 八王子市	エナガの生息場所は公園、緑地、林内がイメージだが冬は川原で会う事が多い。葦につく虫を食べているようだ。メジロ、四十雀との混群で来ます。	村山和夫	行動	八王子 7G
F 466	エナガ	2022/4/27	8羽 小宮公園 こげらの小道	「団子」というには、ややソーシャルディスタンス気味でした。	田中博之	行動	拝島 7A
476	オオムシクイ	2022/6/4	1羽 長池公園	築池隣の園内道(雑木林)で声を確認。	長池公園公開探鳥会	通過	武蔵府中 1C
476	オオムシクイ	2022/6/10	1羽 多摩川・昭和堰上流右岸	囀り及び地鳴き(録音)で確認 姿も見る(撮影)	多摩川滝山城跡下定期 C(古山)	通過	拝島 6E
480	センダイムシクイ	2022/4/16	2羽 北浅川・鞍骨沢	囀り(初認)	古山隆	初認	与瀬 5K
F 480	センダイムシクイ	2022/4/22	1羽 黒川清流公園	新緑の中で見え隠れして囀っていました 声のする方に向け撮るとなんとか端に写っていました	浜田早苗	初認	武蔵府中 1K
480	センダイムシクイ	2022/5/1	7羽 高尾山・大平林道学習の道分岐付近等	4羽で鳴いていた。	加藤岸男他力 ウント参加者	行動	与瀬 8E
480	センダイムシクイ	2022/5/2	1羽 高尾山・6号路	近くで盛んに鳴いたが視認できなかった。	菅野桂子他力	行動	与瀬 9E

				ウント参加者		
480	センダイムシクイ	2022/6/1	3羽 高尾山・大平林道旧作業小屋付近等	鳴いていた。	加藤岸男	行動 与瀬 8E
F 485	メジロ	2022/1/3	-8羽 八王子市	2羽から8羽くらい。冬に水分が飛び濃くなったコナラの樹液を求めてメジロ、コゲラ、ウグイス、エナガ、四十雀、ヒヨドリが来ます。特にメジロ、コゲラの2種は2週間ほど観察していますが常時います。エネルギー源で命を支えています。	村山和夫	行動 八王子 5F
492	オオヨシキリ	2022/4/23	1羽 浅川・一番橋の右岸寄りの橋上	下流10mあたりの古荻の中で頻りに鳴いていた。姿は見えなかった。	岡本昭子	初認 武蔵府中1J
492	オオヨシキリ	2022/4/23	1羽 浅川・浅川大橋上流側	右岸 囀り	古山隆	繁殖3 八王子7K
492	オオヨシキリ	2022/5/5	1羽 浅川・山田川合流付近の水管橋左岸下流100m付近	7.40頃。河川敷の灌木でさえずる。	佐藤哲郎	初認 八王子9H
492	オオヨシキリ	2022/5/5	1羽 北浅川・陵北大橋付近	朝6時、よく鳴く。	柚木育子	行動 拝島1B
492	オオヨシキリ	2022/5/11	1羽 浅川・浅川大橋上流側右岸	囀りが聞こえる	古山隆	繁殖3 八王子7K
492	オオヨシキリ	2022/5/18	1羽 浅川・大和田橋上流側右岸	水管橋の下流側 囀り	古山隆	繁殖3 八王子7K
492	オオヨシキリ	2022/5/23	1羽 浅川・大和田橋上流側右岸	水管橋の下流側 囀り	古山隆	繁殖3 八王子7K
492	オオヨシキリ	2022/5/24	1羽 浅川・浅川橋下流側	左岸 橋のすぐ横のヨシ原 囀り	古山隆	繁殖3 八王子7K
492	オオヨシキリ	2022/6/3	2羽 高月水田	休耕田の小さなオギ原に2羽、1羽がさえずり続け、もう1羽は鳴いてなかった。オスメスと思われる。	粕谷和夫	繁殖3 拝島6E
F 492	オオヨシキリ	2022/6/3	2羽 高月水田	休耕田のヨシ原にオオヨシキリが来ていて盛んにさえずっている。そこにはメスと思われるもう1羽もいた。営巣しているかもしれない。	粕谷和夫	繁殖4 拝島6E④
F 492	オオヨシキリ	2022/6/5	1羽 北浅川・松枝橋下流側	なかなか姿を見せないオオヨシキリの姿が撮れました。	荻島伸介	繁殖3 拝島4B
492	オオヨシキリ	2022/6/9	1羽 浅川・浅川橋下流側	左岸 橋のすぐ横のヨシ原 囀り	古山隆	繁殖3 八王子7K
492	オオヨシキリ	2022/6/16	1羽 浅川・浅川橋下流側	左岸 橋のすぐ横のヨシ原 囀り	古山隆	繁殖3 八王子7K
499	セッカ	2022/4/11	2羽 浅川・浅川大橋付近	上流側、下流側でそれぞれ囀る(囀りの初認)	古山隆	初認 八王子7K
499	セッカ	2022/4/14	1羽 浅川右岸・一番橋下流、	一番橋下流、桜並木の堤。対岸の草叢のあたりから声がしていた。今季初認	岡本昭子	初認 武蔵府中2K
F 504	ミソサザイ	2022/3/13	±6羽 小下沢林道	(♂)。早春の今が相手探し時期なのか、ミソサザイの囀りを多くの場所で確認しました。	荻島伸介	行動 与瀬 8H
504	ミソサザイ	2022/4/1	1羽 八王子城跡奥	10頃。八王子城跡奥の林道(城山川)、八王子城跡奥の林道、門倉美登利・柚木育子 鳴きが聞こえた。ミソサザイが、石ころと草の間で昆虫を探しているように見えた。	柚木育子	行動 八王子 0H
504	ミソサザイ	2022/4/9	1羽 高尾山・蛇滝水行場から100m位手前	10:40頃。蛇滝水行場から100m位手前の川沿いを囀りながら移動していた	宇都宮信子	繁殖4 八王子0F⑥
504	ミソサザイ	2022/4/17	3羽 小下沢林道	8:30~11:00頃。夏鳥調査中 3か所で確認出来ました。	中山尊人、中山千晶	行動 与瀬(7J、7H、8H)
506	ムクドリ	2022/2/1	1100羽 八王子駅北口	オミクロン株の最中ですが、今年最初の囀り入り調査を実施しました。八王子駅北口、紅花トチノキや駅周辺の街路樹等は選定がされていました。16:30~17:50 晴れ 8°C 日没 17:10分。 16:42 J. COMアンテナに数羽止まり始める。 16:50 同上に50羽止まる。 17:00 同上に300羽になる。 17:05 同上に700羽になる。 17:10 同上に830羽になる。同時間西方上空で200羽旋回をする。 17:30 J. COMの個体が上空を旋回し始めて徐々に駅北口周辺 街路樹やビル屋上、電光掲示板等に入り始める。 17:40 囀り入り完了としました。今回紅花トチノキは入りませんでした。総数、1100羽、昨年の1月はゼロでした。	対中義雄	囀 八王子 7J
506	ムクドリ	2022/2/14	±2100羽 日野市高幡(浅川ふれあい橋付近)	11月にフォト鳥信でムクドリの報告をいたしました。その続きです。昨年暮れよりは少なくなりましたが、今日2000羽以上を確認しました。600羽までは電線に止まっている数を数え、飛んできた群れは写真を撮り画像で数えました。	小川圭太	囀 武蔵府中3K
506	ムクドリ	2022/4/2	±3000羽 日野市高幡(浅川ふれあい橋付近)	正確に数えた訳ではないですが、今年初めより少し増えた気がします。水浴びと周辺の木で仲間が集まるのを待機しながら、数が増えてくると電線へ移動し、その後、周囲を一回りしながら最後は竹藪へ突入します。その間、水浴びが約15分、電線での待機が約15分でした。竹藪は3月に少し伐採されましたが、当初予定した程は刈られなかったです。また、ふれあい橋横の向島用水堰工事はほぼ終わったようで、川幅がかなり広くなりました。	小川圭太	囀 武蔵府中3K
F 506	ムクドリ	2022/4/2	±3000羽 日野市 浅川ふれあい橋下流	水浴び後、一時電線で待機し、竹藪へ入ります。	小川圭太	行動 武蔵府中3K

506 ムクドリ	2022/5/28	2羽	日本通運の倉庫(明神町2丁目の交差点)	昨年イソヒヨドリが営巣した日本通運の倉庫の屋根の隙間に餌を啜って入っていた。昨年のイソヒヨドリの巣の乗っ取りである。	粕谷和夫	繁殖 5 八王子 8J ①
F 508 コムクドリ	2022/4/20	2羽	八王子市	(雄雌)花の終わった桜の樹についてる青虫を食べていました。村山和夫 込み入った小枝の中をちょこちょこ動き極めて見難い。食べ終わったら静かに休憩でした。	村山和夫	通過 八王子 5A
512 カワガラス	2022/3/14	1羽	浅川市民センター裏の南浅川	14時30分頃。羽繕い、採餌等々、いろいろな行動をしていた。	加藤岸男(高尾山周辺探鳥会参加者有志8名)	希少 八王子 2G
F 512 カワガラス	2022/5/2	1羽	浅川(浅川市民センター裏)	しばらく散歩してから、巣があると思われる滝の奥に入っていました。	田中博之	繁殖 5 八王子 2G ③
512 カワガラス	2022/6/2	2羽	高尾山清滝駅稲荷山コース入口の沢	成鳥1羽、ヒナ1羽 親子で採餌していた。	菅野桂子他カウント参加者	希少 八王子 1F
F 514 トラツグミ	2022/1/1	1羽	八王子市	寅年に初めて出会った野鳥が虎ツグミでした。縁起が良い。今シーズン初めて会いました。	村山和夫	初認 八王子 4H
F 514 トラツグミ	2022/1/15	1羽	八王子市	頭を低く下げ体を伸ばし数歩前進。辺りを見回し体を小刻みに震わせながら落葉を掻き分け採食します。日陰が好きです。この個体は散歩する人が近くを歩いてもまるで動じません。	村山和夫	希少 八王子 2H
F 514 トラツグミ	2022/1/16	1羽	八王子市鎌水公園	当初は地面で餌を探して、青い実を食べた。そうこうするうちに猫が近づいてきて、トラツグミは樹上に逃れた。しばらくして、トラツグミは白い実を吐き出した。写真は実をくわえたところではなく、クチバシに戻したところ。	岡田浩郎	希少 八王子 9D
F 514 トラツグミ	2022/3/14	1羽	多摩御陵ケヤキ参道脇	わずか 2m 上の枝に恐れる風もなく止まっており、じっくり観察できました。	木野孔司	希少 八王子 3H
F 514 トラツグミ	2022/4/13	1羽	八王子市	林縁で固まって 10 分以上動かさず人が近づいても動じません。村山和夫 遠くでオオタカが一声鳴いたら慌てて藪の中へ。	村山和夫	希少 八王子 2H
514 トラツグミ	2022/5/25	1羽	醍醐林道・にこ沢林道分岐近く	声。醍醐林道北側の山斜面の方角からトラツグミの「ヒョー」という鳴き声が数回聞こえた。	佐藤哲郎	繁殖 3 五日市 4B
F 518 ツグミ	2022/4/6	±42 羽	南北浅川合流部付近から松枝橋まで(定期カウントコース内)	異常なほど多くのツグミ(総数 42±)を北浅川沿いの木の上で観察しました。何故か地表で観察したツグミは殆どいませんでした。木の上にいる理由が温暖化の影響でいつもより早く渡去する準備なのか、それとも南海トラフ地震でも来るのか正直不安になりました。画質が悪いですが、1枚目の写真でも20羽程度のツグミが、普段ツグミと関係の少ないと思われる「桜の木」でさえも 2 羽止まっていた。	荻島伸介	行動 八王子 5K、 拝島 4A、 拝島 4B
F 521 シロハラ	2022/1/8	2羽	八王子市	昨年のシーズンインから全く会えなかったシロハラですが新しい年を迎えたら嘘のようによく会うようになりました。	村山和夫	行動 八王子 2H
F 521 シロハラ	2022/1/15	1羽	愛宕小北側の茂みの中	一度飲み込んだ木の実をくちばしに戻して、また飲み込んだ。岡田浩郎 写真は、木の実を吐き出そうとしているところ。鳴き声を上げたわけではない。実は同日桜ヶ丘公園で、コジュケイが同様に黒い実を地面に吐き出して、もう一度丸呑みしたところを見た。いずれもあまり見慣れない光景だった。	岡田浩郎	行動 武蔵府中 0D
521 シロハラ	2022/2/11	1羽	南大沢学園一番街 団地内	マンションの自宅から外階段を下りたところ、すぐそばの茂みからシロハラが飛び去った。前日も団地内駐車場の茂みの中で見かけており、同一個体の可能性が高い。	岡田浩郎	行動 武蔵府中 0D
521 シロハラ	2022/2/22	1羽	ベルコリーヌ南大沢5丁目	ベルコリーヌ南大沢5丁目(東急オアシス西側の団地)の東側法面。カサコソとエサを探していた。しばらく見ているうちに上側の茂みに入っていた。	岡田浩郎	行動 武蔵府中 0D
F 522 アカハラ	2022/1/13	1羽	八王子市	人の気配で草地から飛び出しフェンスに止まりました。参考までに2枚目にシロハラを載せました。シロハラも光線の具合でアカハラに間違える事もあります。	村山和夫	希少 八王子 3E
F 522 アカハラ	2022/1/19	1羽	小山西内裏公園 大田切池	アカハラは水を飲み水浴びしたのち、積もった枯葉の上で黒い実を見つけて食べた。	岡田浩郎	希少 八王子 9C
522 アカハラ	2022/2/13	1羽	南大沢団地東側の法面	ガサゴソと枯葉をつついていたら、近寄ってきたツグミを追い払かけて追い払った。	岡田浩郎	希少 武蔵府中 0D
522 アカハラ	2022/2/13	1羽	浅川・大和田橋上流側	み1 右岸の枯れた灌木のうえにしばらく止まる頭部の黒さ等から、亜種オオアカハラと思われる	古山隆	希少 八王子 7K
522 アカハラ	2022/2/24	1羽	小山西内裏公園・大田切池	水浴びしていたところ、後からやってきた2羽のガビチョウに追い払われてしまった。	岡田浩郎	希少 八王子 9C
522 アカハラ	2022/4/19	1羽	日野市程久保	七生特別支援学校 裏山から囀りが聞こえる	古山隆	終認 武蔵府中3 H
525 ツグミ	2022/4/15	10 羽	浅川・浅川橋下流側	右岸 草地 群れで採餌	古山隆	行動 八王子 7K
530 コマドリ	2022/4/20	2羽	小宮公園	朝7時頃行くと、ひよどり沢の藪と少し高い枝で囀っていた。夕方方もさえずっていた。毎年来るが、通過の為数日ではない。	井上京子	通過 拝島 7A
530 コマドリ	2022/4/21	1羽	小宮公園	小宮公園定期カウント時、さえずりが聞こえた。	木澤隆雄他定期カウント参加者	通過 拝島 7A
530 コマドリ	2022/4/28	1羽	南高尾・中沢川途中	13:37. 夏鳥調査の折り返し地点で幾度か鳴く声を確認。昨年	浜野建男、浜	通過 八王子 0D

				も同じ時期に同じ場所で声を確認している。	野知恵子		
F 536	ルリビタキ	2022/1/6	1羽	府中カントリークラブ北西側沿いの小径(八王子市別所)	♂。8:20頃散歩の帰りに府中カントリー沿いの小径を歩いていると、道端でルリビタキ♂が採餌していた。その後、塀の上にあがり府中カントリー側へ飛び去った。きれいなオスの個体だった。	佐藤哲郎	行動 武蔵府中 2E
F 536	ルリビタキ	2022/1/8	1羽	高幡不動尊の山頂付近	オス冬になるとたまにルリビタキが来るので探しに行ったところ、雪のまだ残る広場にいました。高幡山はアジサイが多いので、高さがちょうど良いアジサイの木によく止まっています。	小川圭太	行動 武蔵府中 3J
F 536	ルリビタキ	2022/1/8	1羽	八王子市	今シーズン4か所目で7羽目の出会いですが、雌タイプによく村山和夫会います。雄は1羽のみでした。	村山和夫	行動 八王子 2H
F 536	ルリビタキ	2022/1/13	1羽	小宮公園・かわせみの小道	(♂)。小宮公園定期カウントで、今シーズン最高の瑠璃色のルリビタキ(♂)に遭いました。図鑑用のベストショットを撮る前に北方向に飛び去りました。	荻島伸介	行動 拝島 7A
F 536	ルリビタキ	2022/1/15	1羽	日野市 高幡不動尊の山頂付近	メス。先週はオスでしたが、今週はメス成鳥が、地面に降りたり低木に上がったりが、採餌活動をしていました。	小川圭太	行動 武蔵府中 3J
536	ルリビタキ	2022/2/10	1羽	下柚木・郷戸緑地(柳沢の池公園の西側)	メス。自宅を出るとすぐにクックッというルリビタキの鳴き声が聞こえ、団地の敷地内から、すぐそばの雑木林にいるルリビタキメスが見られた。しばらくして茂みの中に飛び去った。ここでルリビタキを見たのは初めて。	岡田浩郎	行動 武蔵府中 0D
536	ルリビタキ	2022/2/24	1羽	小山内裏公園	雄。駐車場脇の林の中。割と低めの木の枝や切り株を行ったり来たり飛び移っていた。人が通る道の脇でしたが警戒する事もなく最後は私のすぐ脇をすり抜ける様に飛び去って行った。	市村緑	行動 八王子 9D
540	ジョウビタキ	2022/3/4	1羽	鎌水団地(タイムレスヒルズ前)	雄。鎌水団地(タイムレスヒルズ前)北側駐車場前の柵の上、聞きなれない声でしたので見てみるとジョウビタキの雄が今まで聞いた事のない声を出していた。●ヒバリの声に似てる様なグチュグチュグチュ?みたいな鳴き声でした。	市村緑	行動 八王子 9C
549	インヒヨドリ	2022/1/3	1羽	浅川・浅川橋下流	♂。橋桁から川に降り、何やら銜えて飛んで行った。写真をフォト鳥信に登録しました。	久保山嘉男	行動 八王子 6K
F 549	インヒヨドリ	2022/1/3	1羽	浅川橋下流	橋桁に止まっていたが、川へ飛び降り、川の中で何かを銜えて飛んで行った。	久保山嘉男	行動 八王子 6K
549	インヒヨドリ	2022/1/4	1羽	南浅川・東横山橋	♂。13:30頃。東横山橋の橋脚の上。♀は昨年から数回見る事ができました。♂を南浅川で確認するのは初めてです。東横山橋の橋脚から桑志高校の方へ飛び去りました。	中山尊人、中山千晶	行動 八王子 4H
549	インヒヨドリ	2022/1/4	1羽	八王子市久保山町1丁目	朝、雌が、八王子市久保山町1丁目のマンションの廊下の柵に停まっていた。	田中博之	行動 拝島 9B
549	インヒヨドリ	2022/1/11	1羽	八王子市越野のマクドナルド隣低層マンショ	AM9:30。♂。八王子市越野のマクドナルド隣の低層マンションの2階ベランダに居るのを車で走行中見かけた。	市村緑	行動 武蔵府中 1C
F 549	インヒヨドリ	2022/1/17	1羽	宇津貫(ログハウス付近の明治製菓研究所)	若いオスが地上に落ちたナンテンの実を食べていた	粕谷和夫	行動 八王子 6E
549	インヒヨドリ	2022/2/3	1羽	片倉城跡公園脇の湯殿川沿い民家屋根	8:15。定期カウントをしていると、屋根の上にオスがいるのが見えた。カメラを構えたら逃げられてしまった。	浜野建男、浜野知恵子	行動 八王子 7G
549	インヒヨドリ	2022/2/6	1羽	浅川・平山城址公園駅裏	マンション屋上にメスが1羽さえずっていた。(定期カウント中に遭遇した)	山崎悠一、山崎久美子	行動 武蔵府中 0H
549	インヒヨドリ	2022/2/13	1羽	浅川・大和田橋	♂1 河原に降りる	古山隆	行動 八王子8J
549	インヒヨドリ	2022/2/13	1羽	浅川・萩原橋	♂1 河原に降りる	古山隆	行動 八王子7K
549	インヒヨドリ	2022/2/21	1羽	七国閑道西尾根緑地	オス若鳥、地面から飛び上がり民家の屋根の角にしばし止まっていた。	粕谷和夫他宇津貫定期C参加者	行動 八王子 6E
549	インヒヨドリ	2022/2/22	3羽	北野町577番地(中央線と16号バイパスの立体交差から200m西側の線路沿い)	オスメスペアとみられる2羽が屋根にいて、直ぐ近くの電線にもう1羽のオス。綺麗な声あり。1羽のメスに対する2羽のオスの争いと見られる。	粕谷和夫	行動 八王子 8H
549	インヒヨドリ	2022/2/22	1羽	石川町コニカミノルタ八王子	♂。AM12:30頃。主人が動画を撮って見せてくれました。	今野美代子	行動 拝島 9A
549	インヒヨドリ	2022/2/26	1羽	湯殿川・北野駅のすぐ近く	八王子市内在住の者です。湯殿川でインヒヨドリを目撃しました。北野駅のすぐ近くです。16:30頃。(会員外からの情報)	N	行動 八王子 8G
549	インヒヨドリ	2022/2/28	1羽	①湯殿川右岸 JR横浜線鉄橋(打越町)上流100m付近 ②湯殿川右岸 北野駅南口の下田橋上流10m付近	①8:30頃♂1羽が堤防の犬走りに止まっていた。②10:20頃♂1羽が犬走りに止まっていた。①と500m程離れているが同じ個体か?	門口一雄 ②は他に東南部環境市民会議の方4名	行動 八王子 8G
549	インヒヨドリ	2022/3/4	1羽	八王子市堀之内(寺沢里山公園南側)	オス。探鳥会の途中で立ち寄った無人野菜販売所近くの民家のブロック塀にとまる。さえずりは聞かれなかった。	佐藤哲郎(地元発見探鳥会参加者6名)	行動 武蔵府中 1F
F 549	インヒヨドリ	2022/3/6	1羽	浅川・鶴巻橋上流側	(♂)。インヒヨドリが下流側から飛んで来てブロックにとまり、周囲を見渡した後で、ブロック近くの石ころの多い地面で採餌していたが、人気を感じたのか、鶴巻橋下流側に飛び去った。	荻島伸介	行動 八王子 5K
549	インヒヨドリ	2022/3/14	1羽	浅川・一番橋下流約	メス。屋根の上であたりを見回すようにして止まっていた。写真:有	岡本昭男	行動 武蔵府中

			50mの右岸側の人家の屋根			1J
549	イソヒヨドリ	2022/3/15	1羽	JR八王子駅北口・駐輪場屋上	京王プラザホテル横 駐輪場屋上 囀り	古山隆 繁殖4 八王子7J①
549	イソヒヨドリ	2022/3/21	1羽	八王子みなみ野駅西口付近	オス。駅前の地上にいたがアクロスモール(量販店)の5階駐車場の奥に消えた。	粕谷和夫他 宇津貫定期カウント参加者 行動 八王子6F
549	イソヒヨドリ	2022/3/23	1羽	高尾山口駅前	♂。駐車入り口付近。吐しゃ物をついばんでいた。	千葉禎子 行動 八王子1F
549	イソヒヨドリ	2022/3/26	1羽	大栗川左岸 新川橋・常盤橋間	7:30頃。オス1羽。川沿いの電柱上でオス1羽がさえずる。すぐに近くの民家のアンテナ上に移動し、時折さえずる。	佐藤哲郎 行動 武蔵府中3F
549	イソヒヨドリ	2022/3/26	2羽	山田川と浅川の合流地点	09:21。そばにあるコンクリート工場のトラックの上にオスがとまっており、観察していると近くの構造物に隠れるようにとまっていたメスも確認できた。	浜野知恵子他 ジュニアクラブのメンバー 行動 八王子8H
549	イソヒヨドリ	2022/3/27	1羽	めじろ台駅付近	朝8時半頃、めじろ台駅の南側にあるマンションの、通路上階部につかいでいました。オスのきれいな羽と、鳴き声で多分あはれはイソヒヨドリです。(会員外からの情報)	行動 八王子4G
549	イソヒヨドリ	2022/3/27	1羽	多摩川・立日橋袂	先週の晴れた日中。多摩川の立日橋袂で雄一羽。(会員外からの情報)	K 行動 立川2B
549	イソヒヨドリ	2022/3/27	1羽	京王線北野駅前・北野街道沿いのビル屋上	アンテナ上で気持ちよさそうに鳴いていた	山崎悠一、山崎久美子 行動 八王子8G
549	イソヒヨドリ	2022/4/	1羽	高尾町(イーアス高尾他)	イソヒヨドリ見ました。4月になってから、1: イーアス高尾の建物屋上(ペアでオスが求愛)、2: グルメシティ高尾店の建物上部、3: 我が家の近所の民家の屋根テッペンや山の中(住所は高尾町1958-4) (会員外からの情報)	K 行動 八王子3G
549	イソヒヨドリ	2022/4/1	1羽	松枝住宅6号棟	道路に面した所の駐輪場屋根柵に登ったりしていた。	中村后子他 定期カウント 行動 拝島3B
549	イソヒヨドリ	2022/4/2	1羽	京王堀之内駅近く	7:00頃。オス。自宅マンション屋上でオス1羽がさえずる。このところ毎日のようにさえずりが聞こえる。	佐藤哲郎 繁殖3 武蔵府中2E
549	イソヒヨドリ	2022/4/2	1羽	高尾駅北口	高尾駅北口の電信柱で♂が囀っていた。	千葉禎子 繁殖3 八王子2G
549	イソヒヨドリ	2022/4/3	1羽	浅川・長沼橋右岸下流50mの電柱	午前7時に、オスが1羽電柱で鳴いていた。橋から4本目の電柱だった。	山崎久美子 繁殖3 八王子9G
549	イソヒヨドリ	2022/4/5	1羽	鎌水浜街道緑地東側のマンション	雄。マンション「プレセダン」。朝のお散歩中綺麗な囀りが聞こえたのでその方向を見てみると飛んでいる姿を発見。暫くするとマンションの階段の手摺りに留まり綺麗な声でまた囀っていた。☆昨年は向かいのマンション建設予定地の仮設事務所の屋根で何度か目撃したが本格的に工事が始まり静かな場所へ移動したのかもしれない。	市村緑 繁殖3 八王子9C
549	イソヒヨドリ	2022/4/6	1羽	裏高尾・駒木野病院 玄関の屋根	駒木野病院の玄関の屋根。8:15分頃。駒木野病院建物(玄関付近)、声高らかにさえずっていた。病院の建物を行ったり来たり鳴きながら飛んでいた。	門倉美登利 繁殖3 八王子1G
549	イソヒヨドリ	2022/4/6	1羽	京王線北野駅前・北野街道沿いのビル屋上	午前7時前に、オスが1羽屋上で鳴いていた。	山崎悠一 繁殖3 八王子8G
549	イソヒヨドリ	2022/4/7	1羽	自宅(高尾町)付近	8:50頃。メス。K宅の塀にとまり、警戒の声で鳴いていた。私が通ったら北側のA宅庭から飛び出して壁に止まり鳴いた。初認	福本順吉 繁殖3 八王子2G
549	イソヒヨドリ	2022/4/7	1羽	京王線北野駅前・南側のマンション屋上	午後1時頃に、オスが1羽屋上でさえずっていた。	山崎久美子 繁殖3 八王子8G
549	イソヒヨドリ	2022/4/7	1羽	JR八王子駅・南口マンションの屋上	オスが1羽屋上でさえずっていた。	山崎久美子 繁殖3 八王子7J
549	イソヒヨドリ	2022/4/7	1羽	高幡不動駅ホーム付近	14:30 囀りが聞こえる	古山隆 繁殖4 武蔵府中3J①
549	イソヒヨドリ	2022/4/7	1羽	八王子市万町	マクドナルド 屋上 ♂ 囀り	古山隆 繁殖4 八王子6H①
549	イソヒヨドリ	2022/4/8	1羽	中野山王1丁目住宅地	AM11時頃。オス。中野山王1丁目住宅地、コンクリート造マンションの柵の部分にとまって15分程さえずっていました。オス、1羽。聞きなれないとても美しいさえずりが聴こえてきたので、姿を探したところ、青とオレンジの鳥が鳴いているのを見つけ、ネットで鳴き声を調べたところ、イソヒヨドリで間違いのないことが分かりました。以前(半年くらい前)にも、左入町のニトリ近くの日野自動車の建物にとまって鳴いているのを見たことがあります。(会員外からの情報)	繁殖3 拝島6A
549	イソヒヨドリ	2022/4/8	1羽	自宅(高尾町)付近	9:8頃。オス。用事で北側(甲州街道)バス停でバスを待つ間に南側にあるマンション(マイキャッスル高尾)の北側屋上角にとまりさえずっていた。バスがきたのでその後はわからず。今年もこのマンションの巣に戻ってきたようだ。	福本順吉 繁殖3 八王子2G
549	イソヒヨドリ	2022/4/8	1羽	JR八王子駅北口	放射線通り 中町公園 横のビル屋上 ♂ 囀り	古山隆 繁殖4 八王子7J①
549	イソヒヨドリ	2022/4/9	1羽	高尾駅北口の西側(甲州街道河原宿バス停)	オス。マンション(マイキャッスル)の屋上でさえずり	粕谷和夫 繁殖3 八王子2G
549	イソヒヨドリ	2022/4/9	1羽	西八王子駅南口付近	オス。マンション(プライム西八王子)の屋上でさえずり	粕谷和夫 繁殖3 八王子5J
549	イソヒヨドリ	2022/4/9	1羽	高尾駅北口バス乗り場	9:00頃。♂。高尾駅北口バス乗り場近くのツトム薬局の斜め前	宇都宮信子 繁殖3 八王子2G

			近く	の住居の屋根で囀っていた。		
549	インヒヨドリ	2022/4/9	1羽	イトウウカ堂狭間店	2:45 から 30 分ほど 5 階で様子を見ましたが、インヒヨドリの声も姿も確認できませんでした。	福本順吉 繁殖 3 八王子 2G
549	インヒヨドリ	2022/4/10	1羽	高尾駅南口附近	15 時頃高尾駅ダイエーの裏でインヒヨドリの雄一羽を見つけました。きれいな声で鳴いていました。(会員外からの情報)	繁殖 4 八王子 2G ④
549	インヒヨドリ	2022/4/10	1羽	自宅(高尾町)付近	9:15 頃。オス。鳴き声が聞こえたので玄関を開け、双眼鏡で探すと甲州街道その店舗の屋上アンテナでさえずっていた。	福本順吉 繁殖 3 八王子 2G
549	インヒヨドリ	2022/4/10	1羽	浅川・一番橋上流側、七生中学校の屋上	オスが1羽、屋上の手すりの上でさえずっていた。	山崎悠一、山崎久美子 繁殖 3 武蔵府中 1J
549	インヒヨドリ	2022/4/11	1羽	JR 八王子駅北口の西側付近	オス。野猿街道の中央線陸橋から北側の幾つかのビルの屋上を動き回って、それぞれの場所でさえずりを繰り返す。	粕谷和夫 繁殖 3 八王子 7J
549	インヒヨドリ	2022/4/11	1羽	自宅東側(高尾町)	雌雄不明 1羽。午前 6 時 30 分頃。朝自宅東側から鳴き声がするため双眼鏡持参で調べに行ったところ高尾町1537-1先G宅のテレビアンテナ上で 1羽鳴いていた。朝の光で雌雄の判別ができなかった。宅地の地番等調べている間にいなくなった。	福本順吉 繁殖 3 八王子 2G
549	インヒヨドリ	2022/4/11	1羽	浅川・浅川橋左岸	7:10 ゆうらくビル屋上 ♂ 囀り	古山隆 繁殖 4 八王子 7K ①
549	インヒヨドリ	2022/4/12	2羽	北野駅	8 時頃。北野駅ホーム(下にもぐったり線路脇の隙間に飛んで行った)。1羽の姿を確認しましたが、どこかにもう1匹?いて鳴き合っていました。(会員外からの情報)	繁殖 3 八王子 8G
549	インヒヨドリ	2022/4/12	1羽	八幡町(甲州街道・本郷横丁東信号付近)	マンションやその近くのビルの高い所からさえずりが聞こえてきた。	粕谷和夫 繁殖 3 八王子 6J
549	インヒヨドリ	2022/4/12	1羽	野猿街道の「網ヶ丘2丁目」信号から東に100m	オスが1羽、電線の上でさえずっていた。	山崎悠一 繁殖 3 八王子 9G
549	インヒヨドリ	2022/4/14	1羽	小仏川左岸・蛇滝橋上流側 SOS 子ども村付近	オス、平屋の民家の屋根に長く止まって鳴いていた。	粕谷和夫 繁殖 3 八王子 0G
549	インヒヨドリ	2022/4/14	1羽	浅川右岸・七生中学校裏の道(一番橋付近)	中学構内のアンテナの上で鳴いていた。近くでもう一羽の声がしていたが見えなかった。繁殖前の行動。	岡本昭子 繁殖 3 武蔵府中 1J
549	インヒヨドリ	2022/4/15	1羽	自宅(高尾町)西北国道沿いの店舗	インヒヨドリとヒヨドリ各 1羽。午前 7 時 15 分頃。自宅西北国道沿いに榎本模型店屋上のテレビアンテナの上でインヒヨドリ鳴いていたが朝雨で曇っていたので雌雄の判別ができなかった。同時刻自宅西北 0 宅のアンテナの上でヒヨドリが囀っていた。	福本順吉 繁殖 3 八王子 2G
549	インヒヨドリ	2022/4/15	1羽	浅川・浅川橋左岸	7:10 ゆうらくビル屋上 ♂ 囀り	古山隆 繁殖 4 八王子 7K ①
549	インヒヨドリ	2022/4/16	1羽	日野市石田	日野市石田の自宅近く。オス。電柱の上でさえずっていた。	菅野桂子 繁殖 3 立川 3A
549	インヒヨドリ	2022/4/17	2羽	南大沢駅前	オス 2羽。2m ほど離れてフレンテ(駅前の商業施設ビル)に止まっていたオス 2羽。1羽が、ヨーカドー屋上、駅ビル屋上ともう1羽を追いかけていた	岡田浩郎 繁殖 4 武蔵府中 ⑤ 0D
549	インヒヨドリ	2022/4/18	1羽	大栗川・内田橋上流 100m	オス。川の中から飛び上がり、右岸緑道の手すりことまる。水浴びをしていたようで、羽毛が濡れていた。	佐藤哲郎他地元発見探鳥会(大栗川・富士見台公園・松木日向緑地)参加者 繁殖 3 武蔵府中 1E
549	インヒヨドリ	2022/4/18	1羽	大栗川 大竹橋上流 100m 右岸	オス(内田橋上流 100m とは別個体)。マンション屋上のアンテナ上にとまり、盛んにさえずる。	佐藤哲郎他地元発見探鳥会(大栗川・富士見台公園・松木日向緑地)参加者 繁殖 3 武蔵府中 E
549	インヒヨドリ	2022/4/18	2羽	八王子みなみ野駅西口付近	オス 2羽。うち、1羽はアクロスモール(量販店)の屋上の角でさえずり。もう 1羽は約 200m離れたマンションの屋上でさえずり。両者はほぼ同じ時間帯だったので別個体と判断した。	粕谷和夫他宇津貫定期カウント参加者 繁殖 3 八王子 6F
549	インヒヨドリ	2022/4/19	1羽	自宅(高尾町)付近	朝 7 時 10 分頃。横田マンション南西角に止まっていた。あさの逆光で雌雄の判別ができなかった。	福本順吉 繁殖 3 八王子 2G
549	インヒヨドリ	2022/4/21	1羽	JR 八王子駅北口の東側付近	セレオ第 1 駐車場(立体)付近のビルの上から雄の声が継続的に聞こえてきた。	粕谷和夫 繁殖 3 八王子 7J
549	インヒヨドリ	2022/4/23	1羽	浅川・山田川合流付近の水管橋	オス。浅川右岸山田川合流付近にいた個体が水管橋に移動、その後見失う。	カワセミセジュニアクラブ参加者一同 繁殖 3 八王子 8H
549	インヒヨドリ	2022/4/23	1羽	豊田駅南口多摩信用金庫付近	オス。豊田駅南口多摩信用金庫並びに西隣のビル。多摩信用金庫の西隣のビル 8 階の手すり止まって囀っていたがしばらくして多摩信用金庫の駐車場に舞い降りて車の陰に隠れた。	岡本昭男 繁殖 3 武蔵府中 0J
549	インヒヨドリ	2022/4/24	1羽	湯殿川左岸春日橋付近	オス、4階ビルの屋上でさえずり続けた後に近くの住宅団地に移動	粕谷和夫 繁殖 3 八王子 9H
549	インヒヨドリ	2022/4/24	1羽	湯殿川右岸湯殿橋付近(北野駅南口)	オス、はけたビルの屋上からさえずりの声	粕谷和夫 繁殖 3 八王子 8G

549	イソヒヨドリ	2022/4/24	1羽	JR 片倉駅南口駅舎	メス、駅舎の屋根雨どいのような所で餌を捕り、その場で食べる	粕谷和夫	繁殖 3 八王子 7G
549	イソヒヨドリ	2022/4/25	1羽	自宅(高尾町)	♀。14 時 30 分頃。自宅で遅い昼食をとっていた時突然庭にイソヒヨドリ「♀1羽」が降りて来た。そして花壇の中に入り採食していた。数分後に西側方面に飛び去った。	福本順吉	繁殖 3 八王子 2G
549	イソヒヨドリ	2022/4/26	1羽	JR 八王子駅北口の西側付近	5 時 30 分。オス。野猿街道の中央線陸橋から北側のビルの上からさえずり。	粕谷和夫	繁殖 3 八王子 7J
549	イソヒヨドリ	2022/4/27	2羽	JR 高尾駅付近	JR 高尾駅付近の高尾パークハイツ公園。オスが滑り台の上にとまり、メスは滑り台付近で地面の虫を食べていました。オスの囀りがとてもきれいに響いていました。	宮本真理	繁殖 3 八王子 3G
549	イソヒヨドリ	2022/4/28	1羽	JR 八王子駅北口	京王プラザホテル駐車場横のマンション 餌(トカゲ?)をくわえた♀が換気口(2F)に入る	古山隆	繁殖 5 八王子 7J ①
F 549	イソヒヨドリ	2022/4/30	1羽	日野市 イオン多摩平の森店	♂。イオンの屋上で囀った後階下の駐車場へ入って行き暫くして出て来るといなくなりましたが又近くで囀る声がしていました	浜田早苗	繁殖 4 武蔵府中 ④ OK
549	イソヒヨドリ	2022/5/4	1羽	大栗川・新道橋上流 100m 右岸	7:00 頃。オス。八王子市堀之内 3 丁目。右岸沿いの電線にとまり、盛んにさえずりを繰り返す。	佐藤哲郎	繁殖 3 武蔵府中 2E
549	イソヒヨドリ	2022/5/4	1羽	高尾駅北口付近	甲州街道「高尾駅第 2」信号から 100m 西側の街道沿いマンションの 4 階ベランダの下の隙間(昨年営巣した場所)にメスが入り、数分後に出てきて北の方向に飛んで行った。	粕谷和夫	繁殖 4 八王子 2G ③
F 549	イソヒヨドリ	2022/5/4	1羽	浅川・大和田橋と八高線 鉄橋中間付近右岸	(♂)。複数のビルの屋上を次々に飛び移ったり、外灯の上で止まったり、ビル 2F から階段部分を抜けて 3F に抜けたりしていたが途中で見失った。	荻島伸介	繁殖 3 八王子 8J
549	イソヒヨドリ	2022/5/5	1羽	西八王子駅南口付近 (西ハイイツ附近)	オス。西ハイイツ西横の電線に止まり、しばらく鳴いていた。	木村晴美	繁殖 4 八王子 5J ④
549	イソヒヨドリ	2022/5/6	1羽	JR 八王子南口東側付近	オスがビルから隣のビルに移動し、屋上で鳴いていた。	粕谷和夫	繁殖 3 八王子 7J
549	イソヒヨドリ	2022/5/6	1羽	北野駅北口新湯運輸	メスが新潟運輸(昨年の営巣場所)の方に飛んで行ったが見失った。	粕谷和夫	繁殖 3 八王子 8J
F 549	イソヒヨドリ	2022/5/6	1羽	高尾駅 グルメシティ前のマンション	オス。階段の折り返しの穴が巣になっていました。巣立ちを促すように鳴いていました。	関谷孝	繁殖 5 八王子 3G ①
549	イソヒヨドリ	2022/5/7	1羽	湯殿川・白旗橋付近	オス。マンションの屋上角のしばらくの間止まっていた。	粕谷和夫	繁殖 3 八王子 5F
549	イソヒヨドリ	2022/5/7	1羽	横浜線片倉駅	メス。駅舎にいて、近くの電線に移り、その後マンションの屋上へ行った。	粕谷和夫	繁殖 3 八王子 7G
549	イソヒヨドリ	2022/5/7	2羽	八王子市片倉町(北野街道横浜線踏切付近)	♂1, ♀1。北野街道横浜線踏切南側数 10m 付近の住宅と農地の間の草地(斜面)、探餌中? ♀1 が突然飛び立ち傍の電線に止まり、やがて奥へ飛び去る。その数m 先に進むと、♀1 も何処から来たのか頭上の電線に止まる。	門口一雄	繁殖 3 八王子 8G
549	イソヒヨドリ	2022/5/7	1羽	日野市東豊田 2 丁目	正午ごろ。日野市東豊田 2 丁目の「日野市東豊田市民農園」の T 西側柵。(浅川左岸、一番橋を上流へ 100m ほど)。オスが 1 羽。市民農園の柵と西側の民家の屋根上を行ったり来たりしていた。時折、市民農園内に積まれているくず野菜をつついていた。(会員外からの情報)		繁殖 3 武蔵府中 1K
549	イソヒヨドリ	2022/5/8	1羽	西八王子駅南口付近 (西ハイイツ附近)	オス。7:45、西ハイイツ西側のマンションの上で鳴いていた。	木村晴美	繁殖 4 八王子 5J ④
549	イソヒヨドリ	2022/5/14	1羽	大栗川(新道橋上流側 20m)	7:50 頃。メス。餌をくわえたイソヒヨドリ♀が右岸から左岸に飛んだ。新道橋北詰近くの資材置場(?)の建屋付近で見失った。	佐藤哲郎	繁殖 4 武蔵府中 ① F
549	イソヒヨドリ	2022/5/14	-3羽	北野駅南口附近	2~3 羽。最近(数か月前頃から)自宅近所で鳴き声が聞こえた Y ので引越してきたのだと思います。ご参考になれば幸いです。主に午前中。京王線北野駅南口オートバックス周辺。何羽(わかればオス・メス別): 2~3 羽、オスは確実に 1 匹見ました。(エサ取りに地上に来たところを目撃)(会員外からの情報)		繁殖 4 八王子 8G ④
549	イソヒヨドリ	2022/5/15	2羽	西八王子駅南口付近 (西ハイイツ附近)	西ハイイツ南の民家の庭でジュンベリーを採餌。オスもメスもこれまで 4~5 回来ていたとのこと。	木村晴美	繁殖 4 八王子 5J ①
549	イソヒヨドリ	2022/5/16	2羽	八王子みなみ野駅西口の量販店	♂♀。アクロスモール立体駐車場の 3 階の北西側の営巣、親 2 羽が餌運び中でした。	粕谷和夫	繁殖 4 八王子 6F ①
549	イソヒヨドリ	2022/5/16	1羽	八王子みなみ野駅西口の量販店	♀。アクロスモール立体駐車場の 3 階の南東側に営巣、餌運び中でした。同じフロアに昨年同様に 2 ペアが営巣中でした。	粕谷和夫	繁殖 4 八王子 6F ①
549	イソヒヨドリ	2022/5/16	1羽	八王子みなみ野駅西口	♂。山梨中央銀行やその隣のマンションベランダ、量販店 SANWA の付近を移動していたが、姿を見失う。アクロスモール立体駐車場の 2 ペアとは異なる個体である。	粕谷和夫	繁殖 4 八王子 6F ④
549	イソヒヨドリ	2022/5/16	1羽	大栗川右岸(大栗川橋と新道橋の中ほど)	8:00 頃。オス。右岸に面した 4 階建て集合住宅の屋上角でさえずる。	佐藤哲郎	繁殖 3 武蔵府中 2E
549	イソヒヨドリ	2022/5/17	1羽	大栗川と大田川合流付近	オス。合流部緑地にいた。大田川から飛んで来て緑地で餌らしき物を啜って大栗川左岸の方へ飛んで行った。	工藤正子	繁殖 4 武蔵府中 ① 1E
549	イソヒヨドリ	2022/5/17	1羽	大栗川右岸・大栗川公園傍 マンション	オス。マンションの玄関の上で何かをついばんでいた。その後 雨の降る中、電線に飛び移った。カメラをむけても飛び立たずのんびりしていた。	中野恵理子	繁殖 4 武蔵府中 ④ 1E
549	イソヒヨドリ	2022/5/18	1羽	みなみ野アクロスモール 2 階	雌。アクロスモール 2 階パーキングゲートの竿の上。買い物をする為車でパーキングに入る時東の方から飛んで来て竿の上に留まり直ぐに建物の外へ出ていった。	市村緑	繁殖 3 八王子 6F

549	イソヒヨドリ	2022/5/19	1羽	高尾駅南口駅前大型マンション付近(1階がグルメリテイダイエー)	オス。マンション北側の外付け階段付近でさえずっていた。	粕谷和夫	繁殖3 八王子2G
549	イソヒヨドリ	2022/5/19	1羽	高尾駅北口付近(駅前)	オス。駅前のビルの屋上でさえずっていた。	粕谷和夫	繁殖3 八王子2G
549	イソヒヨドリ	2022/5/19	1羽	高尾駅北口付近(甲州街道沿い)	オス。甲州街道「高尾駅前第二信号」角の木造住宅2階の切妻の隙間に餌を啜って出入りしていた。(本年新規営巣)	粕谷和夫	繁殖5 八王子2G ①
549	イソヒヨドリ	2022/5/19	1羽	高尾駅南口(東浅川小学校付近)	オス。電線でさえずっていた。	粕谷和夫	繁殖3 八王子2G
549	イソヒヨドリ	2022/5/19	1羽	西浅川町(国道20号から旧甲州街道に入って約50m付近)	オス。昨年営巣した民家の付近でさえずっていた。	粕谷和夫	繁殖3 八王子1G
549	イソヒヨドリ	2022/5/19	2羽	南大沢イトーヨーカドー立体駐車場6階	オス+メス。オスが獲物をくわえて6階南西の角に飛び込んだ。その後その近くの6階のフェンスにメスが止まっていた。駐車場6階は閉鎖されていて、その階へは行けなかった。	岡田浩郎	繁殖4 武蔵府中 ① 0D
549	イソヒヨドリ	2022/5/19	1羽	西八王子駅南口付近(西八ハイイツ附近)	西八ハイイツ屋上付近から鳴き声	木村晴美	繁殖4 八王子5J ④
549	イソヒヨドリ	2022/5/20	1羽	京王八王子駅	オス。駅舎の屋上でさえずっていて、近くのマンションの屋上に移動した。	粕谷和夫	繁殖3 八王子7J
549	イソヒヨドリ	2022/5/20	1羽	山田川の中央線ガード付近(北野町)	オス。数本の電柱のてっぺんを移動しながらさえずっていた。	粕谷和夫	繁殖3 八王子8H
549	イソヒヨドリ	2022/5/20	1羽	日本通運の倉庫(明神町2丁目の交差点)	オス。昨年営巣した日本通運の倉庫の隣のマンションの屋上でさえずっていた。	粕谷和夫	繁殖3 八王子8J
549	イソヒヨドリ	2022/5/20	1羽	北野駅南口(下田橋付近)	オス。マンションの上の方からさえずりが聞こえた。	粕谷和夫	繁殖3 八王子8G
549	イソヒヨドリ	2022/5/20	1羽	北野駅南口(打越大橋付近)	オス。コナミスポーツクラブの建物周辺を動き回る。地上に降りて採餌もするが、採った餌は食べてしまい、餌運び行動は無し。	粕谷和夫	繁殖3 八王子8G
549	イソヒヨドリ	2022/5/20	1羽	北野駅南口(八幡橋付近)	オス。右岸、橋詰めのマンションの屋上にいたが橋の街路灯のてっぺんに移動してきた。盛んに空を見上げていたので注視していると近くのマンションの屋上にチョウゲンボウがいた。	粕谷和夫	繁殖3 八王子8G
549	イソヒヨドリ	2022/5/21	2羽	明神町3-3(交差点角のビル)	♂♀。昨年営巣した松姫最中ビルの通気孔に出入りしていたが、餌は啜えていなかった。	粕谷和夫	繁殖4 八王子7J ④
549	イソヒヨドリ	2022/5/21	1羽	JR八王子駅北口東側	オス。京王プラザホテル駐車場の南側のマンションの屋上でさえずっていた。	粕谷和夫	繁殖3 八王子7J
549	イソヒヨドリ	2022/5/21	1羽	七生中学校	イソヒヨドリは早朝の中学校のアンテナで囀っていただけで、営巣には至りませんでした。残念ですがこの近くでイソヒヨドリを見ることもないこの頃です。	岡本昭子	繁殖3 武蔵府中1H
549	イソヒヨドリ	2022/5/21	1羽	西八王子駅南口付近(西八ハイイツ附近)	オス。西八ハイイツ横の電線に止まり鳴いていた。5/5と同じ場所。	木村晴美	繁殖4 八王子5J ④
549	イソヒヨドリ	2022/5/22	1羽	八王子市南町	オス。真宮病院東側の複数のマンションの屋上を移動しながらさえずり続けていた。	粕谷和夫	繁殖3 八王子6J
549	イソヒヨドリ	2022/5/22	1羽	町田街道の佐藤製薬と狭間住宅の間	16時半頃、町田街道の佐藤製薬と狭間住宅(狭間1464-1)の間の電信柱でっぺんにイソヒヨドリ1羽確認しました。その後狭間住宅敷地内に飛んで見えなくなりました。実は、1~2週間前にも佐藤製薬の屋根の辺りに1羽見かけてました。	木田典子	繁殖3 八王子3G
549	イソヒヨドリ	2022/5/22	1羽	八王子市小門町	15時30分頃、今井はり治療院の向かい側の建物の上でイソヒヨドリのオスがいました。とても綺麗な声で鳴いていました。(会員外からの情報)		繁殖4 八王子6J ④
F 549	イソヒヨドリ	2022/5/22	1羽	城山川・三村橋付近	(♂)。城山川・三村橋付近の民家の屋根で白い餌を啜ったイソヒヨドリ(♂)の姿を確認しました。観察を続けると都道脇の電柱から中央自動車道の南側法面に移動するのを何度か確認したが、法面は立入禁止場所のため詳細な行き先や利用目的(採餌・営巣等)は確認できませんでした。	荻島伸介	繁殖4 拝島4A ①
549	イソヒヨドリ	2022/5/23	1羽	町田街道の佐藤製薬と狭間住宅の間	昨日に続き、今日もイソヒヨドリ1羽目撃の報告です。昨日見た場所(佐藤製薬と狭間町1464-1の共同住宅の境)の近辺を、時に口に獲物をくわえて、ひっきりなしに飛び交っていました。朝も夕方も何度見たことか…双眼鏡を一日中手離せませんでした。	木田典子	繁殖3 八王子3G
549	イソヒヨドリ	2022/5/23	1羽	自宅マンション(桐田町)	12時30分頃、自宅マンション(桐田町)の立体駐車場でイソヒヨドリの雄一羽を見かけました。壁の上を走っていました。	目黒明子	繁殖3 八王子5F
549	イソヒヨドリ	2022/5/23	1羽	JR八王子駅北口	まちづくり公社 屋上 囀り	古山隆	繁殖4 八王子7J ①
549	イソヒヨドリ	2022/5/24	1羽	JR八王子駅南口(東側)	メス。駅ビルから約50mの近さの所の2階民家の屋根裏のような所にはいる。餌は啜って無かった。	粕谷和夫	繁殖4 八王子7J ④
549	イソヒヨドリ	2022/5/24	1羽	南新町19番地の電線とその近くのマンション	メス。真宮病院西東側の電線からその近くのマンションの屋上に移動したが、その後姿を見失う。餌は啜えていなかった。	粕谷和夫	繁殖3 八王子6J
549	イソヒヨドリ	2022/5/24	2羽	鎌水パークフィエネ4番館~鎌水2丁目団地	雄、雌。朝のお散歩時に囀る声の方を見上げると、つがいで居るところでした。暫く見ていると鎌水2丁目団地の方に飛んで行った。	市村緑他1名	繁殖3 八王子9C
549	イソヒヨドリ	2022/5/24	1羽	高尾駅北口	白鳥医院のビルのアンテナで♂が囀っていた。	千葉慎子	繁殖3 八王子2G

549	イソヒヨドリ	2022/5/24	1羽	西八王子駅南口付近 (踏切近くのマンション)	踏切近くのマンションで鳴き声	木村晴美	繁殖 4 八王子 5J ④
549	イソヒヨドリ	2022/5/24	1羽	高幡不動駅南口	「高幡不動駅入口」交差点南側のビル(1F メガネスーパー)の南側の住宅の庭先やマンション前の駐車場等で続けざまに餌を捕り、嘴でくわえて飛び立つ。向かった先はビルの裏側。ここにはイソヒヨドリが営巣でよく利用するタイプの換気口があり、ここに入った可能性あり。	古山隆	繁殖 4 武蔵府中3 ① J
549	イソヒヨドリ	2022/5/25	1羽	松木浅間神社北側の畑 (八王子市松木 54-19)	雌。ジャガイモ畑のテントの上に留まっていたが暫くすると隣の畑に飛び立った。	市村緑	繁殖 3 武蔵府中 1E
549	イソヒヨドリ	2022/5/26	1羽	八王子市八幡町	オス。「きもの・にしわ」付近を移動していたが巣の位置は特定できず。餌を啜って無かった。	粕谷和夫	繁殖 4 八王子 6J ④
549	イソヒヨドリ	2022/5/26	1羽	八王子市南町	オス。真宮病院東側の複数のマンションの屋上を移動しながらさえずり続けていた。	粕谷和夫	繁殖 3 八王子 6J
549	イソヒヨドリ	2022/5/26	1羽	南大沢駅付近(イトウウカ堂の北側)	♂。イトウウカ堂の北側の屋上とその隣りのビルの屋上	粕谷和夫	繁殖 4 武蔵府中 ④ OD
549	イソヒヨドリ	2022/5/27	2羽	町田街道の佐藤製菓	5月26日、イソヒヨドリの巣の位置をほぼ確定できました。メスと思しき個体(数日前と昨日確認)がいつも姿を消す辺りに、青虫をくわえたオスも入っていき、すぐに出てきたオスの口に獲物は無くなっていました。という事で、佐藤製菓の平屋の建物の屋上の縁に営巣していると思われます。5月27日は、風が少し収まったもののまだ雨の中、オスが姿を見せました。雨が上がり、メスもエサ探しに動き回っています。	木田典子	繁殖 4 八王子 3G ①
549	イソヒヨドリ	2022/5/27	1羽	西八王子駅南口付近	♂。昨年営巣した場所(散田3丁目9田沢ビル付近)から♂が飛び出し、近くの電線に止まった。	粕谷和夫	繁殖 4 八王子 5J ④
549	イソヒヨドリ	2022/5/27	1家	京王線平山城址公園駅の北北東約200m	♂の鳴き声を追尾すると2階建ての民家に巣立ちヒナがいた。危うい飛翔で窓枠にしがみついたり、排気口(野鳥の出入りはできない)へ進入しようとしたり。成鳥♂はその屋根にいたり、地面で採餌?をしたり。やがて2羽が揃って駅方面へ飛び去った。	玉木雅治	繁殖 4 武蔵府中 ② OH
549	イソヒヨドリ	2022/5/27	1羽	南大沢1丁目 WILD-1 向かい太田川右岸	右岸側から目の前を横切り川の柵に止まりすぐ飛び去った。色の鮮やかな個体だった。「WILD-1」とは南大沢にあるアウトドアスポーツ用品店の事です。	中野恵理子	繁殖 4 武蔵府中 ④ 1D
549	イソヒヨドリ	2022/5/27	1羽	石川町コニカミノルタ八王子	2月に来ていたイソヒヨドリの雄ですが、やはりコニカミノルタ八王子内で繁殖しているようで昨日餌をもって呼んでいる様子を観察したそうです。ただ、雌やヒナは見れていないとの事。主人会員ではないので鳥信にはしません。♂。AM12:30頃。餌をもって呼んでいる感じだったそうです。	今野美代子	繁殖 5 拝島 9A ①
549	イソヒヨドリ	2022/5/28	1羽	明神町3-3(交差点角のビル)	♂。昨年営巣した松姫最中ビルの近くに♂がやって来たが、餌を啜ってなく、今年の巣(通気孔)にも入らなかった。	粕谷和夫	繁殖 4 八王子 7J ④
549	イソヒヨドリ	2022/5/29	1羽	八王子市八幡町	オス。「きもの・にしわ」付近で声を聞いた。何度も何度も探したが姿は確認できなかった。	粕谷和夫	繁殖 4 八王子 6J ④
549	イソヒヨドリ	2022/5/29	1羽	JR 八王子駅南口(東側)	メス。5/24 観察と同じ場所、駅ビルから約50mの近さの所の2階民家を移動していた。餌は啜って無かった。	粕谷和夫	繁殖 4 八王子 7J ④
549	イソヒヨドリ	2022/5/29	1羽	西八王子駅南口付近	メス。昨年営巣した場所(散田3丁目9田沢ビル付近)。5/27に観察した同じ場所で餌運びをしていた。	粕谷和夫	繁殖 4 八王子 5J ①
549	イソヒヨドリ	2022/5/29	2羽	高尾駅南口駅前大型マンション付近(1階がゲルメシテイダイエー)	オス・メス。マンション北側の外付け階段に2羽が来ていたが、2羽とも餌は啜っていなかった。	粕谷和夫	繁殖 4 八王子 2G ④
549	イソヒヨドリ	2022/5/29	2羽	高尾駅北口付近(甲州街道沿い)	オス・メス。甲州街道「高尾駅前第二信号」角の木造住宅2階の切り妻の隙間の巣の近くに2羽が来ていたが、2羽とも餌を啜っていなかった。	粕谷和夫	繁殖 5 八王子 2G ①
549	イソヒヨドリ	2022/5/29	1羽	高尾駅北口付近(甲州街道沿い)	オス。甲州街道「河原宿バス停」南側のマンション(マイキャッスル高尾)の階段のような所に餌を啜って入った。	粕谷和夫	繁殖 4 八王子 2G ①
549	イソヒヨドリ	2022/5/29	2羽	西浅川町(国道20号から旧甲州街道に入って約50m付近)	巣立ち直後の雛2羽。昨年営巣した民家の屋根にいた。親が運んで来る餌を待っているような素振りが見られた。	粕谷和夫	繁殖 5 八王子 1G ⑤
549	イソヒヨドリ	2022/5/29	1羽	イトウウカ堂狭間店	オスが屋上にいて、そこから立体駐車場に入って行った。	粕谷和夫	繁殖 4 八王子 3G ④
549	イソヒヨドリ	2022/5/29	1羽	めじろ台駅付近	メス。駅隣りの大規模マンションの屋上にじっと止まっていた。	粕谷和夫	繁殖 4 八王子 4G ④
549	イソヒヨドリ	2022/5/29	1羽	西八王子駅北口の約600m東側(追分町3丁目)	オス。八王子整形外科と中央線の間の路上	野口佐和子	繁殖 3 八王子 5J
549	イソヒヨドリ	2022/5/30	2羽	西八王子駅北口の約600m東側	追分町3丁目、オスが中央線の線路状、メスとその近くに電線に止まっていた。2羽とも餌運びはしていなかった。	粕谷和夫	繁殖 3 八王子 5J
549	イソヒヨドリ	2022/5/30	1巢	狭間・ヤマダ電機辺り	狭間のイソヒヨドリについて報告です。今年も桜の開花の頃に、狭間のヤマダ電機辺りに姿を見せて、美声を聞かせてくれました。3月下旬だったので、去年よりは遅めだと思いました。4月頃は、雄の姿もよく見られました。例年通り、ヤマダ電機の駐車場で子育て中と分かる時期には、見かけるのが雌ばかりになりました。最近、巣立ちした幼鳥の世話をしているのを見るのも雌のほうです。雄はどこに?とってしまいます。この子	A	繁殖 5 八王子 3G ③

				育ての時期以外は、この場所ではあまり姿を見なくなります。それにしても毎年の営巣、こんなに車や人の多い所でして、きれいな声も聞かせてくれて嬉しく思っています。(会員外からの情報)		
549	イソヒヨドリ	2022/6/1	1羽	横浜線片倉駅	オス。片倉駅の巣がようやく確定できた。巣の場所は横浜方面 粕谷和夫 プラットホームの高架下であった。オスが餌を啜る巣のあると 思われる所に入り、ヒナの糞と思われる白い袋を啜って出て きた。	繁殖 5 八王子 7G ①
549	イソヒヨドリ	2022/6/1	2羽	八王子みなみ野 4 丁目	オス・メス。「みなみ野野田小学校入口」信号付近。ビルの屋上 粕谷和夫 や地上を動き回っていた。2羽とも餌は啜えて無かった。	繁殖 4 八王子 6F ④
549	イソヒヨドリ	2022/6/1	1羽	八王子みなみ野駅西口 付近	オス。郵便局隣の第 1 学生会館 3 棟の屋上やベランダを移動 粕谷和夫 していた。	繁殖 4 八王子 6F ④
549	イソヒヨドリ	2022/6/1	2羽	松木浅間神社北側の畑 (八王子市松木 54-19)	雄、雌。松木浅間神社北側の戸建て住宅の屋根。観察した場 市村緑 所よりさらに北側の戸建て住宅の屋根に雌がいて、その脇の 電線の上に綺麗に囀る雄が居た。	繁殖 4 武蔵府中 ④ 1E
549	イソヒヨドリ	2022/6/1	2羽	自宅西北榎本模型店 (高尾町)	雌 1 と幼鳥 1 羽。16 時 55 分から 17 時 20 分。自宅西北榎本模 福本順吉 型店屋上テレビアンテナや近辺の住宅の屋根など右往左往し ていた。多分西側マンションからの巣立ちした親子と推定。そ の他:ウグイス1、ガビチョウ1 自宅前金比羅山中腹から声	繁殖 4 八王子 2G ②
549	イソヒヨドリ	2022/6/3	2羽	中央高速道橋・八王子 インター入口付近	オス・メス。国道 16 号沿い富士工業と南関東日野自動車八 粕谷和夫 王子支店の屋上を移動して、メスは餌を啜っていた。	繁殖 4 拝島 6A ①
549	イソヒヨドリ	2022/6/4	1羽	南大沢駅付近(イトウ ウカ堂の南側)	♂。イトウウカ堂の南西の角の外付け階段。餌は啜えていな 粕谷和夫 かった。	繁殖 4 武蔵府中 ④ 0D
549	イソヒヨドリ	2022/6/4	1羽	南大沢駅付近(三井ア ウトレット)	♂。毎年営巣する屋上にいた。餌は啜えていなかった。 粕谷和夫	繁殖 4 武蔵府中 ④ 0D
F 549	イソヒヨドリ	2022/6/4	2羽	八王子市みなみ野	5月末から自宅建物前に現れ、定期的に囀り、フィーンフィーン 高橋靖乃 ンという声やカラカラという声もします。メスは左の足先が欠損 していますが、みごとにハチを捕らえ、2羽の雛の子育て中で す。	繁殖 5 八王子 5E ①
F 549	イソヒヨドリ	2022/6/4	2羽	八王子市みなみ野	先に投稿したイソヒヨドリのペアとは別のペアの雛と思われ 高橋靖乃 ます。建物の手すりの下や自転車置き場の屋根の上を歩きま わり、フンもよく落としています。	繁殖 5 八王子 5E ⑤
549	イソヒヨドリ	2022/6/5	数巣	八王子みなみ野駅前他	今年も鳥たちの賑やかな繁殖期がやってまいりました。毎日、N 囀りを楽しんでおります。八王子みなみ野駅前もアクロスモ ールやみなみ野大橋北側のマンションシュタールの巣が定着し てきたようで、今年もイソヒヨドリが一生懸命、巣を守っている 様子が見られます。昨年と変わったことは、Dmc ホーマックの 裏側、線路沿いの坂道の雑木に、ガビチョウがやって来て盛 んに鳴くため、ホーマック裏側でイソヒヨドリを見る頻度が減り ました。かわりにホーマックの屋根上や郵便局のある交差点 の看板など、正面で姿を見ることが増えました。外来種のガビ チョウですが、爆発的に増えたりすることなく、日本の野鳥と うまく付き合っていけることを願います。(会員外からの情報)	繁殖 5 八王子 6F ①
549	イソヒヨドリ	2022/6/7	1羽	高尾駅南口 グルメン ティ近くのビル	オス。オスが餌を啜え、尾羽を振りながら盛んに鳴いていた。 関谷孝 雛の巣立ちを促しているかのようなようだった。場所は、高尾グル メンティを背にして、左に郵便局。小道を挟んで右の白い壁の建 物です。ここの非常階段に巣があると思います。先日ビデオを 送りましたが、ここで何度も見えています。	繁殖 4 八王子 3G ②
549	イソヒヨドリ	2022/6/8	1羽	北野駅北口駅前	メス又は幼鳥。駅前交番の裏のビルの屋上にいて、時々駅前 粕谷和夫 広場の地面に降りて来て、スズメ、ハクセキレイ、ドバトとと もにパンくずのようなものを食べていた。	繁殖 4 八王子 8G ④
549	イソヒヨドリ	2022/6/9	1羽	高尾駅北口駅前	オス。駅前のビルの屋上でさえずっていた。 粕谷和夫	繁殖 4 八王子 2G ④
549	イソヒヨドリ	2022/6/11	2羽	川口川・川口川橋付近	オス、メスが巣に餌運び中。川口川橋近くの米屋さん(2階建 粕谷和夫 家屋)の通気孔に営巣。中に巣があると思われる通気孔に親 2羽が餌を啜って出入りしていた。川口川橋は浅川の浅川橋 の北側近くにある橋、浅川橋では数年前からイソヒヨドリが観 察されていたが営巣場所は確認出来ていなかった。今回見つ かった巣は浅川橋で目撃されていた個体のものと推定され る。	繁殖 5 八王子 6K ①
549	イソヒヨドリ	2022/6/11	1羽	高尾駅北口前のビル	8 時 20~30 分頃、高尾駅前のビルのアンテナでイソヒヨドリ T のみがずっとさえずっていました。既に定着が確認されている 地域だと思いますが、お知らせまで。(会員外からの情報)	繁殖 4 八王子 2G ④
549	イソヒヨドリ	2022/6/12	2羽	浅川・一番橋北、工事中 の往還沿いのマンショ ン	雌雄。マンションの駐車場の車の屋根に雌が止まっていた。そ 岡本昭子 の後移動し電柱の上で往来を見ていたが、やがてマンション の 5 階西端の階段に入った。入れ替わって雄がそこから出て きて往還の右方向に飛んで行った。抱卵中かもしれません。	繁殖 5 武蔵府中 1 ③ J
549	イソヒヨドリ	2022/6/15	1羽	日野市・立日橋北交差 点付近	午後 5 時 50 分頃、立日橋北交差点の交番の裏手で、イソヒ Y ヨドリのオスが 1 羽、電線にとまっていた。その後、建物の 上に移動した後モノレールの向こうに飛んでいってしまいま した。(会員外からの情報)	繁殖 3 立川 2B
549	イソヒヨドリ	2022/6/16	1羽	自宅(下恩方町)付近	♀。桑の実を食べに自宅付近に現れる 清水盛通	繁殖 3 拝島 0A
549	イソヒヨドリ	2022/6/18	2羽	八王子市本町	本町 12-14。6 月 1 日 16 時半頃 オス♂1 羽、家の裏の窓に向 M かって、何度か飛んできた。小屋根にとまったところをじっくり 観察できた。6 月 18 日 9 時半頃 メス♀1 羽、家の庭にいて、 近づいても飛びたさないため、じっくり顔を観ることができ	繁殖 3 八王子 6K

				た。(会員外からの情報)			
	549	イソヒヨドリ	2022/6/22	1羽オス 浅川・一番橋北付近の 人家の屋根	屋根の上でしばらく囿っていたが数軒先の電柱に移動してから飛び去った。	岡本昭男	行動 武蔵府中 1J
	549	イソヒヨドリ	2022/6/23	1羽メス 浅川・一番橋北付近の 人家の屋根	人家の屋根にいたが庭に下りて餌を探していたがその後飛び去った。同じような場所で連日雌雄を見かけたので近くで営巣しているか探したが見つからない。	岡本昭男	行動 武蔵府中 1J
	549	イソヒヨドリ	2022/6/28	1羽 自宅(高尾町)付近	朝6時50分頃。自宅西側屋根に雌1羽が飛んできてすぐに西福本順吉側の駐車場の方へ飛び去った。その他。ウグイス、ガビチョウ、ヒヨドリ	福本順吉	行動 八王子2G
	554	コサメビタキ	2022/4/24	1羽 北浅川・鞍骨沢	尾根上で囿りを聞く	古山隆	初認 与瀬5K
F	554	コサメビタキ	2022/4/25	2羽 裏高尾	番なのか、オス同士で追いかけあっているのか、2羽が一緒にいました。	宮本真理	希少 与瀬9G
	554	コサメビタキ	2022/6/12	1羽 八王子市城跡(御主殿 跡付近)	餌運びをしていた。	八王子城跡から松竹月例探鳥会	繁殖4 八王子0H ①
	554	コサメビタキ	2022/6/16	2羽 今熊神社遥拝殿前の駐 車場	遥拝殿前の木にいたが、飛び去ってしまった。	粕谷和夫、玉木雅治	希少 五日市7E
	558	キビタキ	2022/4/19	1羽 小宮公園	エナガの巣を観察してる時、巣の近くにエナガではない鳥が来た。キビタキが巣の近くに來すぎてエナガとバトルになり追い出され、その後近くで囿っていた。キビタキは小宮公園で営巣しますので秋まで綺麗なさえずりを聞くことができます。	井上京子	初認 拝島7A
F	558	キビタキ	2022/4/25	1羽 裏高尾	あつという間でしたが、今季初見です。夏鳥が来たんだと思いました。	宮本真理	行動 与瀬9G
	558	キビタキ	2022/4/28	1羽 永林寺(八王子市下柚 木)の境内	オス1羽の鳴き声が境内から聞こえてきた	山崎久美子	行動 武蔵府中 0F
	558	キビタキ	2022/4/30	1羽 日野市・高幡不動尊内	オス。7:30。高幡不動尊内でさえずりを響かせていました。コジュケイの鳴き真似を練習中のようでしたが、上手に鳴いていました。	小川圭太	行動 武蔵府中 3J
F	558	キビタキ	2022/4/30	1羽 日野市 高幡不動尊内	鳥信にて報告したコジュケイの鳴き真似練習中の個体ですが、写真を撮ってみると黄色の部分も少なく若いオスのようです。	小川圭太	行動 武蔵府中 3J
	558	キビタキ	2022/5/3	1羽 高尾、狭間公園	8時45分頃。盛んにさえずっていた。都市公園での観察なので報告しました。	加藤岸男	行動 八王子3G
	558	キビタキ	2022/5/3	1羽 湯殿川(トヨタ自動車学 校前)	12:00頃 湯殿川上流へ向かって探鳥中鳴き声を聴きました。	中山尊人、中山千晶	行動 八王子4F
F	558	キビタキ	2022/5/12	2羽 小宮公園	5月の野鳥定期カウントのフィナーレに、見易いところに止まってくれました。11名の参加者全員が見ることができました。	田中博之	行動 拝島7A
	558	キビタキ	2022/5/15	1羽 多摩病院前	12:10。多分多摩病院の林。多摩病院のほうから綺麗なキビタキの囿りが聞こえてきました。3年連続の確認です。小宮公園へのルートが少なくなってるんですね。	今野美代子	繁殖4 拝島6B ⑥
	558	キビタキ	2022/5/15	1羽 多摩御陵参道	13:00頃。鳴き声を聴くことが出来ました。	中山尊人、中山千晶	行動 八王子3H
	558	キビタキ	2022/5/17	6羽 日影林道から小仏城山 經由一丁平	11時頃。オス。日影・キャンプ場→日影林道→小仏城山→一丁平間の6か所でさえずりを聞いた。皆で探したが姿は確認できなかった。日影キャンプ場から日影林道の間でキビタキ6個体のさえずりを楽しんだ。	門倉美登利・高尾山ツアー参加者16名	行動 与瀬8E
	558	キビタキ	2022/5/18	1羽 松木日向緑地(東京都 立大学構内)	7:50頃。イモリ池北側の木立からさえずりが聞こえた。当緑地では初認。	佐藤哲郎	行動 武蔵府中 0D
	558	キビタキ	2022/5/19	声 鏈水中学校下	声のみ。鏈水中学校下、板木会館付近の林の中。朝のお散歩中林の奥の方で囿る声を聞いた。この場所で昨年と同じ様な声を聞いたが今年はじっくりと聞きキビタキの声と断定出来た。	市村緑	行動 八王子8C
	558	キビタキ	2022/5/26	2羽 滝山城跡(千畳敷付近)	10時頃。2か所できれいなさえずりを聞いた。皆で探したが姿は確認できなかった。	門倉美登利渡辺悦子他25名	行動 拝島6D
	558	キビタキ	2022/5/27	1羽 川町谷戸	しいたけほだぎ林でオスがさえずり続けていた。	粕谷和夫	繁殖4 八王子2K ⑥
	558	キビタキ	2022/6/3	1羽 自宅	声。AM11:40。多摩病院の林のほうからまた綺麗なキビタキの囿りが聞こえてきました。まだ移動しているんですね。今年はキビタキが多い気がします。声はやっぱり小宮方面に遠くっていきました。	今野美代子	行動 拝島6B
F	561	オオルリ	2022/4/12	1羽 黒川清流公園	♂。あずまや近くの高木で枝移りしながら囿っていました。ンコウチョウの「ホイホイホイ」も2度聞こえましたが姿は確認出来ませんでした	サ 浜田早苗	初認 武蔵府中 1K
	561	オオルリ	2022/4/16	1羽 北浅川・鞍骨沢	囿り(初認)	古山隆	初認 与瀬5K
	561	オオルリ	2022/4/17	8羽 小下沢林道	8:30~11:00頃。夏鳥調査中 8か所で確認出来ました。	中山尊人、中山千晶	初認 与瀬(7J、 7H、8H、 9H)
	561	オオルリ	2022/4/19	1羽 小宮公園	毎年この時期に小宮公園を通過する。運が良いと鳴き声と姿が見れる。今回は鳴き声が聞こえた。	井上京子	初認 拝島7A
F	561	オオルリ	2022/4/23	1羽 八王子城跡 御主殿跡	コマドリの囿りも聞こえました。駐車場の付近では、ウスバシロチョウが乱舞していました。	田中博之	初認 八王子0H

		の高木					
F 561	オオルリ	2022/4/26	3羽 裏高尾	かなり遠くでしたが、木の上の方で囀っていました。見つけたのは3羽でしたが、鳴き声はあちこちで聞こえていたので、もっと多くいるのかなと思いました。	宮本真理	行動	与瀬 9F
	561 オオルリ	2022/5/17	2羽 日影林道から小仏城山	10時~13時。メス2個体。八王子市の鳥なので 皆で探したがきれいな声で鳴いていたが姿の確認はできなかった。	門倉美登利・高尾山ツアー参加者 16名	行動	与瀬 7F
F 561	オオルリ	2022/5/28	1羽 八王子城址・御主殿の滝の西側奥	御主殿跡のソングポストでは確認できませんでしたが、西側奥の杉林で囀っていました。	荻島伸介	行動	八王子 0J
F 569	スズメ	2022/1/8	2羽 湯殿川、京王北野駅の西	雪の上には鳥や獣の足跡が点々と残っていました。	岡田浩郎	行動	八王子 8G
	569 スズメ	2022/1/30	27羽 京王線高幡不動駅南口「京王高幡ショッピングセンター」	「京王高幡ショッピングセンター」ビル鉄柵内。ねぐら入り時間 16:30~16:55 晴れ。日の入り時刻 17:07。ねぐら入り合計27羽(前年30羽)。日没が近い。冷たいビル風と底冷えする。さびれた？駅前コンコース。駅ビル窓柵に、スズメの小さな群れが、息せき切って次々に飛び込む！ その度、一段と明るく賑やかさが高まる！ ビル角に佇み寒さに耐え、スズメの数勘定しながら、「俺の人生で必要な事なのか？」とフト思った。「まだ正月かよ」と物事を反芻しながら帰路についた。	渡辺敬明	囀	武蔵府中 3K
	569 スズメ	2022/2/28	20羽 京王線高幡不動駅南口「京王高幡ショッピングセンター」	17:25 青空に白雲。駅ビル屋上に10羽→20羽になり柵入り。日も陰り、バラバラな鳴き声も一斉となり、寒々とした駅前に我が身同様に、心持ち弱々しく広がった。	渡辺敬明	囀	武蔵府中 3K
F 569	スズメ	2022/5/7	1羽 湯殿川近く	稲荷橋付近の電線に巣材をロー一杯に啜えたスズメが止まって	粕谷和夫	繁殖 4	八王子 6G ③
F 573	キセキレイ	2022/2/6	1羽 片倉城跡公園	凍った弁天池の氷の上で採餌していた。	粕谷和夫	行動	八王子 7G
	573 キセキレイ	2022/5/16	1羽 自宅付近の電線	オス1羽が電線上や近所の屋根上で鳴き声が盛んにする。メスが近くで抱卵していると考えられる。探したがついで作業では駄目だった。6/15にも毎日連続で聞こえている	山崎悠一、山崎久美子	繁殖 4	八王子 9G ⑥
F 573	キセキレイ	2022/5/27	1羽 川町谷戸の田んぼ	田植え前の代掻きが終わった田んぼにキセキレイが採餌に来た	粕谷和夫	行動	八王子 2K
	573 キセキレイ	2022/6/30	1羽 自宅付近の電線	朝方、オス1羽が電線上や近所の屋根上で鳴き声が盛んにする。毎日の朝、鳴き声が続けている。ヒナが巣立ってから親が鳴いているようだ。でも屋には声が聞こえない。	山崎悠一、山崎久美子	行動	八王子 9G
	574 ハクセキレイ	2022/2/1	1100羽 八王子駅北口	17:10 オクトーレイ屋上に1羽止まる。 17:30 オクトーレイビル窓枠の100羽止まる。 白い妖精が舞い落ちるように、次々と窓枠に白い個体が並び花が咲いたように綺麗です。 17:50 囀り完了。総数510羽 昨年の1月は625羽でした。	対中義雄	囀	八王子 7J
	574 ハクセキレイ	2022/5/20	0羽 JR 八王子駅北口	ハクセキレイ囀り調査 今回の調査では、オクトーレイ窓枠及び周辺でハクセキレイの囀りは確認出来ませんでした。因みに2022年2月は510羽、2021年5月は確認できていません。	対中義雄	囀	八王子 7J
F 575	セグロセキレイ	2022/6/5	2羽 北浅川・中央自動車橋脚 downstream	親1羽、子1羽。セグロセキレイの幼鳥が親から餌を貰っていました。	荻島伸介	繁殖 4	拝島 4A ②
	580 ビンズイ	2022/2/4	1羽 北浅川・陵北大橋下流	川原の方向から飛んできて前を横切り木に止まり草むらに飛んで消えた。	中村后子他定期カウント	行動	拝島 2B
F 580	ビンズイ	2022/4/25	1羽 裏高尾	キビタキを見ていたら、見たことない鳥がいるなどと思って調べたらビンズイでした。近くで見たのは初めてでした。	宮本真理	行動	与瀬 9G
	584 タヒバリ	2022/3/1	20羽 高月水田	田んぼに降りて群れて採餌	粕谷和夫	行動	拝島 6E
F 584	タヒバリ	2022/3/1	1羽 高月水田	何の目的か、大きな口を開けた。	粕谷和夫	行動	拝島 6F
	584 タヒバリ	2022/4/5	10羽 高月水田	コチドリ4羽がいた隣の田んぼ、10羽が未だいた。	粕谷和夫	行動	拝島 6F
	586 アトリ	2022/1/5	±100羽 高尾山4号路・山頂寄りの西側谷間	二つの群れが行き交うように日の当たる谷間を流れるように幾度も行き交っていた。近くのモミの枝に止まった個体を確認し、アトリとした。	粕谷和夫、千葉禎子、体験参加者1名	希少	与瀬 9E
F 586	アトリ	2022/1/8	1羽 八王子市	群れの気配も感じましたが確認できませんでした。	村山和夫	希少	八王子 2H
	586 アトリ	2022/1/23	10羽 豊田第一緑地	豊田第一緑地東側10羽。木の実を啄場見ながら西側方面に次々と移動していった。写真:有	岡本昭男、岡本昭子	希少	武蔵府中 1K
F 586	アトリ	2022/1/27	3羽 綾南公園	綾南公園を朝散歩していて、見かけない鳥がいるなどと思ってよく見たらアトリでした。3羽ほどの小さな群れでしたが、綾南公園でみるのは初めてで嬉しかったです。	宮本真理	希少	八王子 3H
	586 アトリ	2022/2/3	±20羽 高尾山・6号路大山橋先	沢に水飲みに降りたり、藪に戻ったりしていた。	管野加藤西村	希少	八王子 0E
	586 アトリ	2022/2/15	1羽 八王子市松木(大石宗虎屋敷跡付近)	7:30頃。♂1羽。大石宗虎屋敷跡のサルスベリ古木近くで聞き慣れない声が聞こえた。声の方向を探すと樹上(樹種不明)にオスのアトリ1羽を確認。群れがいらないか付近を見たが、他には見つからなかった。	佐藤哲郎	希少	武蔵府中 1E
	586 アトリ	2022/3/1	±20羽 高尾山・20号線護摩橋付近	木々の間を移動していた。	加藤 玉木	希少	与瀬 9D
	586 アトリ	2022/3/3	±50羽 高尾山・6、5、3号路合計4ヶ所	採餌したり飛び回ったりしていた。	石橋加藤管野西村	希少	八王子 0E
	586 アトリ	2022/3/14	±5羽 武蔵陵墓地池近く	11時頃。スギの大木の中でじっとしていた。	加藤岸男(高尾)	希少	八王子 2H

						山周辺探鳥会 参加者20名)			
586	アトリ	2022/2/12~	1羽	北浅川・陵北大橋下流 と沈下橋との間	採餌。2/12, 2/13, 2.17, 3/8, 3/12	柚木育子	希少	拜島 2B	
588	マヒワ	2022/3/1	±30羽	高尾山・大平林道旧作 業小屋先	ヒノキで鳴いていた。	加藤 玉木	希少	与瀬 8E	
588	マヒワ	2022/3/3	1羽	高尾山・5号路入口	地面で採餌していた。	石橋加藤菅野 西村	希少	与瀬 9E	
588	マヒワ	2022/4/2	±15羽	高尾山・大平林道高尾 林道分岐先	ヒノキで鳴いていた。	加藤 玉木	希少	与瀬 9E	
592	ベニマシコ	2022/1/8	2羽	浅川・新浅川橋~水管 橋間	♀2羽。調査参加者が声に気づき、付近を捜したところ左岸河 川敷の枯草上に♀2羽を確認。	冬鳥調査参加 者(馬場隆進、 馬場啓子、高 梨規子、田中 博之、佐藤哲 郎)	希少	八王子 8J	
592	ベニマシコ	2022/1/12	2羽	多摩川・ひょうたん池近 く	河原のブッシュにメスが活動していた。	福本健・小川圭 太他 8名	希少	立川 0C	
592	ベニマシコ	2022/2/9	1羽	浅川・浅川大橋上流側	鳴き声	古山隆	希少	八王子 7K	
592	ベニマシコ	2022/2/26	2羽	多摩川左岸・多摩大橋 上流くじら運動公園下流	くじら運動公園下流、川側遊歩道。メス2羽が笹藪を出入りして いた。	小林 克、小林 理恵、小林 匠	希少	立川 0D	
592	ベニマシコ	2022/3/17	1羽	北浅川・沈下橋付近	オス。	柚木育子	希少	拜島 2B	
599	ウソ	2022/2/4	1羽	高尾山・大平林道学習 の道分岐付近	比較的近くで鳴き声がした。	加藤 玉木	希少	与瀬 8E	
599	ウソ	2022/3/3	2羽	高尾山・5号路入口	枝に止まっていたがすぐに飛び去った。	石橋加藤菅野 西村	希少	与瀬 9E	
600	シメ	2022/3/21	11羽	日野市落川(浅川右岸 多摩川合流地点のワ ンドの近く)	雌雄は不明。群れで木の枝で休んでいた	小川圭太	行動	武蔵府中 4K	
602	イカル	2022/1/23	30羽	黒川清流公園	黒川清流公園湧き水 20羽、豊田第一緑地東側 10羽 合計 30羽。黒川清流公園湧き水附近では水飲みに来ていた。豊田第 一緑地東側では木の実を啄んでいたがやがて西側方面に飛 び去った。公園付近の方の話では連日 30羽ほど見かけてい るとのことでした。写真:有	岡本昭男、岡 本昭子	行動	武蔵府中 1K	
602	イカル	2022/2/26	12羽	多摩川左岸・多摩大橋 上流くじら運動公園下流	くじら運動公園下流、川側遊歩道。川岸の小さな雑木林の中 で、地面付近の藪の中と、5メートル位の枝とを行き来してい た。	小林 克、小林 理恵、小林 匠	行動	立川 0D	
F 602	イカル	2022/3/16	2羽	長池公園	イカル 2羽がエノキの細い枝に止まり逆立ちするような姿勢に なり実を食べていた。	粕谷和夫	行動	武蔵府中 1C	
F 617	カシラダカ	2022/1/13	5羽	八王子市	霜が降りている草叢で採食していました。50メートル 4方程度 の草叢ですが野鳥密度が濃くカワラヒワ、四十雀、アオジの群 れも一緒でした。	村山和夫	行動	八王子 3E	
617	カシラダカ	2022/1/14	1羽	片倉城跡公園北側の民 家	PM15:30頃。♀。片倉城跡公園北側の民家の屋根付近から飛 んで来て地面に降りては何かを採餌していた。(写真有)	市村緑他 1名	行動	八王子 7G	
F 618	ミヤマホオジロ	2022/2/3	1羽	多摩森林科学園 柳沢 林道	居合わせたバーダーさんによると、以前、2019年の台風 19号 の前までは、群れで多数、生息していたけど、今年は、この 1 羽しかいないとのこと。アオジと仲良く過ごしていました。	田中博之	希少	八王子 2H	
624	アオジ	2022/1/4	1羽	南浅川・横山橋と東横 山橋の間	アオジ。13:00頃。横山橋と東横山橋の間の芦原。12月より 南浅川の芦原 数が所で鳴き声は確認出来ました。本日、芦 の穂先に止まる姿を確認出来ました。	中山尊人、中 山千晶	行動	八王子 4H	
624	アオジ	2022/4/22	1羽	八王子市中野上町1丁 目	自宅マンション横 水路沿いのカツラの木 囀り	古山隆	行動	八王子 6K	
625	クロジ	2022/1/9	2羽	多摩 多摩川滝山城跡 下	2羽ともみ 右岸 竹林の中 別々の場所	多摩川滝山城 跡下定期 C(古 山)	希少	拜島 7D	
628	オオジュリン	2022/2/21	1羽	浅川・浅川橋下流側	オギ原 鳴き声	古山隆	希少	八王子 7K	
628	オオジュリン	2022/3/9	3羽	浅川右岸:八高線鉄橋 上流 200m 程	8:50頃。水際の枯れた小さなヨシ原の中を移動。3羽は確認 できたが、もう少し多いかもしれない。	佐藤哲郎	希少	八王子 8J	
628	オオジュリン	2022/4/5	1羽	浅川大和田橋・八高線 鉄橋間右岸	8:50頃。水辺の枯草の中を移動。3/9に確認した場所の近く。	佐藤哲郎	希少	八王子 8J	
F 901	コジュケイ	2022/1/3	7羽	上柚木公園	総勢 7羽で地面をつついた跡を、アオジ 2羽が追いかけるよう に地面をつついていった。	岡田浩郎	行動	八王子 9D	
F 901	コジュケイ	2022/2/6	5羽	小宮公園 ひよどり沢 ベンチ奥	写真には、3羽写っています。飛んでいる姿も初めて見まし た。	田中博之	行動	拜島 7A	
F 901	コジュケイ	2022/4/18	1羽	我が家の前のアパート の駐車場	「チョットコイ」の大きな鳴き声で目が覚める。2階の寝室から 外を見ると前のアパートの駐車場をコジュケイが歩いていた。 しばらく歩き回っていたがゴミ置き場を通って見えなくなった。 寝室から写真を撮った。	福本健	行動	立川 1B	

901	コジュケイ	2022/5/6	1羽	黒川清流公園	早朝、地面から3mほどの太い横枝に止まって頻りに鳴いていた。その後羽繕いをし、地に降りて藪に消えた。	岡本昭子	行動	武蔵府中1K
908	カオグロガビチョウ	2022/1/8	±5羽	湯殿川・殿田橋右岸上流側の畑地	鳴き交わす声がよく聞こえたが姿は確認できず	粕谷和夫他湯殿川定期カウント参加者	行動	八王子6G
F 908	カオグロガビチョウ	2022/3/3	4羽	八王子市	相変わらず伸びのある大声で鳴いていました	村山和夫	行動	八王子6G
908	カオグロガビチョウ	2022/3/4	1羽	北浅川・松枝橋上流笹藪	声が上流の笹林から聞こえた。	中村后子他定期カウント	行動	拝島3B
908	カオグロガビチョウ	2022/3/8	6羽	湯殿川釜土橋の少し上流右岸	11時頃。6羽が採餌しながら移動していた。6羽と多めだったので、報告しました。	加藤岸男	行動	八王子6G
908	カオグロガビチョウ	2022/4/2	声	湯殿川・殿田橋右岸上流側の畑地	いつもの場所で鳴き交わす声がよく聞こえたが姿は確認できず	粕谷和夫他湯殿川定期カウント参加者	行動	八王子6G
909	ガビチョウ	2022/4/25	1羽	自宅(高尾町)	15時頃。金比羅山中腹あたりから鳴き声が聞こえた。	福本順吉	行動	八王子2G
909	ガビチョウ	2022/4/26	声	天神公園	5時20分、自宅近くの早朝の公園で鳴いていた。	粕谷和夫	行動	八王子6J
909	ガビチョウ	2022/5/4	1羽	小仏川右岸・私設橋上流側(荒井バス停と蛇滝バス停の間)	オオヨシキリの声をする。やっと視認ができると、なんと、細竹林下の水辺の張り出した枝で、ガビチョウが羽繕いしながら囁っていた!!!	千葉禎子、粕谷和夫、渡邊悦子、体験者	行動	八王子1G
910	ソウシチョウ	2022/1/6	15羽	高尾山・6号路 3号路病院裏	3ヶ所で数羽が群れ、藪の中を飛び回っていた。	菅野 加藤	行動	八王子0E
910	ソウシチョウ	2022/3/3	4羽	高尾山・3号路	藪の中をしげく移動していた	石橋加藤菅野西村	行動	八王子0E
910	ソウシチョウ	2022/5/2	3羽	高尾山・3号路	比較的遠くで鳴いていた。	菅野桂子他カウント参加者	行動	八王子0E
F	アライグマ	2022/6/26	4頭	多摩川・ひょうたん池横の水路	水路の横を歩いていたら4頭が出てきた。	福本健	哺乳類	立川0C
F	イタチ	2022/3/20	1羽	多摩川 日野用水堰	毎日の散歩コースですが、初めて見かけました。	田中博之	哺乳類	拝島8C
F	キツネ	2022/4/20	4頭	八王子市	(親1,子供3)。この場所で4月初めから度々目撃されています。昨年と同じ場所で親1,子供2(子供は今回とは違います)を見えています。柵があり人間が近づけない環境で伸び伸びと子育てです。	村山和夫	哺乳類	八王子2H
	ニホンアナグマ	2022/5/23	1頭	清水入緑地	緑地入口付近の刈り込まれた草地でアナグマがエサを探していた。その後、草丈の高い草地に入り見えなくなった。	粕谷和夫、門口一雄、中野恵理子	哺乳類	武蔵府中1C
	スッポン	2022/6/1	3匹	湯殿川(大橋~かたくり橋)	大きなスッポンに3か所でお出合った。大橋~釜土橋間、釜土橋~殿田橋、稲荷橋~かたくり橋。3匹とも警戒心が強く、直ぐに水中に潜ってしまった。近くにはアカミミガメもいた。また、釜土橋~殿田橋では2m近い大きなアオダイショウが泳いでいてオギの株元に姿を隠した。	粕谷和夫他(湯殿川定期カウント)	爬虫類	八王子6G 他
	マムシ	2022/6/13	1匹	醍醐の郷。降宿会館手前の道路脇	苔むした道路脇にじっとしていた。腹の一部が膨らんでいた。	粕谷和夫他	爬虫類	五日市5A
	ヤモリ	2022/6/15	1匹	中野山王・喜福寺	墓の柄杓の中にいた	粕谷和夫	爬虫類	拝島6A
	カジカガエル	2022/4/19	1匹	多摩川・石田大橋下	多摩川右岸に沿った小さな流れで鳴いていました。昨年まで橋の下に沢山いたイワツバメの姿がまだありませんでした。	浜田早苗	両生類	立川4A

2022年 オオルリ他夏鳥調査結果

まとめ： 粕谷 和夫

八王子市の鳥・オオルリの生息地である丘陵地や山間部の自然環境の動向を見守るため、1992年以來生息数調査を毎年行っている。また、オオルリの他にツツドリ、ホトトギス、クロツグミ、キビタキ、センダイムシクイ等の夏鳥の数もカウントした。夏鳥のカウントしたのは♂の羽数で、メスはカウント対象外である。

1. 調査場所

第1表に示す通り八王子市内の丘陵地、山間部の沢筋、谷筋の19区域で行った。踏査総延長は、109kmである。

2. 調査時期

4月下旬～7月上旬にそれぞれの区域で2～4回行った。

3. 調査参加会員数

第1表の通り、延べ83名の会員が調査を行った。

(第1表)オオルリの調査場所別調査責任者、延参加者数(2022年)

調査区域	調査延長	調査責任者	延べ参加数
①上川(今熊山北沢、同南沢、金剛の滝)	3	玉木雅治	5
②加住南丘陵(谷地川源流部)	6	中村啓二	4
③川口丘陵(天合峰、釜の沢、滝の沢)	6	対中義雄	5
④美山(山入川奥、美山小学校奥、お屋敷川)	5	中村后子	5
⑤小津(下恩方辺名、小津川源流部奥)	7	清水盛通	3
⑥醍醐川上流(醍醐川上流部、ににく沢)	6	佐藤哲郎	3
⑦醍醐川下流(醍醐川下流部、盆堀林道)	4	粕谷和夫	11
⑧和田峠下(くぬぎ沢、和田峠谷)	3	古山隆	2
⑨明王峠下(明王渓谷、クラ骨沢、ピロウ沢)	6	門口一雄	4
⑩力石周辺(力石沢、南土代沢、駒木野沢他)	8.5	山崎悠一	4
⑪板当・滝沢林道	9	渡辺仁	3
⑫元八王子(御主殿の滝奥、八王子城跡奥)	4	柚木育子	5
⑬裏高尾(小下沢林道関場峠迄)	5	中山尊人	4
⑭小仏城山下(日影沢城山頂上迄、行の沢)	7.5	柚木育子	2
⑮高尾山1(6号路、3号路、琵琶滝下山コース)	8	管野桂子	8
⑯高尾山2(小仏川下流、蛇滝コース、4・5・1号路)	5	千葉禎子	4
⑰大垂水峠下(案内川上流から一丁平方面)	3	加藤岸男	5
⑱表高尾(中沢川、入沢川、榎窪川)	10	浜野建男	4
⑲初沢川・東高尾尾根	3	角田幸男	2
計	109		83

4. 結果

結果は第2表の通りであり、オオルリは17コースで出現し、合計93羽の♂を確認した。2021年と比べると15羽の増加となった。沢別では、本年も⑤小津(下恩方辺名、小津川源流部奥)が最も多く、続いて⑩力石周辺(力石沢、南土代沢、駒木野沢他)、⑬裏高尾(小下沢林道関場峠迄)、⑮高尾山1(6号路、3号路、琵琶滝下山コース)、⑱表高尾(中沢川、入沢川、榎窪川)の順であった。

オオルリのカウントと同時に実施した夏鳥他全野鳥の調査結果は第3表の通りであり、増加傾向にあったキビタキ♂は昨年減少したが、本年は増加し、ほぼ一昨年の水準に戻った。

(第2表) 沢別・年次別のオオルリのみ出現数(八王子山間部、丘陵地)【2000年以降分】

場所	'00	'01	'02	'03	'04	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	2022
①上川 (今熊山北沢、同南沢、金剛の滝)	1	2	2	2	2	2	1	2	3	3	1	2	1	2	0	0	3	1	4	3	8	7	3
②加住南丘陵 (谷地川源流部)	3	1	0	0	1	1	1	2	2	2	1	0	0	0	0	1	1	2	0	3	0	0	0
③川口丘陵 (天合峰、釜の沢、滝の沢)	0	0	1	0	2	0	1	0	1	0	0	2	0	0	0	2	1	1	1	1	0	1	1
④美山 (山入川奥、美山小学校奥、お屋敷川)	0	0	0	0	0	1	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
⑤小津 (下恩方辺名、小津川源流部奥)	4	13	11	8	5	8	11	12	11	6	9	8	9	8	13	12	17	10	13	10	14	14	23
⑥醍醐川上流 (醍醐川上流部、ににく沢)	8	5	8	7	4	4	6	6	4	6	3	5	4	6	2	8	5	4	3	4	4	5	5
⑦醍醐川下流 (醍醐川下流部、盆堀林道)	2	2	4	3	4	3	3	4	4	5	3	3	4	4	3	4	2	2	3	4	4	3	3
⑧和田峠下 (くぬぎ沢、和田峠谷)	2	2	2	2	3	4	4	4	5	2	3	1	1	1	3	4	3	3	2	3	5	3	3
⑨明王峠下 (明王溪谷、クラ骨沢、ピロウ沢)	5	3	3	4	4	6	6	5	7	4	5	3	3	5	7	6	7	4	4	5	4	4	5
⑩カ石周辺 (カ石沢、南土代沢、駒木野沢他)	1	6	6	4	6	12	13	9	14	9	8	11	8	6	18	8	8	5	9	5	6	8	11
⑪板当・滝沢林道	8	4	8	5	5	7	7	7	11	10	8	5	5	7	7	9	5	4	6	3	2	3	4
⑫元八王子 (御主殿の滝奥、八王子城跡奥)	1	1	1	2	4	5	3	5	5	1	4	1	2	2	4	2	2	2	4	2	1	6	1
⑬裏高尾 (小下沢林道開場峠迄)	6	2	2	6	3	4	4	3	4	4	3	5	4	4	2	4	5	3	8	8	5	9	8
⑭小仏城山下 (日影沢城山頂上迄、行の沢)	3	5	3	3	3	5	4	7	5	11	8	6	4	4	5	4	4	2	2	3	2	2	1
⑮高尾山1 (6号路、3号路、琵琶滝下山コース)	3	3	3	7	7	4	6	7	6	9	8	9	2	9	4	4	9	7	3	6	9	3	7
⑯高尾山2 (小仏川下流、蛇滝コース、4・5・1号路)	4	6	4	4	5	7	6	5	4	2	8	2	3	4	4	2	4	2	5	3	5	0	5
⑰大垂水峠下 (案内川上流から一丁平方面)	2	2	1	1	2	2	5	6	16	8	5	2	2	5	3	5	4	5	6	5	7	5	5
⑱表高尾 (中沢川、入沢川、榎窪川)	3	2	4	5	4	6	7	9	5	5	4	5	3	11	5	3	8	6	6	7	2	5	7
⑲初沢川・東高尾尾根	1	0	1	1	1	0	1	0	3	2	2	2	1	0	3	3	6	1	2	2	0	0	0
計	57	59	64	64	65	81	90	94	111	91	84	73	58	79	84	79	96	64	84	75	83	78	93

本年は通過を含む夏鳥 15 種 (ホトトギス、ツツドリ、ミソゴイ、ヨタカ、アオバズク、サンコウチヨウ、ツバメ、イワツバメ、ヤブサメ、センダイムシクイ、クロツグミ、コマドリ、コサメビタキ、キビタキ、オオルリ)、留鳥他 50 種 (冬鳥、外来種を含む)、計 65 種が出現した。留鳥のアオバトは 10 コースで観察された。サンショウクイは 9 コースで観察されたが、亜種リュウキュウサンショウクイが含まれているので留鳥とした。本年はイソヒヨドリが 2 コースで出現した。

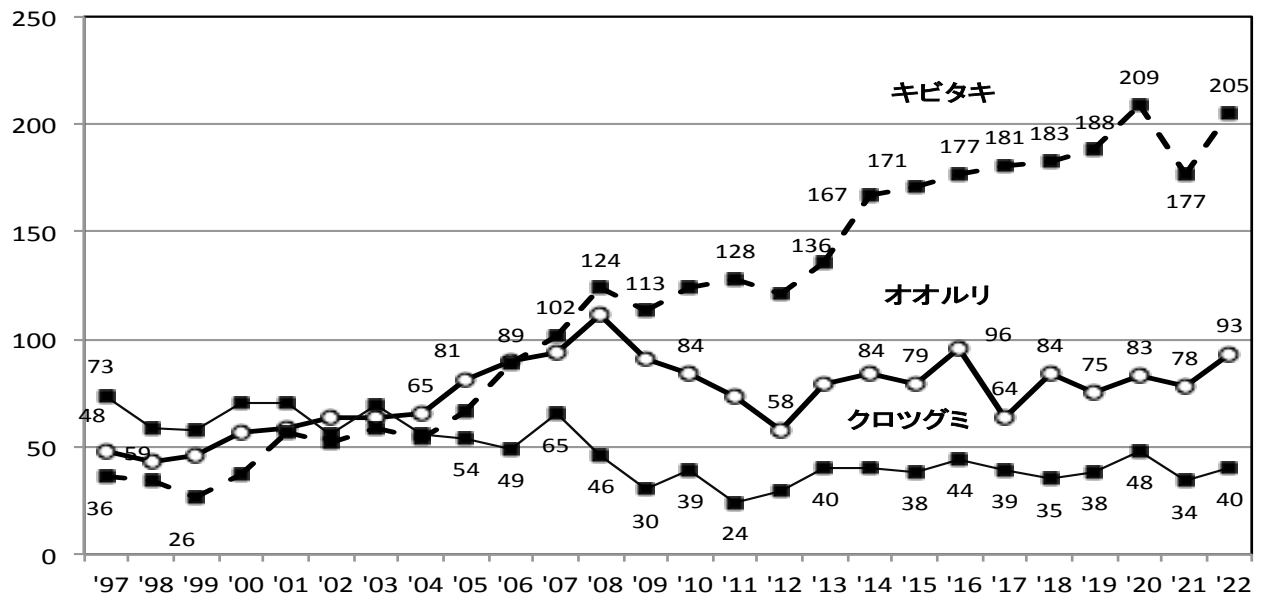
本年もミソゴイ、ヨタカ、クマタカ、フクロウ、アオバズク、トラツグミ、サンショウクイ、コサメビタキ等の注目種が観察されたことは特筆される。主な夏鳥等の出現数の経年変化は以下にグラフで示した。

以下は各担当者の特記事項である。

- ① **玉木雅治**：5月15日3名、6月16日2名、サンコウチョウは5、6月とも東京電力新多摩変電所北西部にある針葉樹林帯から。
- ② **中村啓二**：5/2 警戒するキビタキの姿を探していたらフクロウと思われる大きな白っぽい鳥がふわりと飛び去った。(参考記録とした)。ノスリは同時に3羽飛んでいた。アカハラは5羽以上の群れだった。ギンランが咲いていた。5/28 ぬかるみにシカの足跡と、タヌキ?の足跡。サイハイランが咲いていた。谷道からゴルフ場敷地に登る造成盛土に階段が作られ登りやすくなった。
- ③ **対中義雄** 5月3日3名、6月19日2名
- ④ **中村后子** 4/24 (2名)、5/15 (2名)、6/5 (1名)
- ⑤ **清水盛通** 5/5、5/14、4/11 (夕刻)、夏の渡り鳥が多く観察された。○フクロウ：深夜早朝自宅より鳴き声を聞く。○アオバズク：深夜早朝自宅より鳴き声を聞く。○ミソゴイ：自宅付近1か所 小津林道3か所。○サンショウクイ：亜種リュウキュウサンショウクイと思われる。すっかり定着し繁殖期上空を飛ぶ姿も見られる。○イソヒヨドリ：♀1羽 6/16日 桑の実を食べに自宅付近に現れる。○ヨタカ：早朝自宅付近にて鳴き声を聞く
- ⑥ **佐藤哲郎** 2022/5/3 (2名) クマタカににく沢出合から1kmほど林道を上った地点の北側山稜上空で旋回。羽が少し抜け落ちた個体。コマドリ、アカハラは録音で確認。5/25 (1名) トラツグミの声：7:50頃にく沢分岐付近北側山斜面方向から声
- ⑦ **粕谷和夫** 1回目：スタートして直ぐ、恩方第二小学校前の川でオシドリのペアに出合った。
- ⑧ **古山隆** 環境の変化は特になし。トラツグミのさえずりを聞いた。
- ⑨ **門口一雄** 4/22, 5/18に実施
- ⑩ **山崎悠一** サンショウクイは北土代沢とカ石沢との2回見た。ツツドリはカ石沢で声を聞いた。ノスリをカ石沢の上空で、サンショウクイを駒木野沢で見た。
- ⑪ **渡辺仁** 2019年台風19号以降板当林道側は特に荒れている。○サンコウチョウ：滝沢林道の入口及び板当林道の入口付近のスギ林で確認。○ヤブサメ：非常に多くあちこちで鳴き声を確認。ここまで確認できたのは本コース初めて。2回ともに多かった。○センダイムシクイ：両回ともに滝沢林道で1羽のさえずりのみを確認。少ない。○オオルリ：板当林道で2羽。滝沢林道で2羽のさえずり。○キビタキ：全コースにわたって非常に多い。
- ⑫ **袖木育子** 4/21 (2名)、5/15 (1名)、6/9 (2名)
- ⑬ **中山尊人** 小下沢林道の復旧工事が始まっていた。但し、完全復旧には時間がかかりそうです。
- ⑭ **袖木育子** 5/4 (1名)、6/1 (1名)。
- ⑮ **菅野桂子** 清滝駅のツバメは営巣が見られず。高尾山駅ホーム高架下の営巣していると思われるイワツバメの巣は7個程しかなく、そこに出入りする姿も昨年に比べ少なかった。カワガラスは稲荷山尾根入口の沢で2羽確認、1羽は幼鳥であった。
- ⑯ **千葉槇子** サンコウチョウ(声)は、山頂北側江川杉方面。薬王院大杉並木谷側(3号路)。
- ⑰ **加藤岸男** 5/1 (4名) リュウキュウサンショウクイの声が聞こえた。○センダイムシクイが1ヶ所で4羽鳴いていた。6/1 (1名)。
- ⑱ **浜野建男** 4/2 (2名)、希少種コマドリ ツツドリ。6/13 (2名) サンコウチョウの巣を発見した。まだ抱卵中かその前と思われる。
- ⑲ **角田幸男** 5/6・5/30・6/11の3回(各1名)、・初沢川は高乗寺敷地より上流は侵入できず(3年前から)。・イソヒヨドリが高尾駅西踏切と浅川中学校の間の電柱に止まっていた。

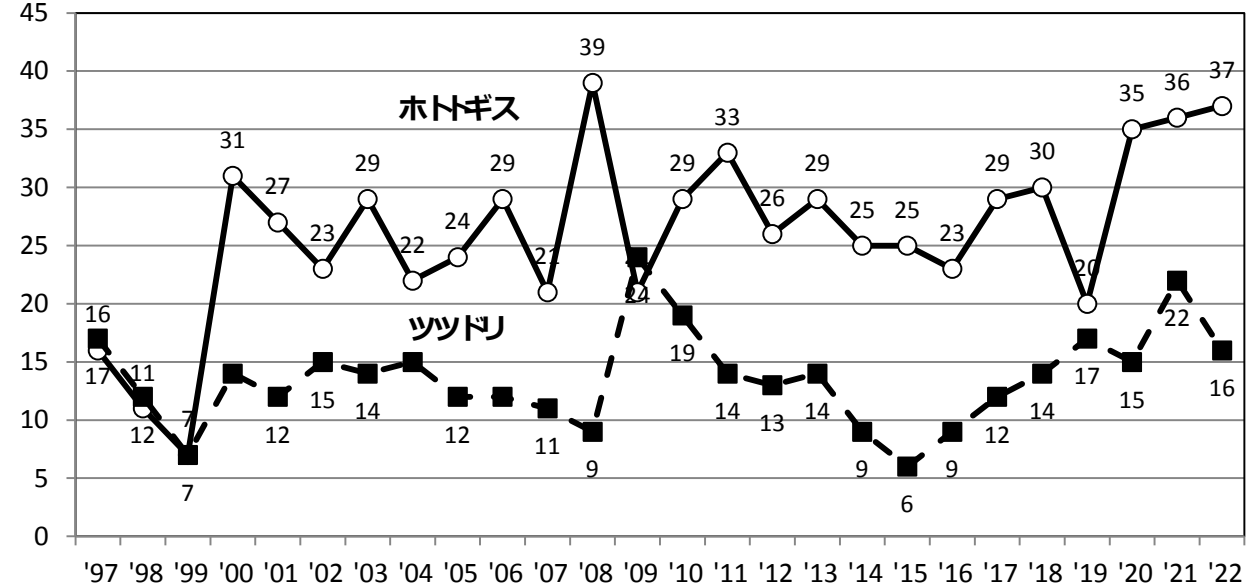
羽数

夏鳥3種目の出現羽数



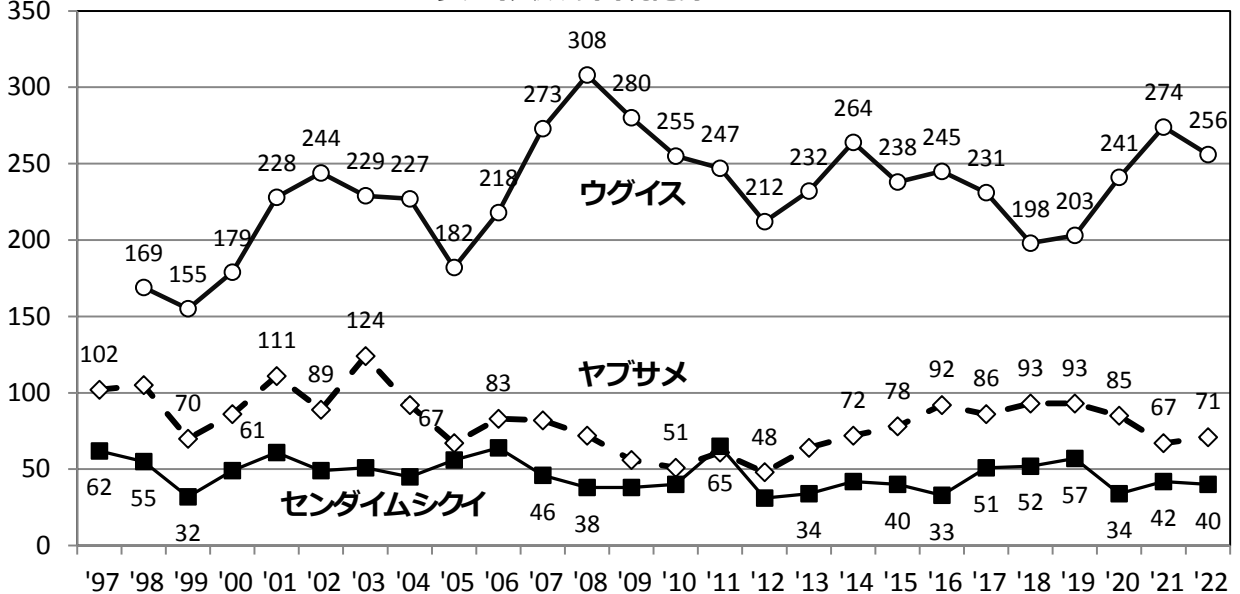
羽数

托卵鳥の出現数



羽数

ウグイス類の出現記録



2022年 カルガモ繁殖状況調査結果

まとめ： 粕谷 和夫

浅川の本支流はカルガモの繁殖地であり、親子連れ数を1988年以来毎年カウントしている。調査は昨年迄と同様、浅川の本支流を15に区分した他、谷地川、大栗川、程久保川を含め、会員が分担して5月から7月の間に2~3回の現地観察によって行った。

結果は凶表の通りで、浅川水系では親子連れの組数は減少傾向が続いているが、2022年は浅川本流で少し回復傾向がみられ、前年を少し上回った。担当者からの特記事項の抜粋は以下のとおりであり、番号は第1表に対応している。明神町に住む高梨規子会員（山田川まで直線距離で約250m）から自宅のあるマンションの屋上でカルガモが営巣したと報告があった。「5月下旬に屋上から雛が移動したが、その詳細は確認できなかった。巣は屋上の片隅に30cmぐらいの皿状の中に落葉と枯草を敷き詰めてあるのが確認できた」。

- ①青木静子：カルガモ親子は観察されませんでした。
- ②中村后子：3回の調査時には確認できなかったが、柚木会員から沈下橋の観察結果の提供があった。
- ③荻島伸介：雑草が2m近くまで成長し、堤防から水面が殆ど見えない箇所も多く、カルガモの成鳥の実際の数には調査結果より多いと想像します。
- ④宮越俊一：5,6月の調査時では観察できなかったが、7/9の定期カウントで1組の親子が観察された。
- ⑤佐藤哲郎：6/9子連れカルガモ観察：親1子7 浅川右岸山田川合流付近
- ⑥山崎悠一：平山中学校から滝合橋の間は堤防工事のため工事車両が走っておりカルガモが子育てをする環境ではなかったのでカルガモ親子は観察されませんでした。
- ⑦玉木雅治：親+9羽の子カルガモを連れた縦列隊は、浅川左岸にある駒形公園前の水辺にいた。
- ⑧対中義雄：6/4山王橋上流で親1羽ヒナ8羽を確認しました。7/3唐犬橋にて親1羽ヒナ3羽確認
- ⑨小澤禮子：調査をするようになってから初めて、葦原が形成された明治橋下流でオオヨシキリの声を聴くことができた。
- ⑩加藤岸男：調査日（5月17日、6月17日）、3個体だがやっと戻ってきた、という感じ。
- ⑪荻島伸介：6/25カルガモ家族は、東横山橋の上流側80m付近で確認し、下流側に移動しました。
- ⑫木村晴美：子4は今までで一番少なかった様な気がします。
- ⑬浜野建男：1回目は親子0だったが、2回目に2組確認できた。
- ⑭粕谷和夫：親子（親1+子6）が稲荷橋とかたくり橋の間において、滝のようになっている段差工の上に登った親を目指してヒナが何回も登りに挑戦していたが途中で滑り落ちてしまった。
- ⑯武藤邦子：親子連れは、1回目(6/3)と2回目(6/27)共に観察されなかった。
- ⑰浅野恵美子：調査日（6月12日）、単独成鳥が4羽だけでした。
- ⑱木澤隆雄：親子連れは、1回目（5/10）、2回目（6/2）共に観察されなかった。
- ⑲中村美弥子：6/25に福本様より連絡もらい親子確認。既に大きく成長しているがどこで育ったか不明。
- ⑳工藤正子：成鳥のみ12羽が観察されました。
- ㉑登坂久雄：親子連れなし、番場公園の前にコガモ♀1羽。

(第1表) 2022年カルガモ繁殖期カウント結果

(単位:組、羽)

	担当者 (代表者)	親子連れ			単独 成鳥 数	カルガモ 数総計	備考	
		組 数	親 数	子 数				
北 浅 川	①大沢橋～陵北大橋	青木静子			6	6		
	②陵北大橋～松枝橋	中村后子	2	2	11	9	22	
	計		2	2	11	15	28	
浅 川 本 流	③松枝橋～鶴巻橋	荻島伸介	1	1	8	5	14	
	④鶴巻橋～大和田橋	宮越俊一	1	1	7	3	11	
	⑤大和田橋～長沼橋	佐藤哲郎	1	1	7	14	22	
	⑥長沼橋～一番橋	山崎悠一				8	8	
	⑦一番橋～ふれあい橋	玉木雅治	1	1	9	39	49	
	⑦ふれあい橋～多摩川合流	門口一雄	1	1	9	8	18	
	計		5	5	40	77	122	
川 口 川	⑧川口橋～明治橋	対中義雄	1	1	8	18	27	
	⑨明治橋～浅川合流	小澤礼子	2	2	14	9	25	
	計		3	3	22	27	52	
南 浅 川	⑩案内橋～敷島橋	加藤岸男				3	3	
	⑪敷島橋～浅川合流	荻島伸介	1	1	6	16	23	
	計		1	1	6	19	26	
	⑫城山川(月夜峰新橋～浅川合流)	木村晴美	1	1	4	19	24	
	⑬山田川(山田橋～浅川合流)	浜野建男	2	2	10	2	14	
湯 殿 川	⑭白旗橋～時田大橋	粕谷和夫	1	1	6	12	19	
	⑮時田橋～浅川合流	門口一雄	1	1	4		5	
	計		2	2	10	12	24	
浅川水系の計			16	16	103	171	290	
	⑯程久保川(小宮橋～浅川合流)	武藤邦子				7	7	
	⑰谷地川(月見橋～新左入橋)	浅野恵美子				4	4	
	⑱谷地川(新左入橋～田島橋)	木澤隆雄				5	5	
	⑲谷地川(田島橋～多摩川合流)	中村美弥子	1	1	6	12	19	
	⑳大栗川(鑪水～大竹橋)	工藤正子				12	12	
	㉑大栗川(大竹橋～横倉橋)	登坂久雄	2	2	13	18	33	
総計			19	19	122	229	370	

(第2表) 浅川水系におけるカルガモの繁殖状況年変化

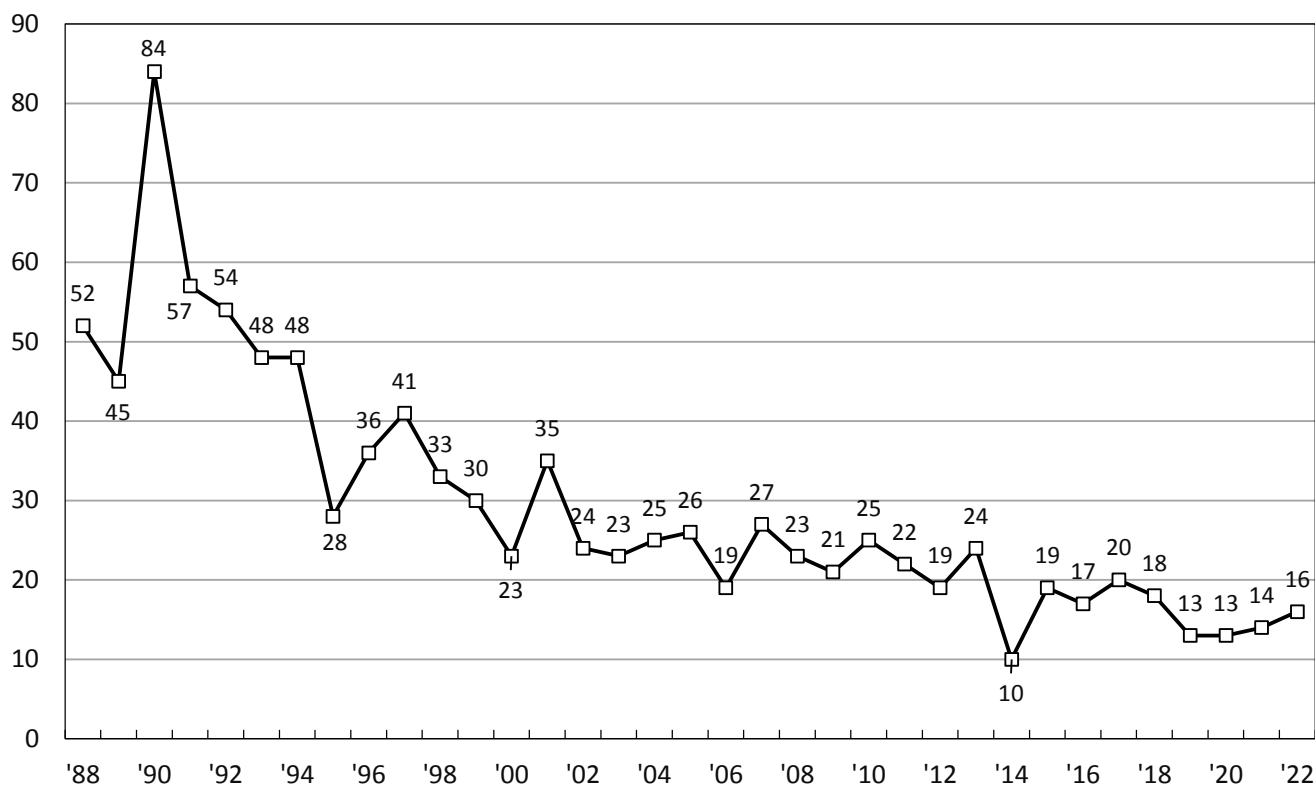
年	親子連れ				単独成鳥	総計
	組数	親数	子数	平均子数		
1988	52	52	276	5.3	402	730
1989	45	49	228	5.1	379	656
1990	84	88	451	5.4	594	1133
1991	57	61	318	5.6	537	916
1992	54	58	272	5.0	452	782
1993	48	49	254	5.3	633	936
1994	48	49	275	5.7	623	947
1995	28	28	146	5.2	522	696
1996	36	38	194	5.4	613	854
1997	41	49	202	4.9	520	771
1998	33	36	171	5.2	434	641
1999	30	31	140	4.7	404	575
2000	23	25	113	4.9	415	553
2001	35	38	199	5.7	413	650
2002	24	25	122	5.1	339	484
2003	23	26	116	5.0	393	535
2004	25	29	159	6.4	429	617
2005	26	30	151	5.8	342	523
2006	19	22	109	5.7	349	480
2007	27	28	166	6.1	360	554
2008	23	27	105	4.6	239	371
2009	21	24	102	4.9	279	405
2010	25	29	125	5.0	258	410
2011	22	22	100	4.5	300	422
2012	19	22	99	5.2	259	380
2013	24	26	143	6	297	466
2014	10	12	61	6.1	253	326
2015	19	17	112	5.9	201	329
2016	17	18	103	6.1	211	332
2017	20	20	120	6.0	214	354
2018	18	21	108	6.0	190	319
2019	13	14	66	5.1	172	252
2020	13	13	64	4.9	173	250
2021	14	15	75	5.4	138	228
2022	16	16	103	6.4	171	290

(第3表)水系別のカルガモの親子連れ組数年次変化

年次	北浅川	浅川本流	川口川	南浅川	城山川	山田川	湯殿川	浅川水系計	程久保川	谷地川	大栗川	合計
1988	2	30	13	2	0	1	4	52				
1989	0	18	7	6	9	1	4	45				
1990	2	36	15	11	9	1	10	84				
1991	2	22	10	5	5	1	12	57				
1992	3	24	5	4	6	1	11	54				
1993	4	19	5	5	7	1	7	48				
1994	5	18	9	6	4	1	5	48				
1995	4	10	1	4	3	0	6	28				
1996	5	9	5	8	3	0	6	36				
1997	2	13	3	6	10	0	7	41				
1998	0	14	2	3	8	1	5	33	7	6	5	51
1999	2	4	9	3	7	2	3	30	5	8	2	45
2000	2	9	4	3	4	1	0	23	4	3	3	33
2001	5	9	11	3	4	1	2	35	2	5	4	46
2002	4	3	3	4	4	0	6	24	1	3	6	34
2003	2	5	6	2	3	0	5	23	1	3	3	30
2004	2	6	5	2	2	4	4	25	2	6	2	35
2005	2	5	10	4	0	0	5	26	1	2	3	32
2006	1	5	5	2	1	0	5	19	0	1	1	21
2007	1	8	5	2	1	1	9	27	1	3	1	32
2008	0	7	8	2	0	1	5	23	5	3	2	33
2009	1	7	7	1	1	2	2	21	2	5	3	31
2010	3	9	6	2	1	1	3	25	0	3	3	31
2011	0	9	3	3	1	0	6	22	3	1	1	27
2012	1	5	4	1	2	3	3	19	1	2	2	24
2013	1	7	3	1	3	2	7	24	0	4	5	33
2014	1	4	0	1	1	1	2	10	0	1	2	13
2015	3	4	5	0	1	1	5	19	1	2	1	23
2016	2	5	3	2	0	1	4	17	3	3	6	29
2017	0	8	3	2	0	0	7	20	0	5	7	32
2018	1	4	3	3	0	0	7	18	2	4	2	26
2019	0	4	1	1	1	2	4	13	0	2	3	18
2020	0	1	4	2	1	2	3	13	0	3	3	19
2021	0	3	3	1	1	3	3	14	1	2	1	18
2022	2	5	3	1	1	2	2	16	0	1	2	19

組数

浅川水系カルガモ親子組数の経年変化



八王子・日野カワセミ会の主な調査範囲



編集後記

地元の自治会からのお知らせで、野鳥にエサをあげないように、という注意があった。どのようないきさつかはわからないが、近隣の自治会でも、となりの家で野鳥のエサやりをしていて、屋根や樋などにフンが溜まり、家屋の痛みが心配だという話を聞いたことがある。野生動物へのエサやりだけではなく、自分の行いが他人の迷惑にならないか、自然保護に反する行動にならないか、を常に意識して行動することが大切であると思う。そして人や自然への思いやりの気持ちを常に忘れずに活動していきたい。

浜野 建男

かわせみ

2022年9月発行 第69号

発行 八王子・日野カワセミ会

発行人 粕谷 和夫

題字 河村 洋子

表紙イラスト 倉本 修 (クロジ)

表紙デザイン 青柳 圭 TEL: 042-397-3006

印刷 株式会社プリントパック

編集人 (連絡先) 浜野 建男

八王子市北野台5-14-10

hamano@mx.mesh.ne.jp